

杉並区子ども・子育て支援事業の
利用状況等に関する調査報告書

令和6(2024)年3月

杉並区

第1章 調査の概要.....	3
1. 調査の目的	3
2. 調査の方法	3
3. 調査の内容	3
4. 回収結果	4
5. 地域区分	4
6. 報告書の見方	4
第2章 就学前児調査の結果.....	7
1. 家族の状況	7
(1) 宛名の子どもの年齢	7
(2) 宛名の子ども家族	8
(3) 居住地域	10
(4) 回答者	12
(5) 保護者の状況	13
2. 子育ての環境	14
(1) 子育てを主に行っている人	14
(2) 子育てをする上での心配や悩みの有無.....	15
(2-1) 子育てに関して相談できる相手（場所）の有無.....	17
(2-2) 子育てに関しての相談先と相談内容.....	19
3. 保護者の就労状況	24
(1) 保護者の就労状況	24
(1-1) 1週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間数.....	28
(1-2) 就労している曜日	29
(1-3) 出勤時刻と帰宅時刻	30
4. 保育園・幼稚園等の利用状況	31
(1) 定期利用の状況	31
(1-1) 定期的に利用している施設・事業.....	32
(1-2) 施設・事業の利用頻度（利用日数・利用時間等）.....	34
(1-3) 延長保育の利用状況	36
(1-4) 施設・事業を利用していない理由.....	38

5. 一時預かり等の利用状況	39
(1) 不定期に利用している預かり事業	39
(1-1) 不定期に預かり事業を利用している理由	41
(1-2) 利用した施設・事業の場所	46
(1-3) 不定期の預かり事業を利用していない理由	47
(2) 宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無	50
(2-1) 宿泊を伴って子どもを預けた際の行動	51
(2-2) 泊りがけで子どもを家族以外にみてもらわなければならなかった理由	52
6. 子どもの病気の際の対応	53
(1) 子どもの病気やけがで定期利用している施設・事業が利用できなかった経験の有無	53
(1-1) 施設・事業が利用できなかった時の対応	54
(1-2) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望	56
(1-3) 病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わない理由	57
7. こども誰でも通園制度（仮称）について	59
(1) 利用希望の状況	59
(1-1) 利用を希望する理由	60
(1-2) 利用したいと思わない理由	62
8. 地域での親子の集まりの利用状況	63
(1) 親子が集まって過ごす施設・事業の利用状況	63
(1-1) 施設・事業を利用した際に大事だと思った点	68
9. 杉並区の子育て支援等について	69
(1) 杉並区の子育てのしやすさ	69
(2) 杉並区での子育て継続意向	70
(3) 杉並区の子育て環境や支援に関する意見	71
第3章 小学生調査の結果	77
1. 家族の状況	77
(1) 宛名の子どもの学年	77
(2) 宛名の子ども家族	78
(3) 居住地域	80
(4) 回答者	82
(5) 保護者の状況	83
2. 子育ての環境	84
(1) 子育てを主に行っている人	84
(2) 子育てをする上での心配や悩みの有無	85
(2-1) 子育てに関して相談できる相手（場所）の有無	86
(2-2) 子育てに関しての相談先と相談内容	87

3. 保護者の就労状況	92
(1) 保護者の就労状況	92
(1-1) 1週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間数.....	96
(1-2) 就労している曜日	97
(1-3) 出勤時刻と帰宅時刻	98
4. 子どもの放課後の過ごし方	99
(1) 普段の放課後の過ごし方	99
(1-1) 学童クラブの長期休暇中の利用状況.....	103
(2) 学童クラブを利用していない理由.....	105
5. 一時預かり等の利用状況	107
(1) 保護者の用事等で子どもを預けた経験の有無.....	107
(1-1) 保護者の用事等で子どもを預けた際の行動.....	108
(2) 宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無.....	109
(2-1) 宿泊を伴って子どもを預けた際の行動.....	110
6. 杉並区の子育て支援等について	111
(1) 杉並区の子育てのしやすさ	111
(2) 杉並区での子育て継続意向	112
(3) 杉並区の子育て環境や支援に関する意見.....	113
 第4章 調査票.....	 119

第 1 章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に規定されている第三期子ども・子育て支援事業計画の策定にかかる検討にあたって必要とする、地域の子育てに関するニーズ及び利用状況の調査、現状の分析及び課題の整理並びに必要となる資料の作成を行うことを目的に実施した。

2. 調査の方法

- (1) 調査区域 杉並区全域
- (2) 調査対象者 ①就学前の児童が属する世帯 4,800票（各歳児800票）
及び標本数 ②小学生の児童が属する世帯 4,800票（各歳児800票）
- (3) 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送配布・郵送回収またはインターネット上での回答
- (5) 調査期間 令和6（2024）年1月17日（水）～2月13日（火）まで
- (6) 調査機関 株式会社CCNグループ

3. 調査の内容

①就学前調査

- (1) 家族の状況
- (2) 子育ての環境
- (3) 保護者の就労状況
- (4) 保育園・幼稚園等の利用状況
- (5) 一時預かり等の利用状況
- (6) 子どもの病気の際の対応
- (7) こども誰でも通園制度（仮称）の利用希望
- (8) 地域での親子の集まりの利用状況
- (9) 杉並区の子育て支援等について

②小学生調査

- (1) 家族の状況
- (2) 子育ての環境
- (3) 保護者の就労状況
- (4) 子どもの放課後の過ごし方
- (5) 一時預かり等の利用状況
- (6) 杉並区の子育て支援等について

4. 回収結果

調査票種別	調査票発送数	有効回収数	有効回収率
①就学前児調査票	4,800	2,378	49.54%
②小学生調査票	4,800	2,474	51.54%

5. 地域区分

本調査では、通勤、買い物などの日常生活圏域として駅勢圏中心に設定した7地域を使用している。

井草地域	西武新宿線沿線の上井草、井荻、下井草の3駅の周辺地域
西荻地域	JR中央線の西荻窪駅の周辺地域
荻窪地域	JR中央線の荻窪駅の周辺地域
阿佐谷地域	JR中央線の阿佐ヶ谷駅の周辺地域
高円寺地域	JR中央線の高円寺駅の周辺地域
高井戸地域	京王井の頭線の久我山、富士見ヶ丘、高井戸、浜田山の4駅の周辺地域
方南・和泉地域	京王井の頭線の西永福、永福町の2駅と地下鉄丸ノ内線の方南町駅の周辺地域

6. 報告書の見方

- (1) 図表中の「n」は、各質問の回答者数を表す。
- (2) 選択肢の回答の比率はnを100.0%として算出し、小数点第2位を四捨五入して示した。
したがって、すべての選択肢の比率を合計しても、必ずしも100.0%ちょうどにならない場合がある。
- (3) 複数回答の質問では、すべての選択肢の比率を合計すると、通常100.0%を超える。
- (4) 実数値の記入を求めた質問では回答の平均値を表示しているが、この平均値は、nから無回答の人数を差し引いた数を母数として算出した。
- (5) クロス集計表による分析では、居住地域などの属性となる質問に無回答であっても、各質問の全体の回答には含まれるが、属性となる質問に無回答である集団の比率は割愛して示した。したがって、属性の各項目の該当者数を合計しても、全体の回答者数と一致しない場合がある。
- (6) 回答者数が10に満たないものについては、図示するに留め、この報告書の中では特に取りあげていない場合がある。

第2章 就学前児調査の結果

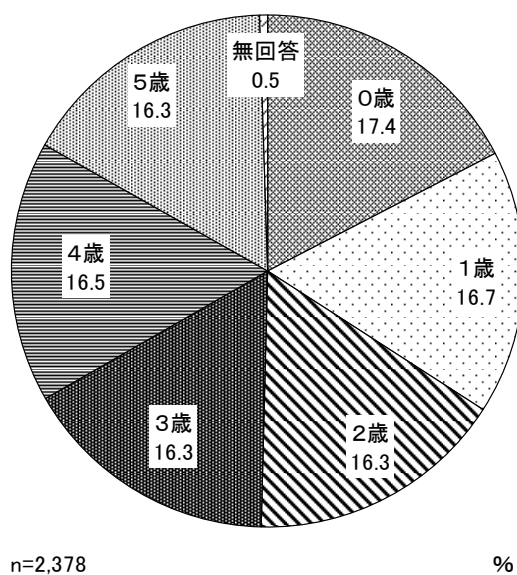
第2章 就学前児調査の結果

1. 家族の状況

(1) 宛名の子どもの年齢

問1 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

図表1-1



宛名の子どもの年齢は、どの年齢も1割半ばとなっており、おおむね均等に回答が得られた。

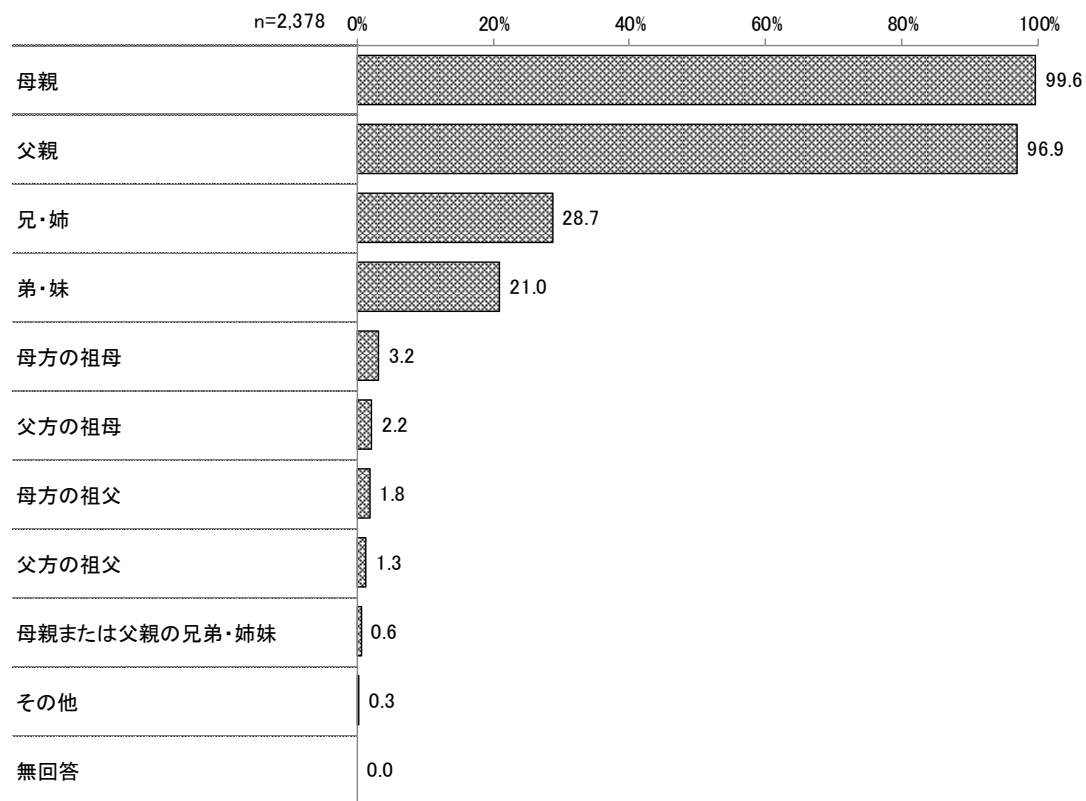
(2) 宛名の子どもの家族

問2 宛名のお子さんのご家族について、当てはまる方すべてに○をつけてください。ご家族とは、ふだんひとつの住居で生活している方を指します。

※宛名のお子さんの母親と父親とのご関係は、配偶関係、パートナー、内縁関係の方などを含みます。

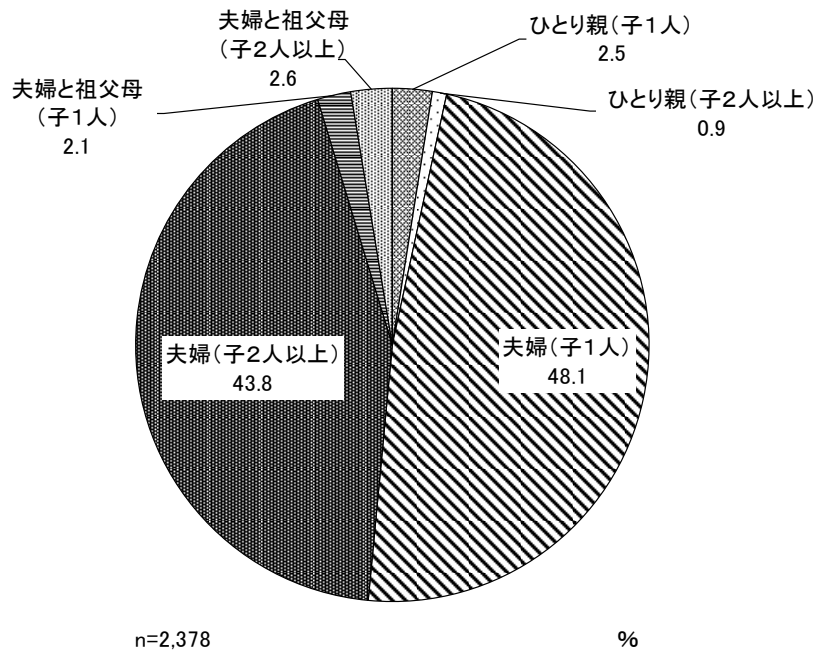
※単身赴任・入院・入所の方を含め、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族に含めてください。

図表 1 - 2



宛名の子どもの家族は、「母親」が 99.6% で最も高く、次いで「父親」が 96.9%、「兄・姉」が 28.7%、「弟・妹」が 21.0% となっている。

図表 1 - 3 宛名の子ども家族（家族構成）

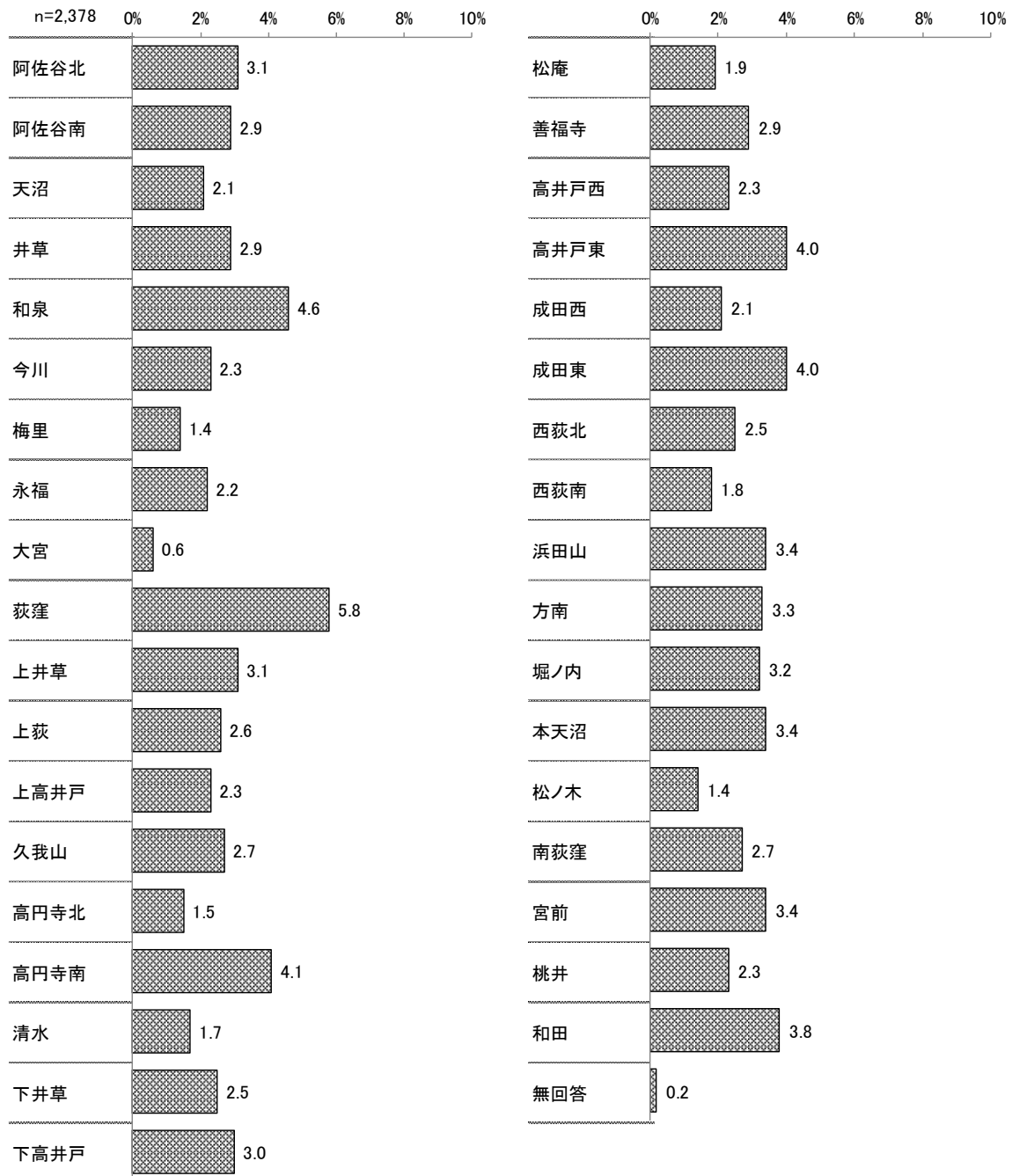


子どもの家族の家族構成は、「夫婦（子1人）」が48.1%で最も高く、次いで「夫婦（子2人以上）」が43.8%となっている。

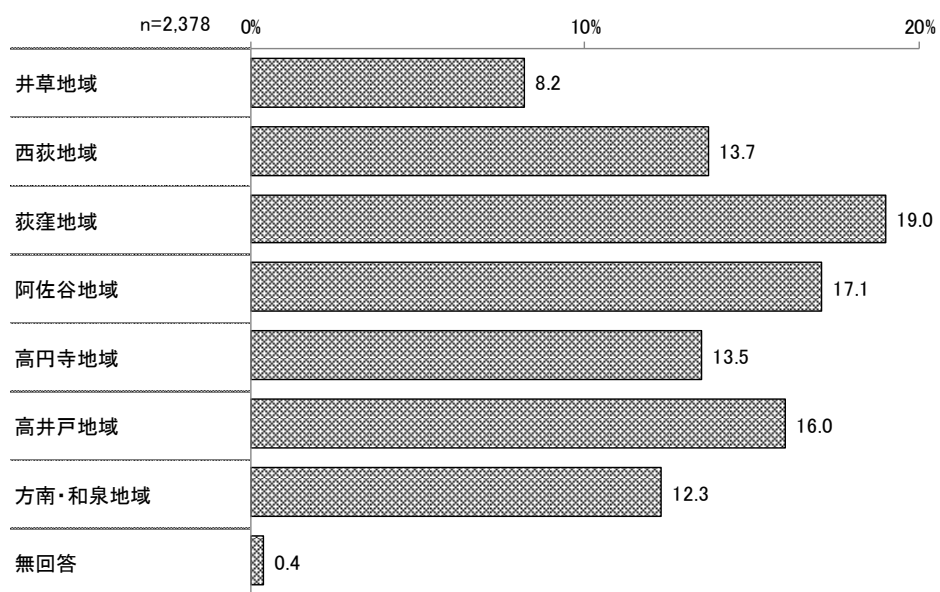
(3) 居住地域

問3 お住まいの町名をおうかがいします。当てはまるもの1つに○をつけ、該当する口内に丁目を数字で記入してください。

図表1-4



図表 1-5 居住地域（7地域別）

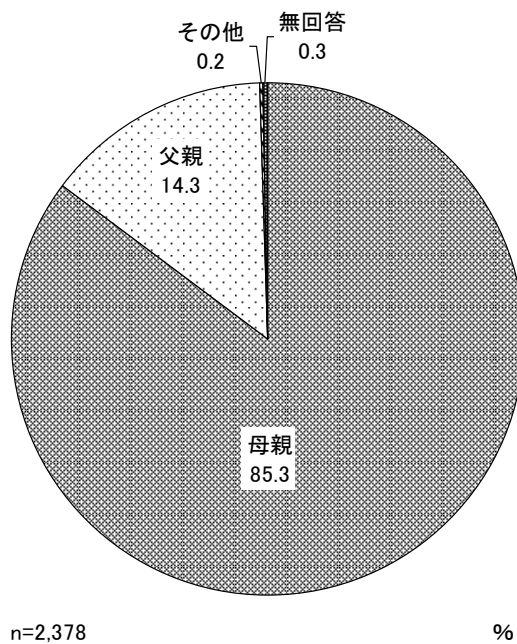


※居住地域の分類は、町名と丁目の結果を用いて行った。町名、丁目のいずれかが無回答の場合は、「無回答」に分類しているため、10 ページの居住地域の結果と無回答の割合が異なる。

(4) 回答者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表 1-6

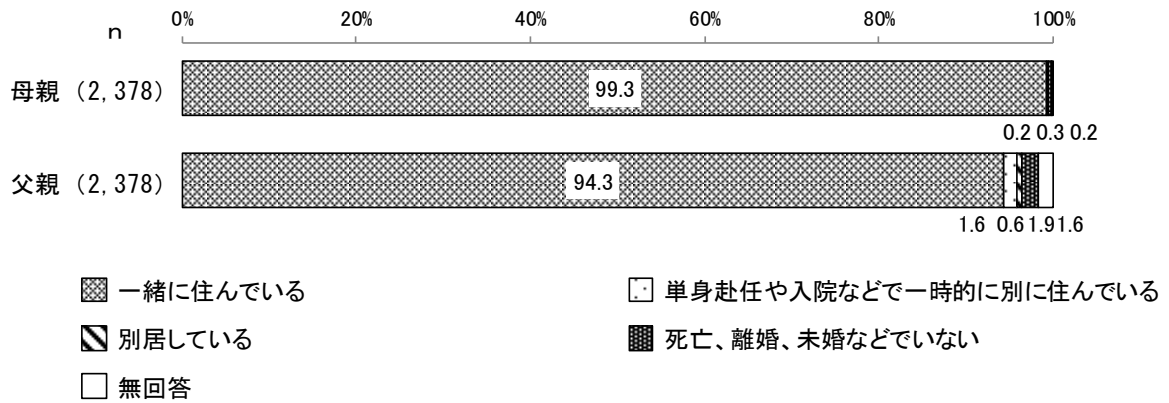


回答者は、「母親」が85.3%で最も高くなっている。

(5) 保護者の状況

問5 宛名のお子さんの保護者の状況についてうかがいます。「母親」「父親」について、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

図表 1-7



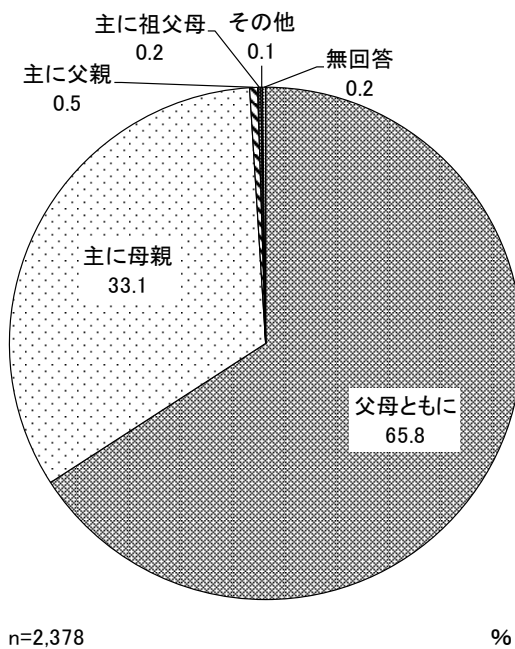
保護者の状況は、母親・父親ともに、「一緒に住んでいる」が最も高くなっている。

2. 子育ての環境

(1) 子育てを主に行っている人

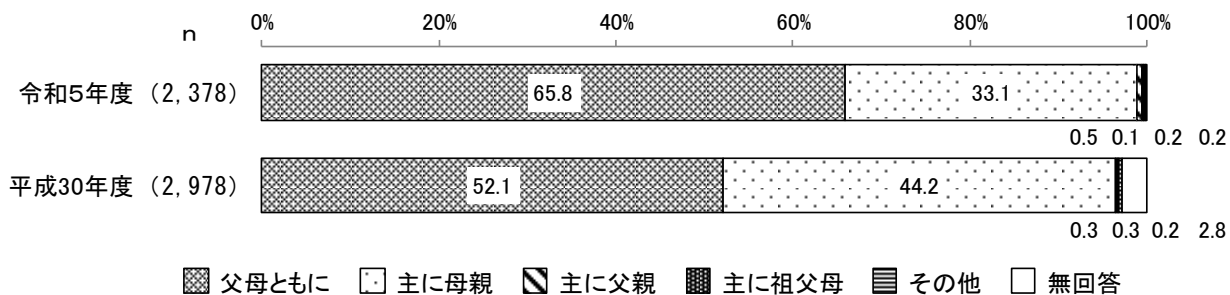
問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表2-1



子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が65.8%で最も高く、次いで「主に母親」が33.1%となっている。

図表2-2 子育てを主に行っている人（経年比較）

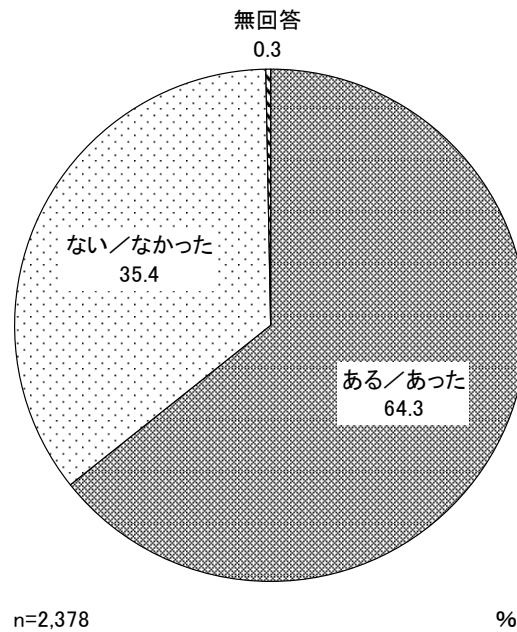


前回調査(平成30年度)と比較すると、「父母ともに」は13.7ポイント増加している。

(2) 子育てをする上での心配や悩みの有無

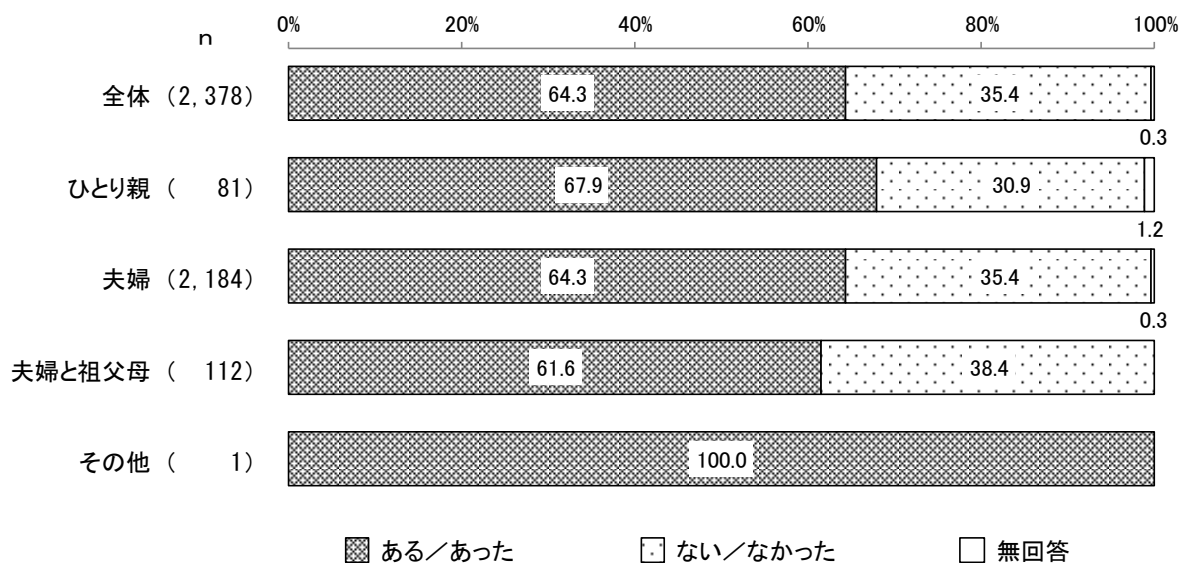
問7 宛名のお子さんの子育てをする上で、心配や悩みがありますか。

図表2-3



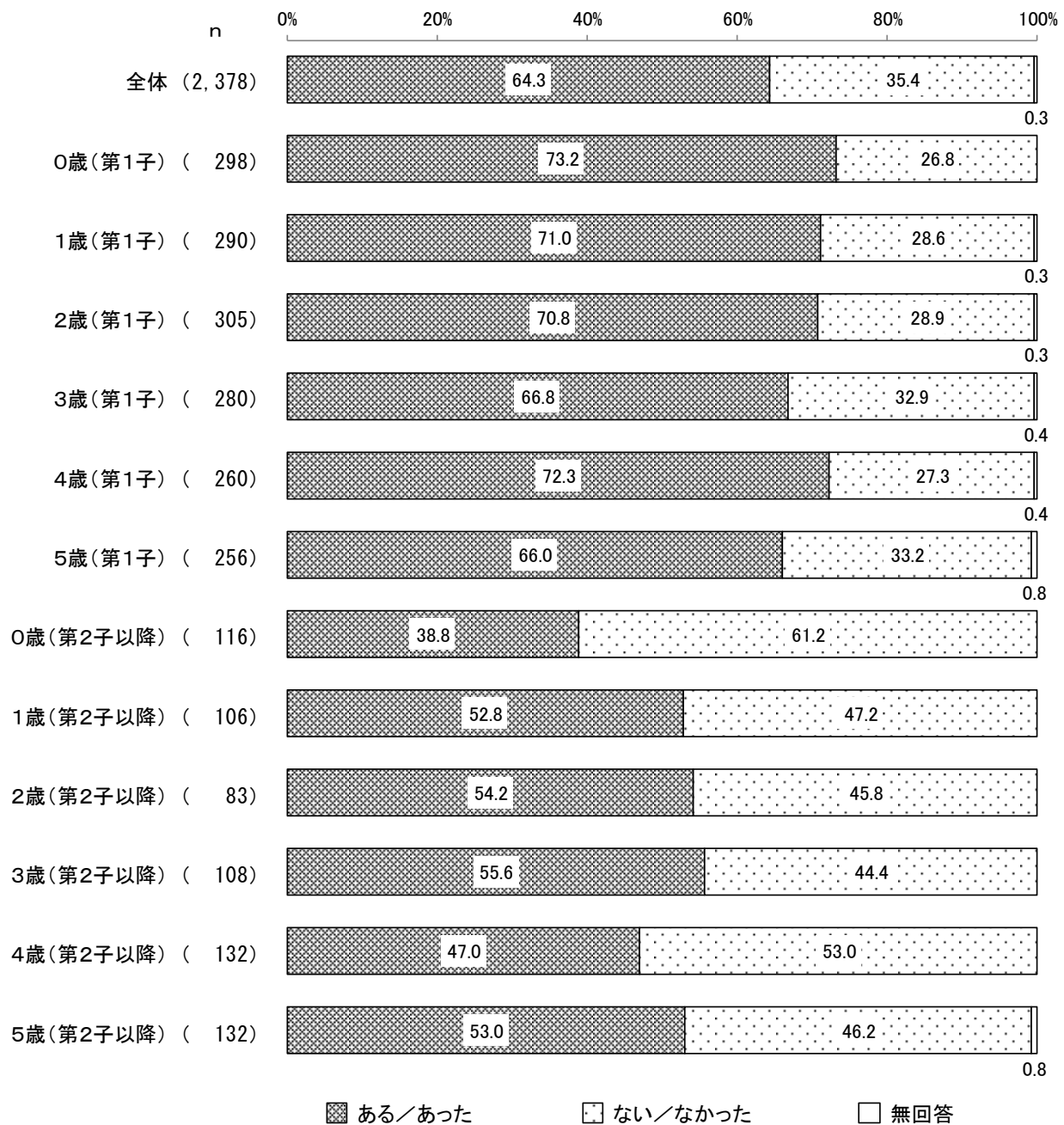
子育ての心配や悩みは、「ある/あった」が64.3%、「ない/なかった」が35.4%となっている。

図表2-4 子育てをする上での心配や悩みの有無（家族構成別）



家族構成別にみると、どの家族構成でも心配や悩みが「ある/あった」が「ない/なかった」を上回っている。ひとり親は「ある/あった」が67.9%で他の家族構成より高くなっている

図表2-5 子育てをする上での心配や悩みの有無（子どもの年齢・出生順位別）



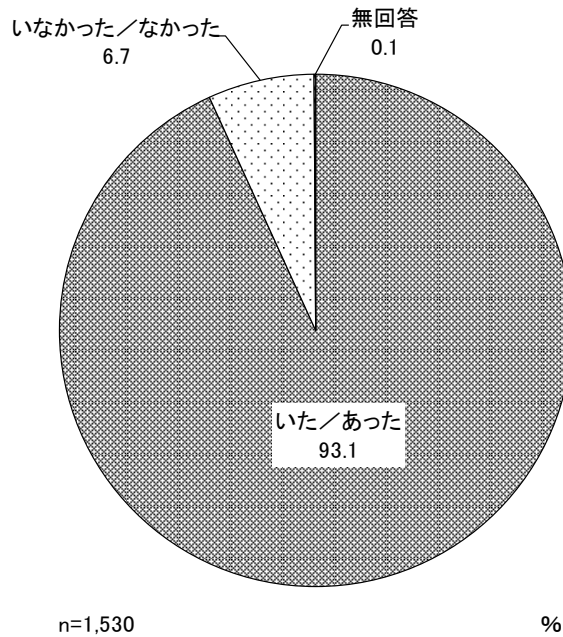
子どもの年齢・出生順位別にみると、第1子はどの年齢でも、心配や悩みが「ある/あった」が6割半ば以上となり、「ない/なかった」を上回っている。一方、第2子以降はすべての年齢で、心配や悩みが「ある/あった」は第1子より低い、0歳と4歳以外では半数を超えている。

(2-1) 子育てに関して相談できる相手(場所)の有無

(問7で、「1 ある/あった」に○をつけた方にうかがいます。)

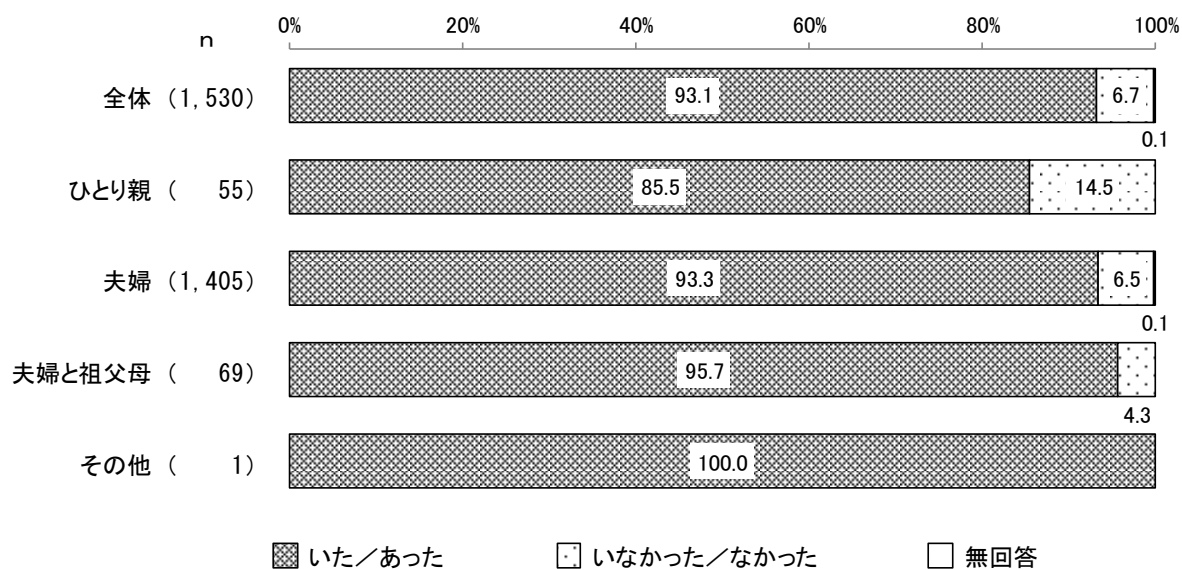
問7-1 宛名のお子さんの子育てをする上での悩みなどについて、相談できる人はいましたか。または、相談できる場所がありましたか。

図表2-6



子育てに関して気軽に相談できる相手(場所)の有無は、「いた/あった」が93.1%、「いなかった/なかった」が6.7%となっている。

図表 2-7 子育てに関して相談できる相手（場所）の有無（家族構成別）



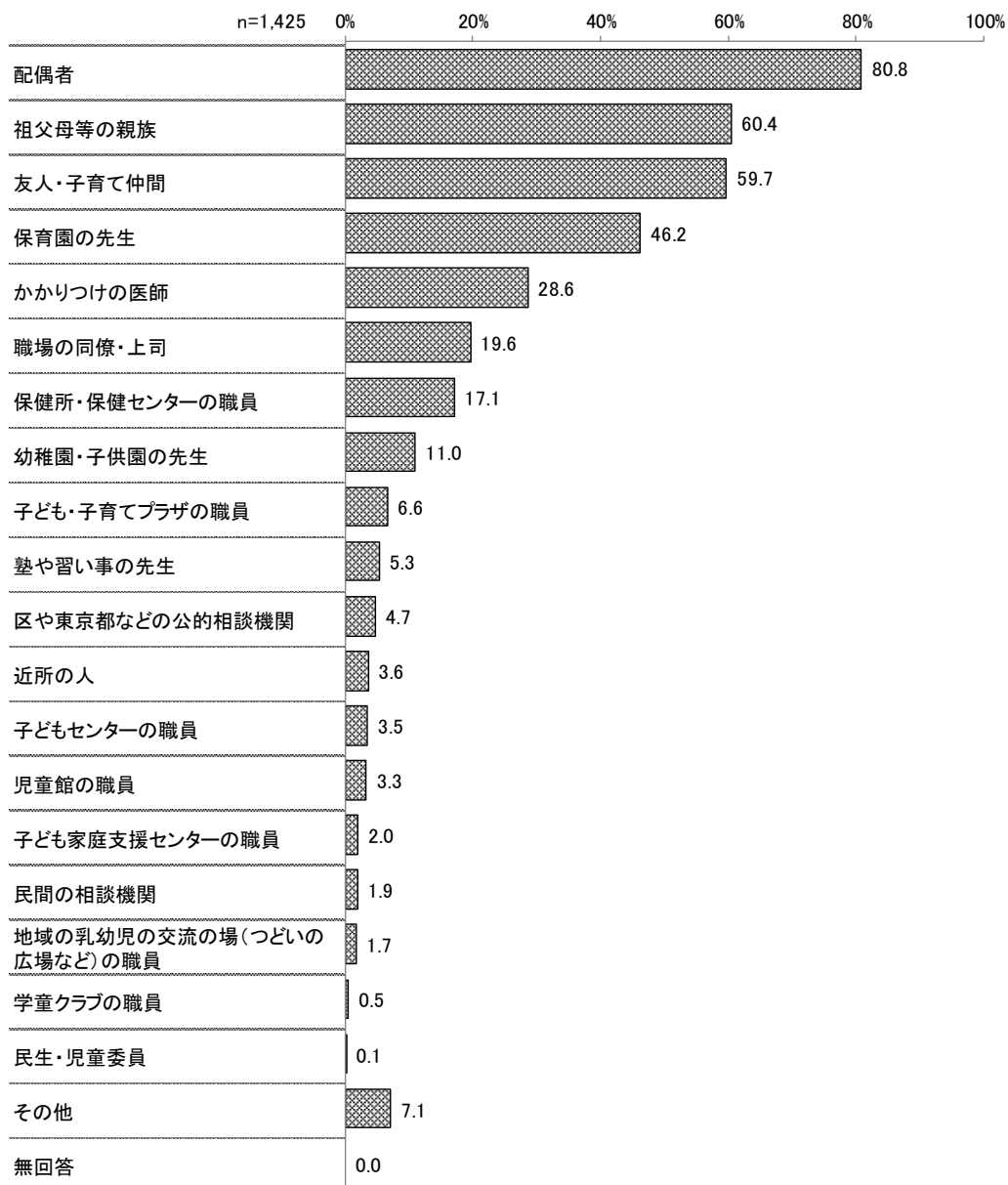
家族構成別にみると、ひとり親は相談できる相手（場所）が「いなかった/なかった」が 14.5%で他の家族構成よりも高くなっている。

(2-2) 子育てに関する相談先と相談内容

(問7-1で、「1 いた/あった」に○をつけた方にうかがいます。)

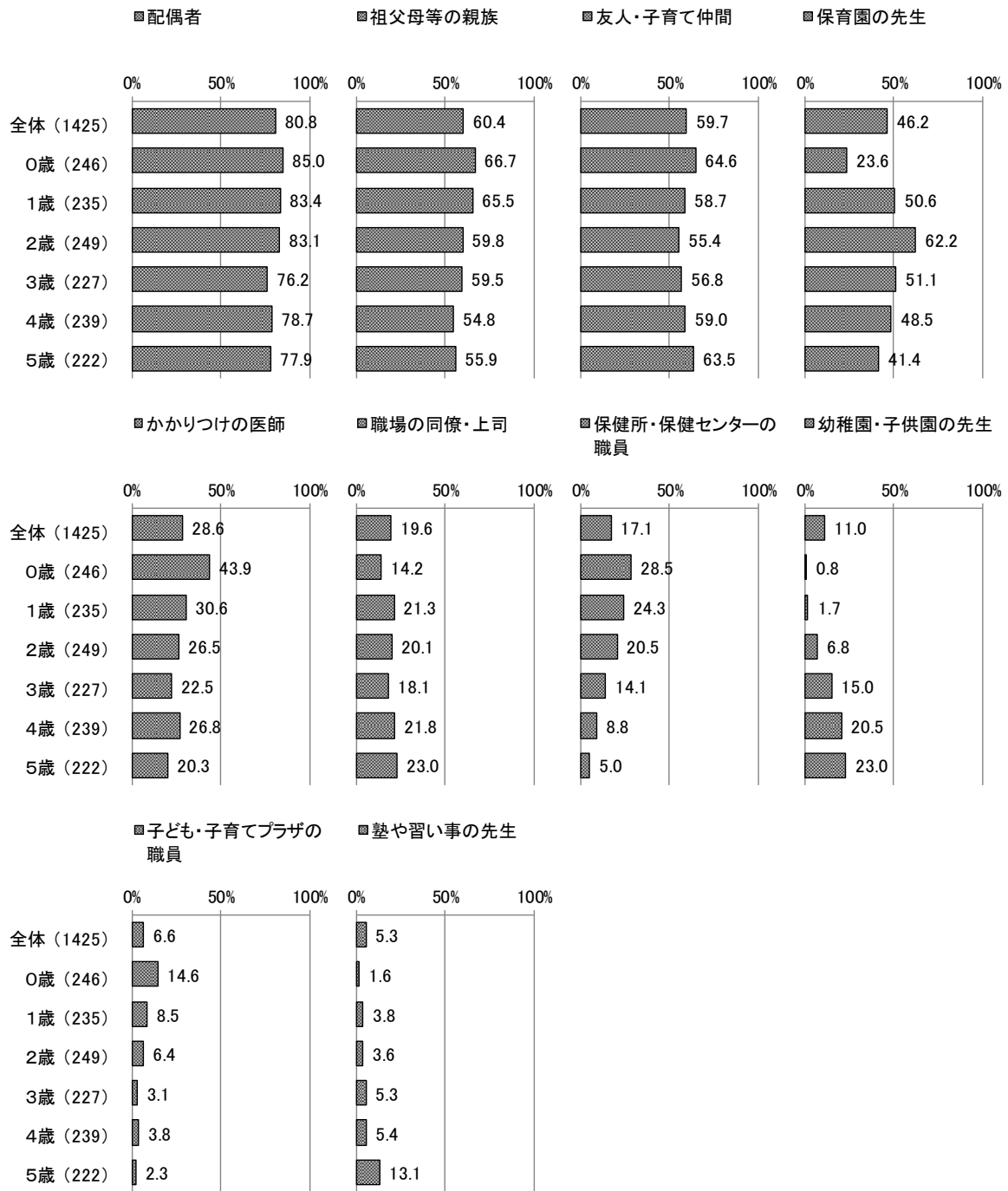
問7-2 令和5年4月1日~12月31日の間に、お子さんの子育てに関して相談した先は誰(どこ)ですか。当てはまるものすべてに○をつけて、[]内に相談した内容を下の表から選んで、番号(複数可)を記入してください。

図表2-8 子育てに関する相談先



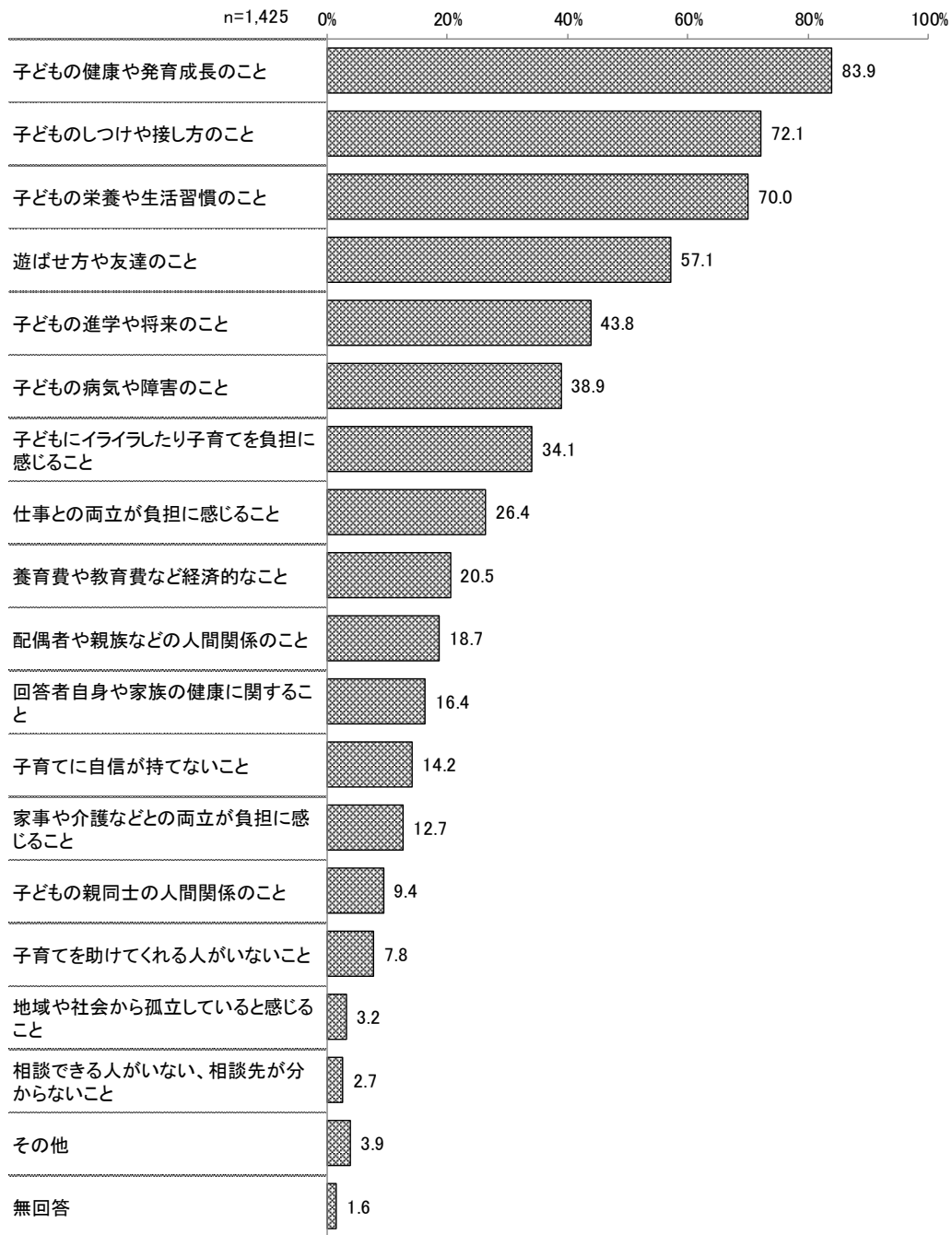
子育てに関する相談先は、「配偶者」が80.8%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」が60.4%、「友人・子育て仲間」が59.7%となっている。

図表 2-9 子育てに関する相談先（子どもの年齢別）（上位 10 項目）



年齢別にみると、すべての年齢において「配偶者」が最も高い。0歳では、「かかりつけの医師」、「保健所・保健センターの職員」、「子ども・子育てプラザの職員」について、他の年齢より高くなっている。

図表 2-10 子育てに関して相談した内容（累計）



各相談先に対して相談した内容を、相談内容ごとに累計してみると、「子どもの健康や発育成長のこと」が83.9%で最も高く、次いで「子どものしつけや接し方のこと」が72.1%、「子どもの栄養や生活習慣のこと」が70.0%となっている

図表 2-11 子育てに関する相談先と相談内容

単位: %

相談先	相談内容	相談内容																		
		調査数（n）	子どもの健康や発育成長のこと	子どものしつけや接し方のこと	子どもの栄養や生活習慣のこと	遊ばせ方や友達のこと	子どもの進学や将来のこと	子どもの病気や障害のこと	子育てをイライラしたり子育てを負担に感じること	仕事との両立が負担に感じること	養育費や教育費など経済的なこと	配偶者や親族などの人間関係のこと	回答者自身や家族の健康に関すること	子育てに自信が持てないこと	負担に感じること	家事や介護などとの両立が難しいこと	子どもの親同士の人間関係のこと	地域や社会から孤立していると感じること	相談できる人がいない、相談先が分からないこと	その他
配偶者	1,151	80.5	68.9	64.6	45.4	42.5	34.8	32.3	24.7	22.1	8.7	15.9	12.4	12.4	8.6	5.6	3.1	1.5	1.7	1.7
祖父母等の親族	861	71.9	51.6	53.1	24.0	17.7	23.7	17.9	13.9	6.5	13.6	9.8	7.4	5.6	3.4	4.1	1.2	0.8	1.3	2.2
友人・子育て仲間	851	57.0	51.9	51.2	47.4	24.8	16.5	20.7	13.5	4.0	14.7	4.8	5.4	5.3	5.6	3.4	1.1	0.6	1.9	2.9
保育園の先生	658	71.3	60.8	61.6	46.7	4.9	15.2	5.8	2.0	0.2	1.5	2.0	2.6	0.9	0.8	1.1	-	0.3	1.1	1.8
かかりつけの医師	408	79.4	6.9	39.0	1.7	2.0	49.8	2.0	0.2	-	1.2	2.5	1.2	-	-	0.5	-	0.7	1.2	2.2
職場の同僚・上司	280	51.4	44.3	39.3	32.9	29.6	17.5	11.8	30.4	6.4	10.0	6.8	3.6	5.4	2.5	1.1	-	0.4	1.4	2.5
保健所・保健センターの職員	244	75.0	23.0	51.2	10.7	3.3	11.1	10.7	2.5	0.4	7.4	3.3	6.1	3.7	-	4.1	0.8	2.0	2.0	2.0
幼稚園・子供園の先生	157	53.5	52.2	32.5	56.1	5.1	7.0	3.2	-	-	1.9	1.3	1.3	0.6	1.9	-	-	-	0.6	3.8
子ども・子育てプラザの職員	94	72.3	35.1	41.5	39.4	7.4	5.3	12.8	1.1	-	1.1	1.1	5.3	2.1	-	-	4.3	-	2.1	2.1
塾や習い事の先生	76	34.2	65.8	14.5	19.7	46.1	2.6	2.6	1.3	-	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	-	-	1.3	3.9
区や東京都などの公的相談機関	67	50.7	23.9	19.4	14.9	14.9	28.4	14.9	3.0	1.5	13.4	4.5	6.0	4.5	1.5	9.0	-	6.0	6.0	3.0
近所の人	51	58.8	41.2	47.1	54.9	23.5	13.7	3.9	2.0	2.0	2.0	-	3.9	-	-	-	-	-	2.0	3.9
子どもセンターの職員	50	74.0	26.0	28.0	18.0	16.0	18.0	2.0	4.0	-	2.0	6.0	2.0	2.0	-	2.0	-	4.0	10.0	2.0
児童館の職員	47	72.3	29.8	48.9	42.6	6.4	8.5	2.1	2.1	2.1	4.3	2.1	4.3	2.1	2.1	2.1	-	2.1	-	2.1
子ども家庭支援センターの職員	29	69.0	41.4	34.5	24.1	3.4	17.2	20.7	3.4	-	13.8	10.3	6.9	10.3	-	3.4	-	-	3.4	-
民間の相談機関	27	55.6	29.6	37.0	18.5	7.4	29.6	18.5	7.4	3.7	25.9	7.4	3.7	3.7	-	7.4	-	-	11.1	-
地域の乳幼児の交流の場（つどいの広場など）の職員	24	70.8	37.5	58.3	33.3	4.2	4.2	16.7	-	-	4.2	-	12.5	4.2	-	4.2	8.3	-	-	-
学童クラブの職員	7	71.4	42.9	57.1	42.9	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	-	14.3	-	-
民生・児童委員	2	-	-	-	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	101	71.3	47.5	50.5	28.7	21.8	32.7	13.9	5.9	3.0	7.9	4.0	11.9	5.0	1.0	5.9	1.0	5.9	5.0	3.0

※数値(%)は、相談先ごとの相談内容の割合を示す。割合が最も高いものを濃く、次に高いものを薄く網掛けしている。

相談先別に相談した内容を見ると、おおむね「子どもの健康や発育成長のこと」が最も高くなっている。また、「子どものしつけや接し方のこと」は、「配偶者」、「祖父母等の親族」、「友人・子育て仲間」、「保育園の先生」、「幼稚園・子供園の先生」、「塾や習い事の先生」で半数を超えている。

図表2-12 子育てに関して相談した内容（累計・子どもの年齢別）

単位：％

	調査数（n）	子どもの健康や発育成長のこと	子どものしつけや接し方	子どもの栄養や生活習慣	遊ばせ方や友達のこと	子どもの進学や将来のこと	子どもの病気や障害のこと	子育てをイライラしたり	仕事との両立が負担に感じる	養育費や教育費など経済的なこと	配偶者や親族などの人間関係のこと	回答者自身や家族の健康に関する	子育てに自信が持てない	家事や介護などの両立が負担に感じる	子どもの親同士の人間関係	子育てを助けてくれる人がいない	地域や社会から孤立していると感じる	相談できる人がいない、相談先が分からない	その他	無回答
全 体	1,425	83.9	72.1	70.0	57.1	43.8	38.9	34.1	26.4	20.5	18.7	16.4	14.2	12.7	9.4	7.8	3.2	2.7	3.9	1.6
0 歳	246	91.1	56.9	82.9	49.6	40.2	43.1	31.3	20.3	26.4	22.8	17.1	21.1	17.1	4.9	8.9	8.1	3.7	1.6	2.4
1 歳	235	88.9	68.9	78.7	51.5	35.3	43.0	33.2	33.2	22.6	20.9	19.6	15.7	16.2	5.5	11.9	2.1	3.0	5.5	1.7
2 歳	249	84.3	77.9	70.7	60.2	41.4	40.6	35.7	28.1	18.1	17.3	16.1	12.4	7.2	9.2	6.4	3.2	2.4	4.0	1.2
3 歳	227	80.6	80.2	66.5	59.0	47.1	33.5	41.4	26.9	18.9	16.7	12.3	12.3	10.6	9.7	8.4	2.2	2.6	2.6	1.8
4 歳	239	79.9	75.7	57.3	62.3	45.2	36.0	33.1	22.2	18.8	19.7	16.7	13.4	14.2	12.1	6.3	1.7	1.7	4.2	0.4
5 歳	222	77.5	74.3	62.6	60.4	55.4	36.9	30.2	28.4	18.0	15.3	16.7	9.5	11.3	15.8	5.0	1.8	2.7	5.4	2.3

相談した内容の累計結果を子どもの年齢別にみると、どの年齢でも、「子どもの健康や発育成長のこと」が最も高く、次いで0歳・1歳では、「子どもの栄養や生活習慣のこと」が、2歳から5歳は、「子どものしつけや接し方のこと」が高い傾向にある。

3. 保護者の就労状況

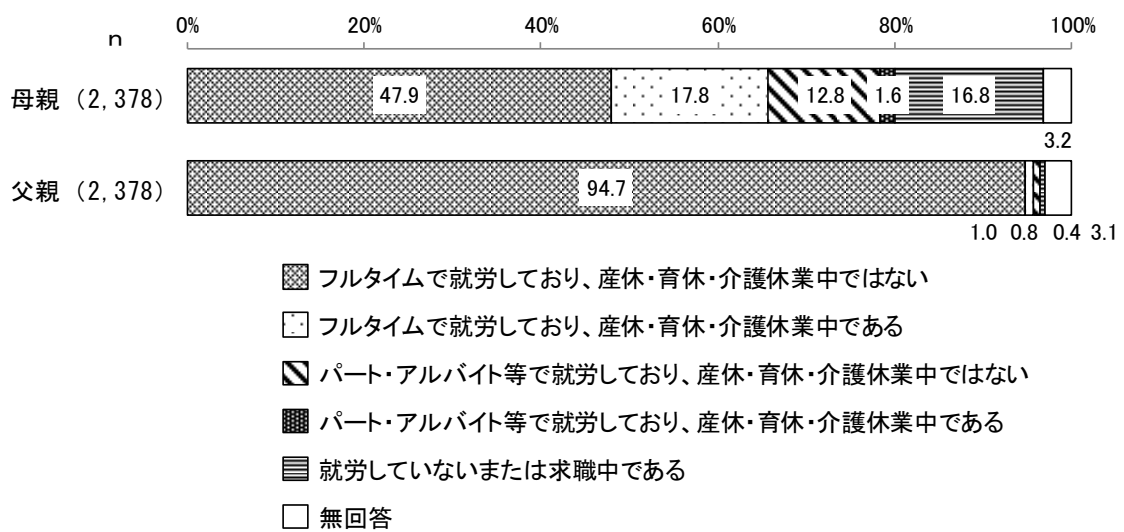
(1) 保護者の就労状況

問8 「母親」「父親」それぞれの就労状況について、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

ここで言う「フルタイム」とは1週間に5日・1日8時間程度の仕事をさします。

「パート・アルバイト等」とはフルタイム以外の就労をさします。

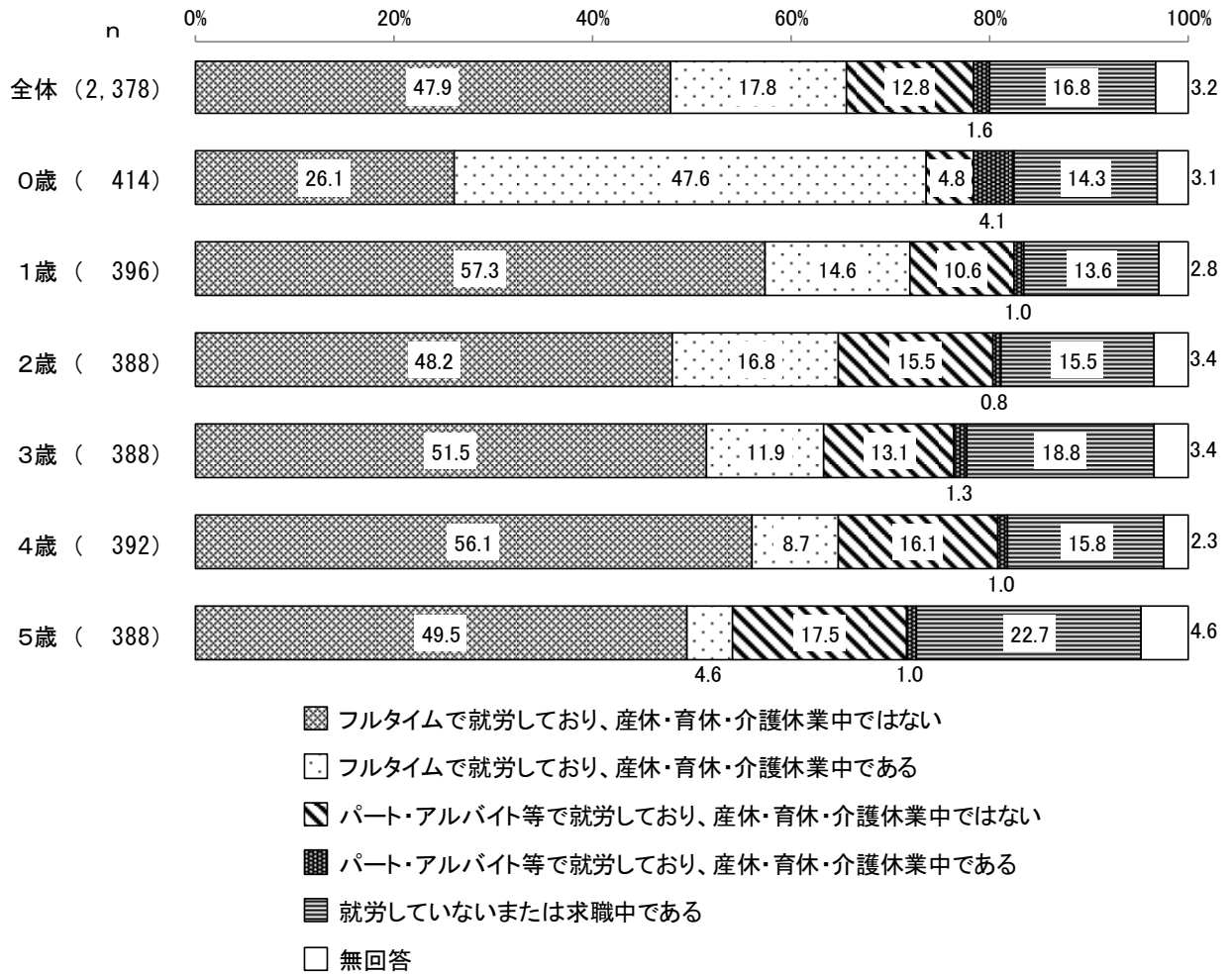
図表3-1



保護者の就労状況は、母親では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が47.9%で最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」が17.8%、「就労していないまたは求職中である」が16.8%となっている。

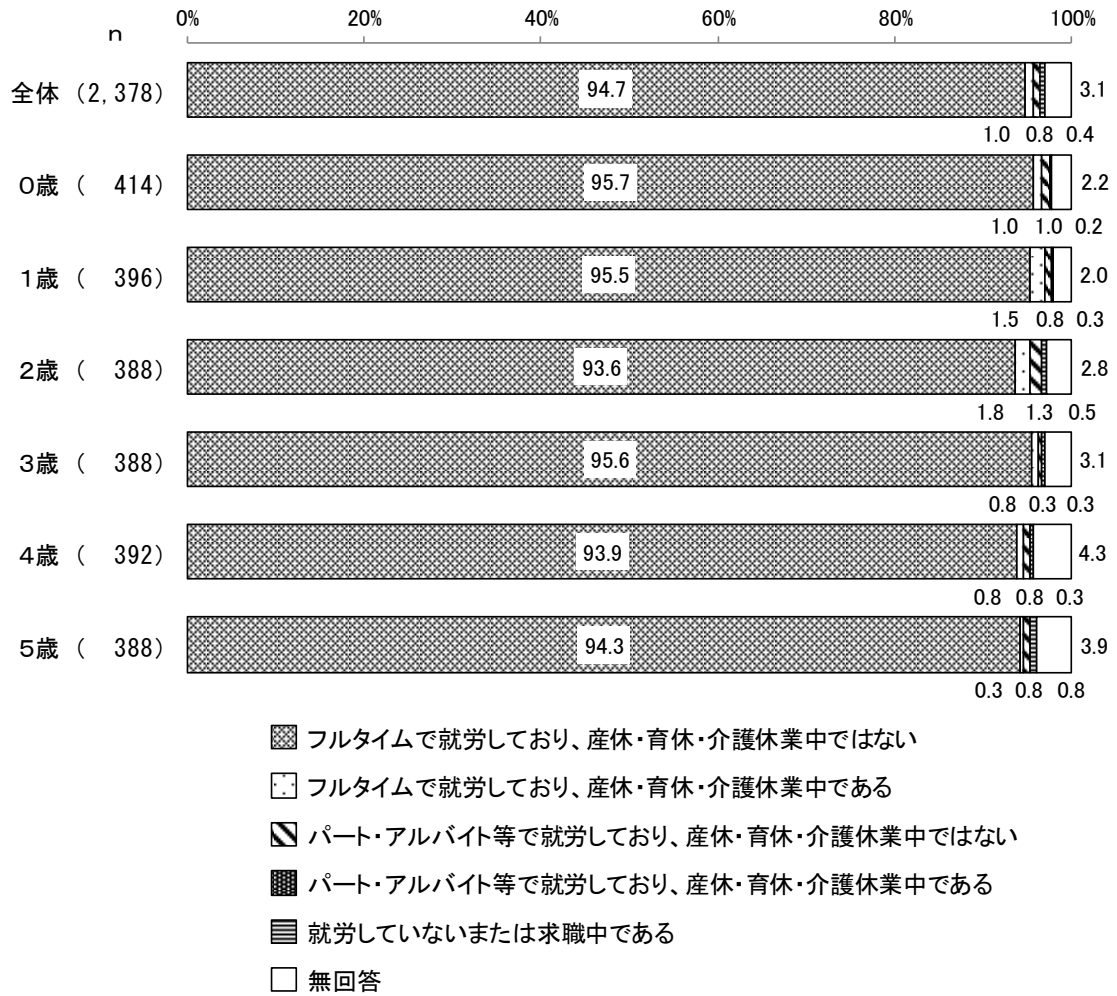
一方、父親では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が94.7%で最も高くなっている。

図表3-2 保護者の就労状況（子どもの年齢別）【母親】



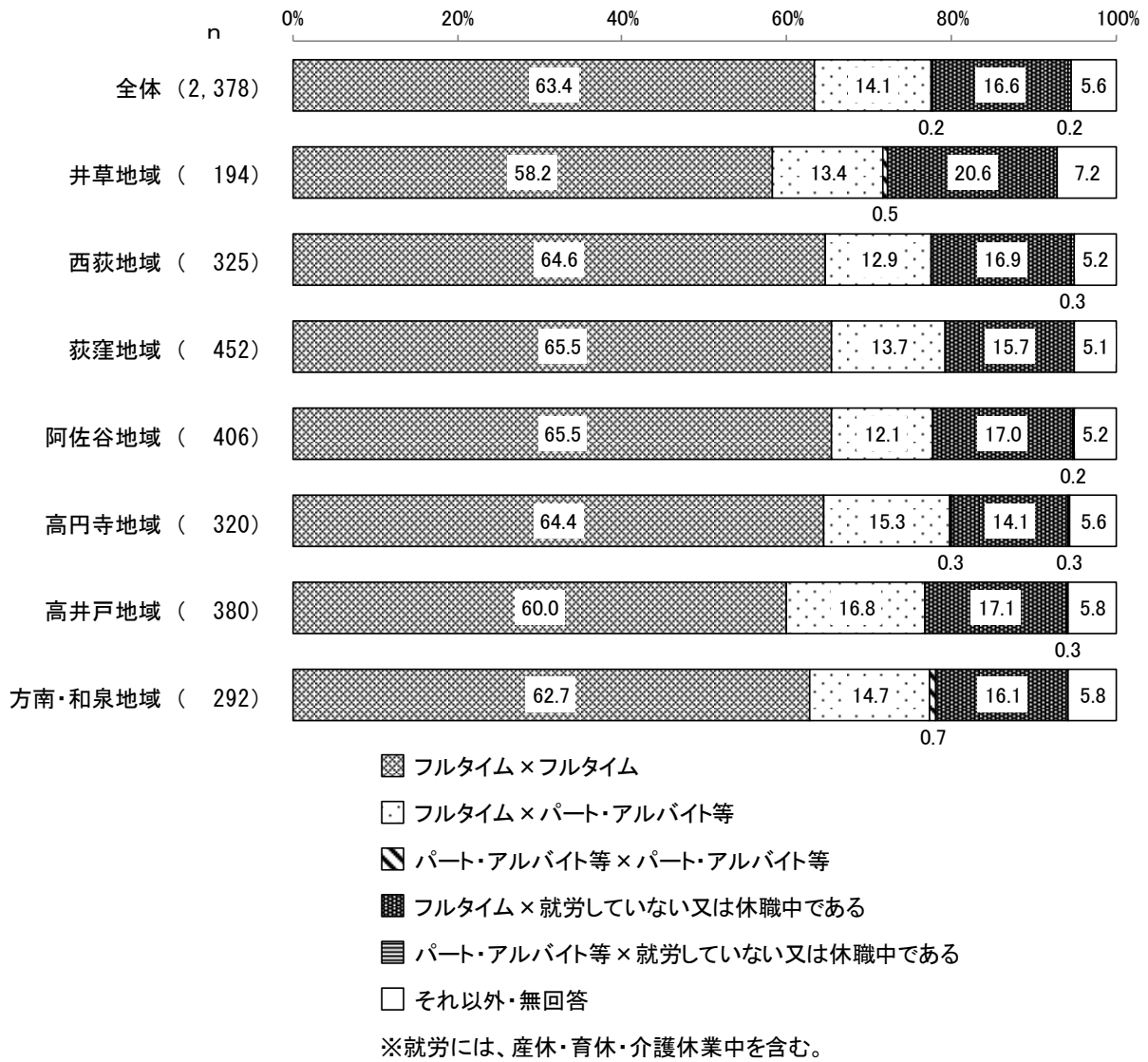
子どもの年齢別にみると、母親では、0歳で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」が47.6%で最も高い。フルタイム（休業中含む）で就労している割合は、おおむね年齢が上がるにつれて、低くなる傾向にある。「就労していないまたは求職中である」は5歳を除いて1割台となっている。

図表3-3 保護者の就労状況（子どもの年齢別）【父親】



子どもの年齢別にみると、父親では、すべての年齢で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が9割台となっている。

図表 3-4 共働きの状況（7地域別）



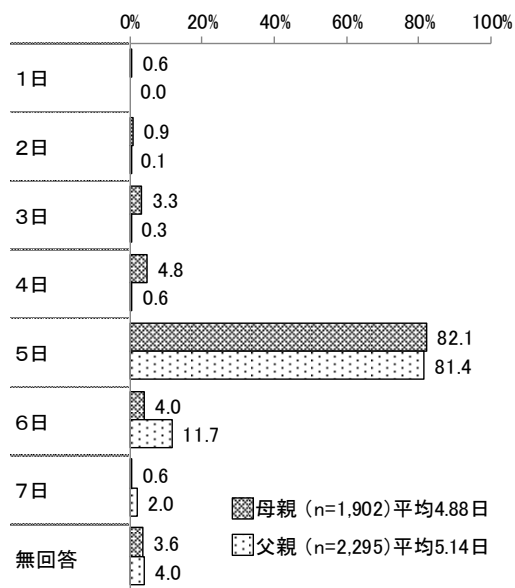
保護者（ふたり親）の就労状況を7地域別にみると、すべての地域で父母ともにフルタイムである「フルタイム×フルタイム」が6割程度となっている。次いで、高円寺地域以外では、父母のどちらか一方がフルタイムである「フルタイム×就労していない又は休職中である」の割合が高くなっている。

(1-1) 1週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間数

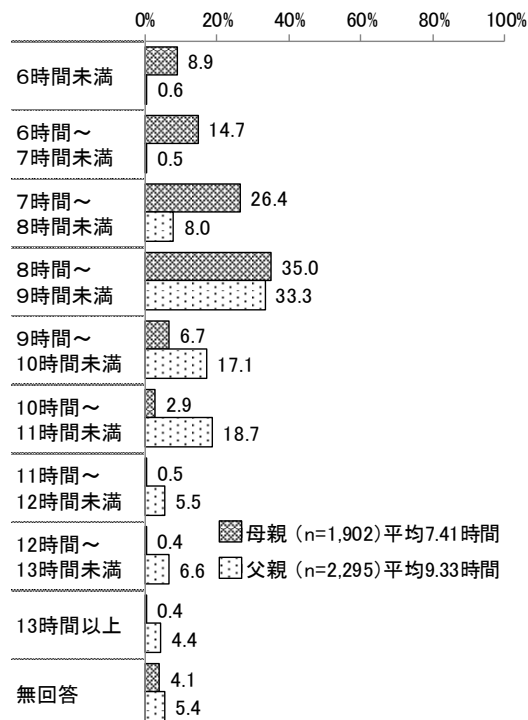
(問8の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問8-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は(例)8~18時のように24時間制でご記入ください。

図表3-5 1週あたりの就労日数



図表3-6 1週あたりの就労時間



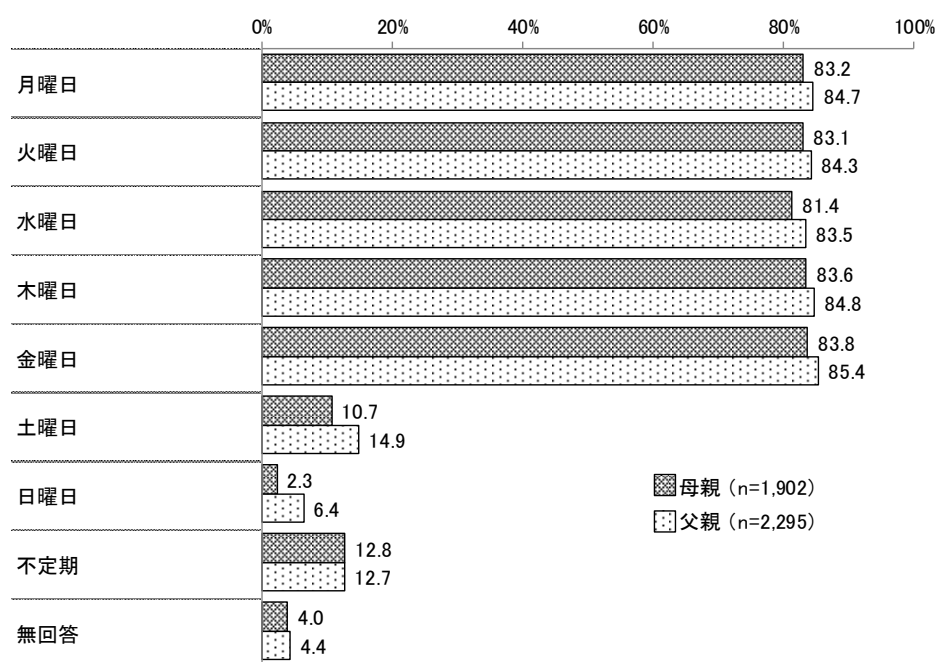
1週あたりの就労日数は、母親・父親ともに、「5日」が最も高く、8割以上となっている。1日あたりの就労時間は、母親・父親ともに、「8時間~9時間未満」が最も高くなっている。次いで、母親は「7時間~8時間未満」が26.4%、「6時間~7時間未満」が14.7%となっている。一方、父親は「10時間~11時間未満」が18.7%、「9時間~10時間未満」が17.1%となっており、総合的に父親の方が長時間労働の傾向にある。

(1-2) 就労している曜日

(問8の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問8-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は(例)8~18時のように24時間制でご記入ください。

図表3-7



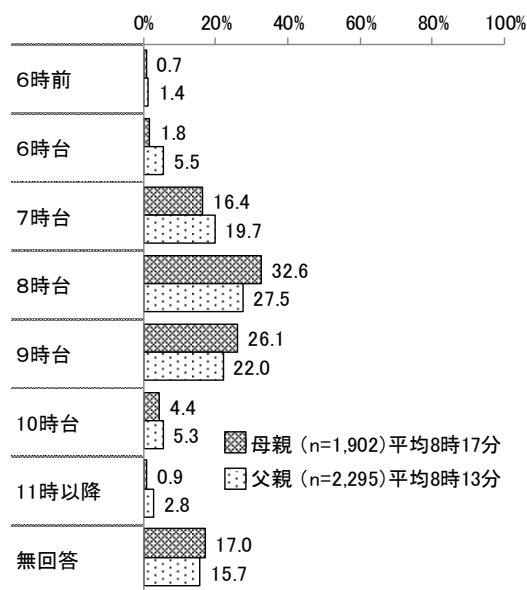
就労している曜日は、母親・父親ともに、「月曜日」から「金曜日」までが高くなっている。父親は母親と比較して「土曜日」と「日曜日」が高く、それぞれ4ポイント以上の差がみられる。

(1-3) 出勤時刻と帰宅時刻

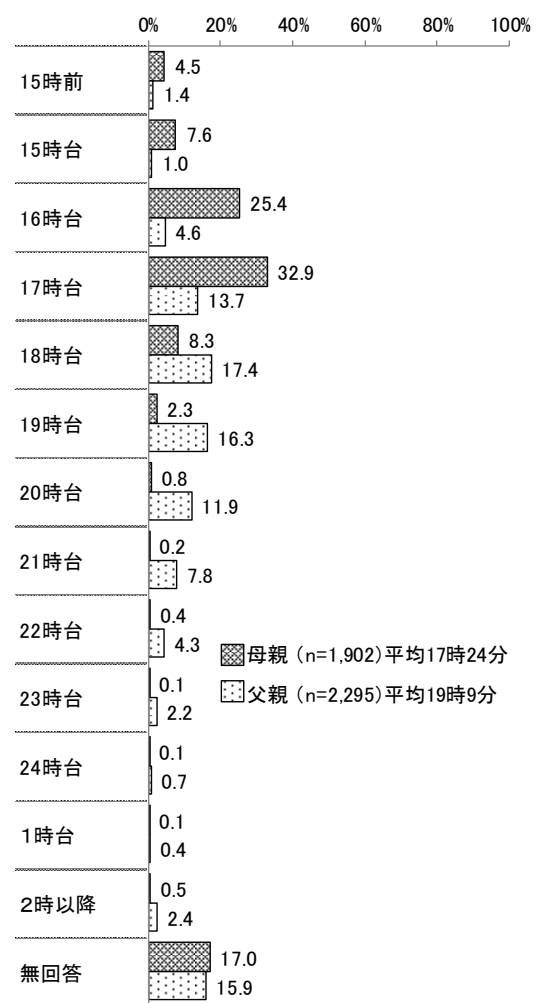
(問8の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問8-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は(例)8~18時のように24時間制でご記入ください。

図表3-8 出勤時刻



図表3-9 帰宅時刻



出勤時刻は、母親・父親ともに「8時台」が最も高くなっている。次いで、母親は「9時台」が26.1%、父親は「9時台」が22.0%となっている。帰宅時刻は、母親では「17時台」が32.9%で最も高く、次いで「16時台」が25.4%となっている。一方、父親は「18時台」が17.4%で最も高く、次いで「19時台」が16.3%となっている。

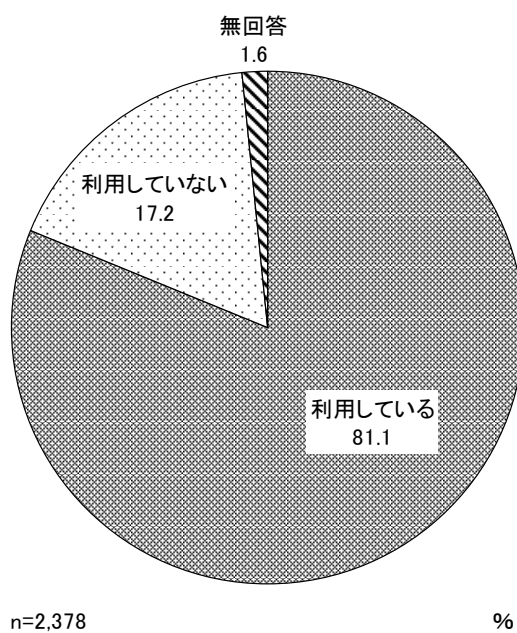
4. 保育園・幼稚園等の利用状況

(1) 定期利用の状況

問9 宛名のお子さんは現在、保育園や幼稚園など問9-1に示した施設・事業を、定期的にご利用されていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

※「定期的」とは、月単位で継続して利用されている場合をさします。

図表4-1



保育園・幼稚園等の利用状況は、「利用している」が81.1%、「利用していない」が17.2%となっている。

(1-1) 定期的にご利用している施設・事業

(問9で、「1 利用している」に○をつけた方にかがいます。)

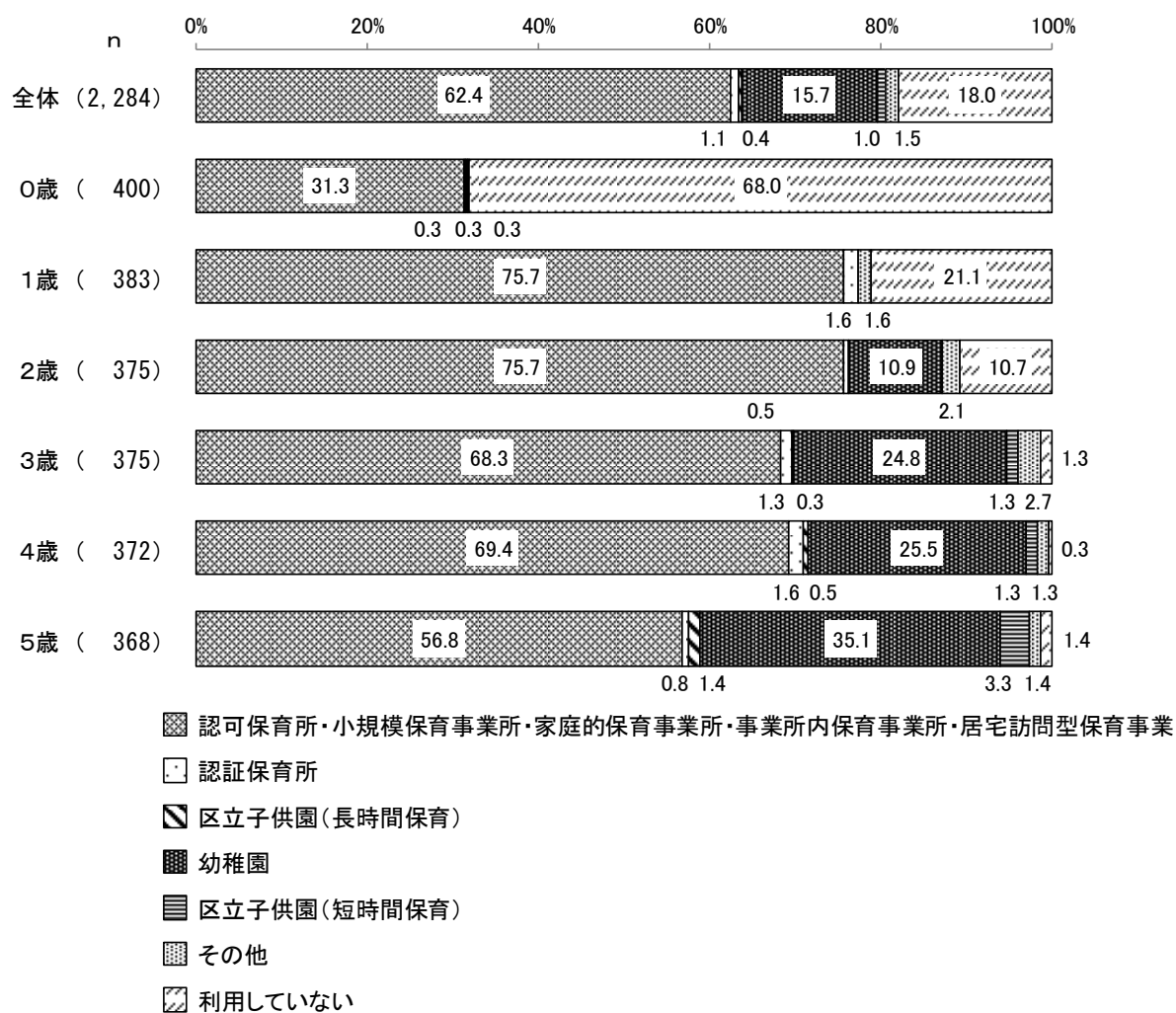
問9-1 宛名のお子さんは、どのような施設・事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業すべてに○をつけてください。

図表4-2



定期的にご利用している施設・事業は、「認可保育所」が70.7%で最も高く、次いで「幼稚園」が18.6%となっている。

図表4-3 定期的に利用している施設・事業（子どもの年齢別）



※複数回答の設問であるため、問9-1のそれぞれの回答数と問9の「利用していない」を足し上げた数を母数として百分率の結果を算出している。

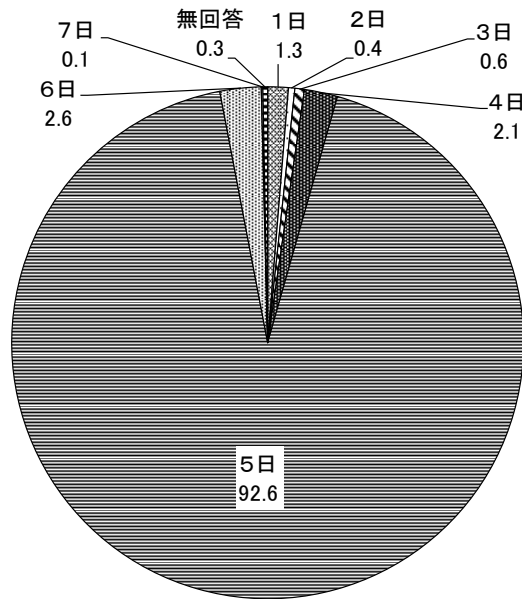
子どもの年齢別にみると、1歳と2歳では、「認可保育所・小規模保育事業所等」の利用が最も高くなり、75.7%となっている。3歳以上では、「幼稚園」の利用割合が増えてくる。「利用していない」は年齢が上がるにつれて低くなり、0歳で68.0%だが、3歳以上で1%前後となっている。

(1-2) 施設・事業の利用頻度 (利用日数・利用時間等)

(問9で、「1 利用している」に○をつけた方にかがいます。)

問9-2 問9-1で○をつけた施設・事業について、どのくらい利用していますか。1週あたり何日、1日あたり何時間(何時から何時まで)かを、□に数字(24時間制)でご記入ください。複数の施設・事業を利用している場合は、それらを合計した時間をご記入ください。

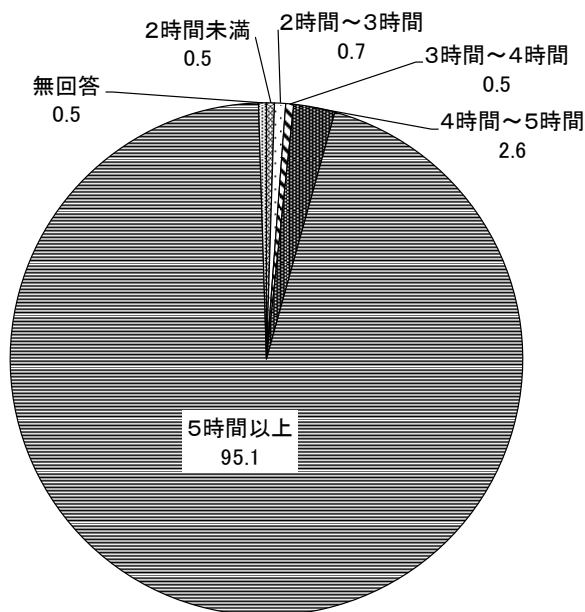
図表4-4 1週あたりの利用日数



n=1,929

%

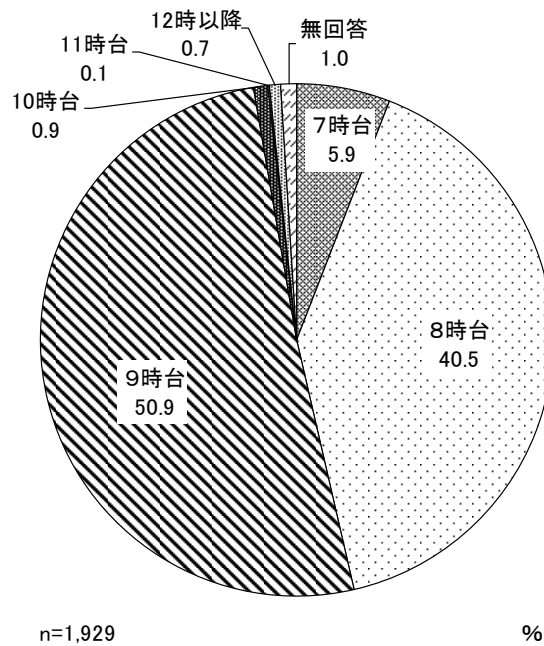
図表4-5 1日あたりの利用時間



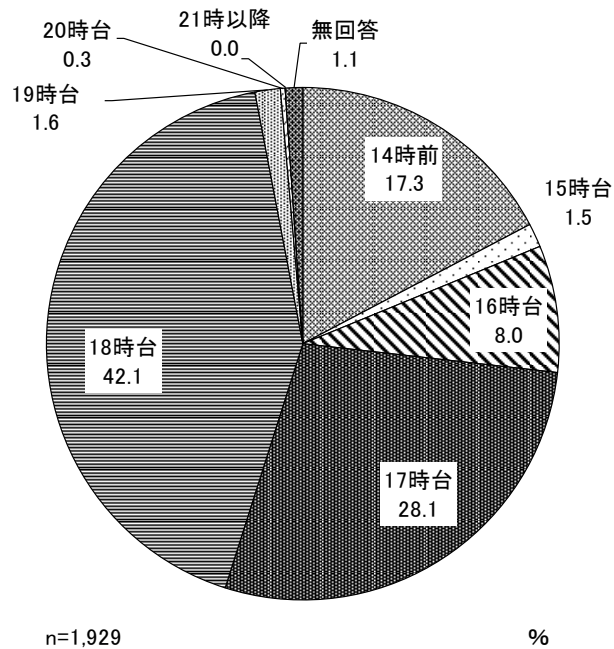
n=1,929

%

図表 4 - 6 利用開始時刻



図表 4 - 7 利用終了時刻



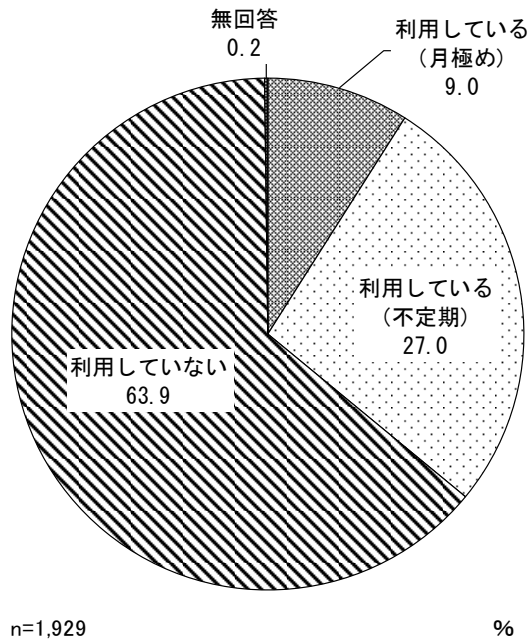
施設・事業の現在の利用頻度は、1週あたりの利用日数では「5日」が92.6%で最も高くなっている。1日あたりの利用時間では、「5時間以上」が95.1%で最も高くなっている。利用開始時刻は、「9時台」が50.9%で最も高く、次いで「8時台」が40.5%となっている。利用終了時刻は、「18時台」が42.1%で最も高く、次いで「17時台」が28.1%、「14時前」が17.3%となっている。

(1-3) 延長保育の利用状況

(問9で、「1 利用している」に○をつけた方にかがいます。)

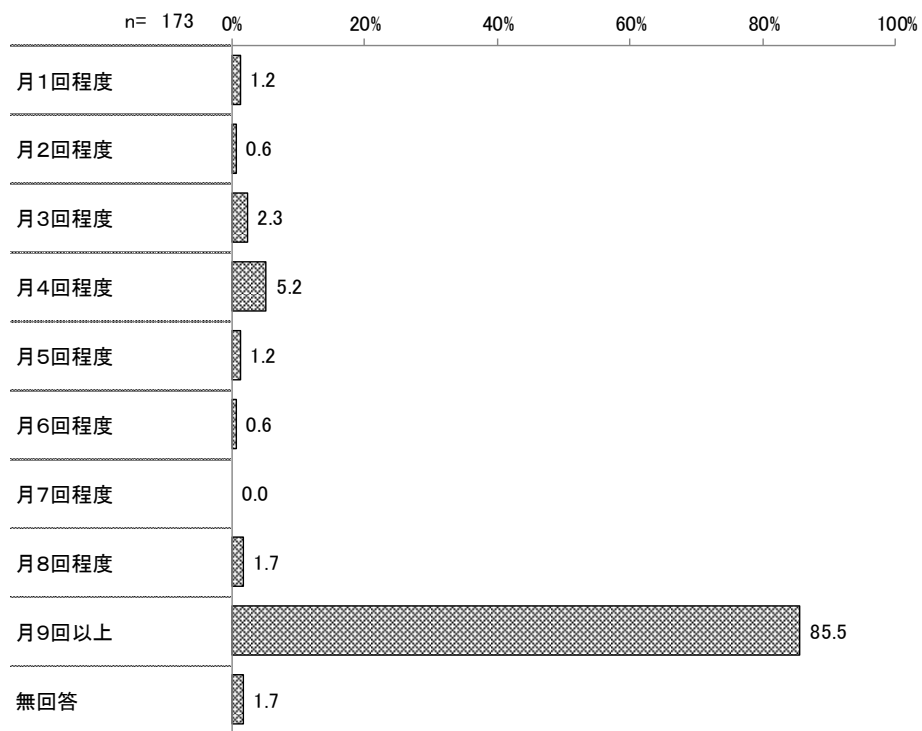
問9-3 延長保育を利用していますか。当てはまるものに○をつけてください。月極めの場合は口内に1か月あたり何日利用するか記入してください。

図表4-8



延長保育の利用は、「利用していない」が63.9%で最も高く、次いで「利用している(不定期)」が27.0%、「利用している(月極め)」が9.0%となっている。

図表 4－9 月極めで利用している場合の延長保育の利用頻度



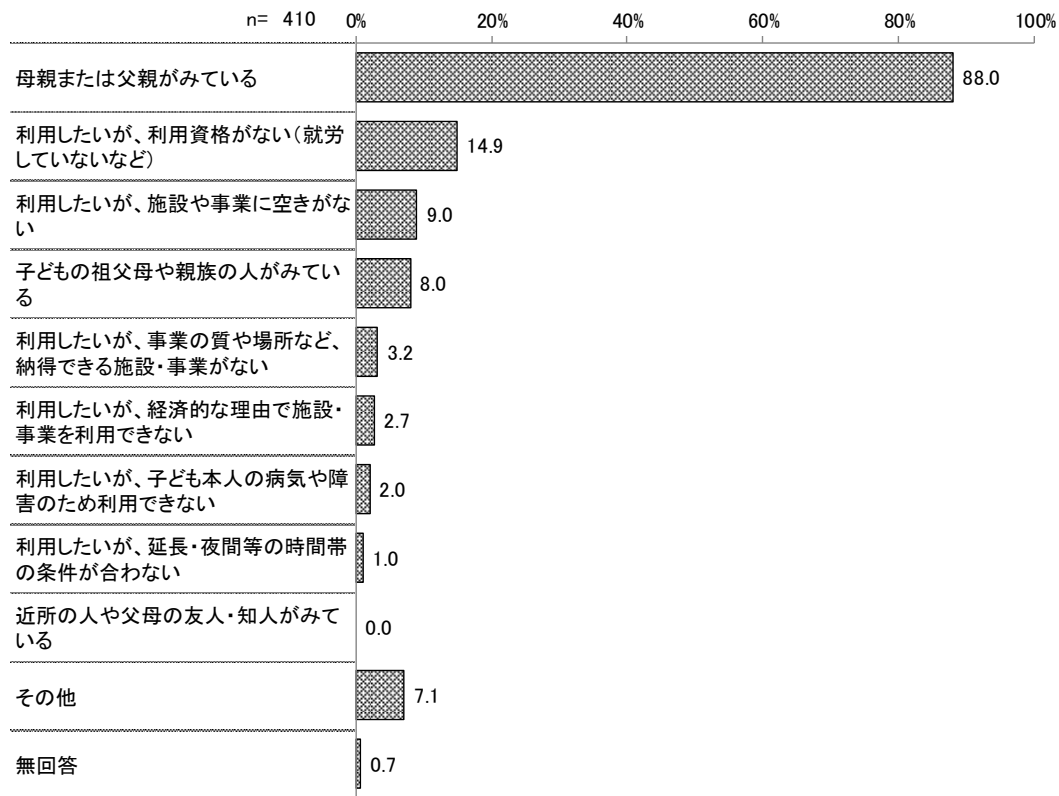
月極めで利用している場合の利用頻度は、「月9回以上」が85.5%で最も高くなっている。

(1-4) 施設・事業を利用していない理由

(問9で、「2 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。)

問9-4 利用していない理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

図表4-10



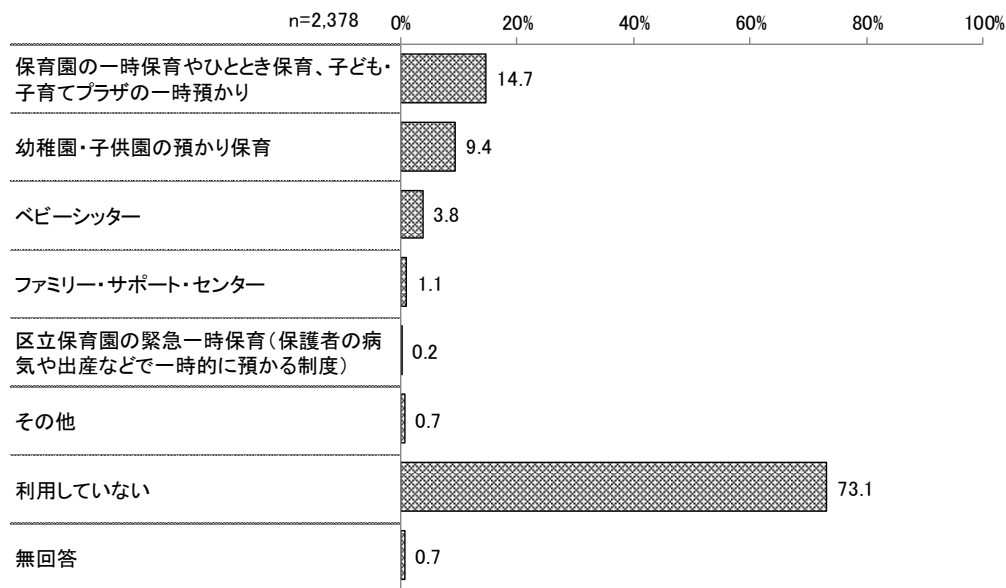
保育園・幼稚園等の施設・事業を利用していない理由は、「母親または父親がみている」が88.0%で最も高く、次いで「利用したいが、利用資格がない(就労していないなど)」が14.9%、「利用したいが、施設や事業に空きがない」が9.0%となっている。

5. 一時預かり等の利用状況

(1) 不定期に利用している預かり事業

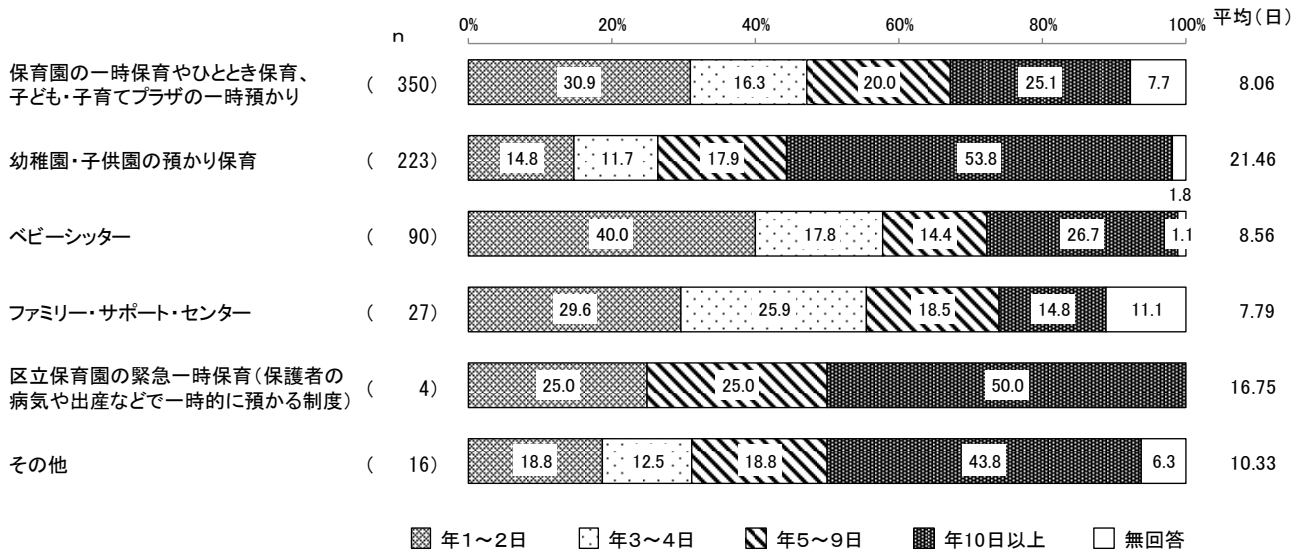
問10 宛名のお子さんについて、保護者の用事（買い物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労、兄弟姉妹の用事等の目的で、不定期に利用している預かり事業はありますか。ある場合は、当てはまるものすべてに○をつけ、令和5年4月1日～12月31日の間に利用したおおよその日数を口内に数字でご記入ください。

図表5-1



不定期に利用している預かり事業は、「保育園の一時保育やひととき保育、子ども・子育てプラザの一時預かり」が 14.7%で最も高く、次いで「幼稚園・子供園の預かり保育」が 9.4%、「ベビーシッター」が 3.8%となっている。一方、「利用していない」は 73.1%となっている。

図表 5-2 不定期的に利用している預かり事業の利用頻度



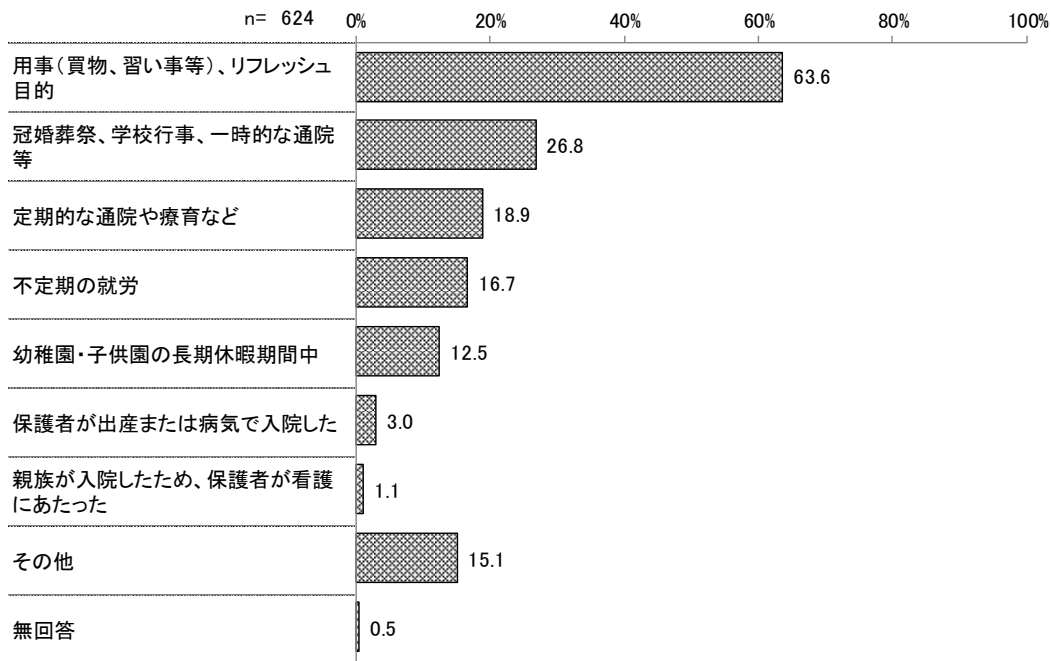
不定期的に利用している預かり事業の利用頻度は、利用者数が最も多い「保育園の一時保育やひととき保育、子ども・子育てプラザの一時預かり」では「年1~2日」が30.9%で最も高く、「年10日以上」が25.1%となっている。次いで、「幼稚園・子供の預かり保育」では「年10日以上」が53.8%で最も高く、「年5~9日」が17.9%となっている。

(1-1) 不定期に預かり事業を利用している理由

(問10で、1～6までのいずれかに○をつけた方にうかがいます。)

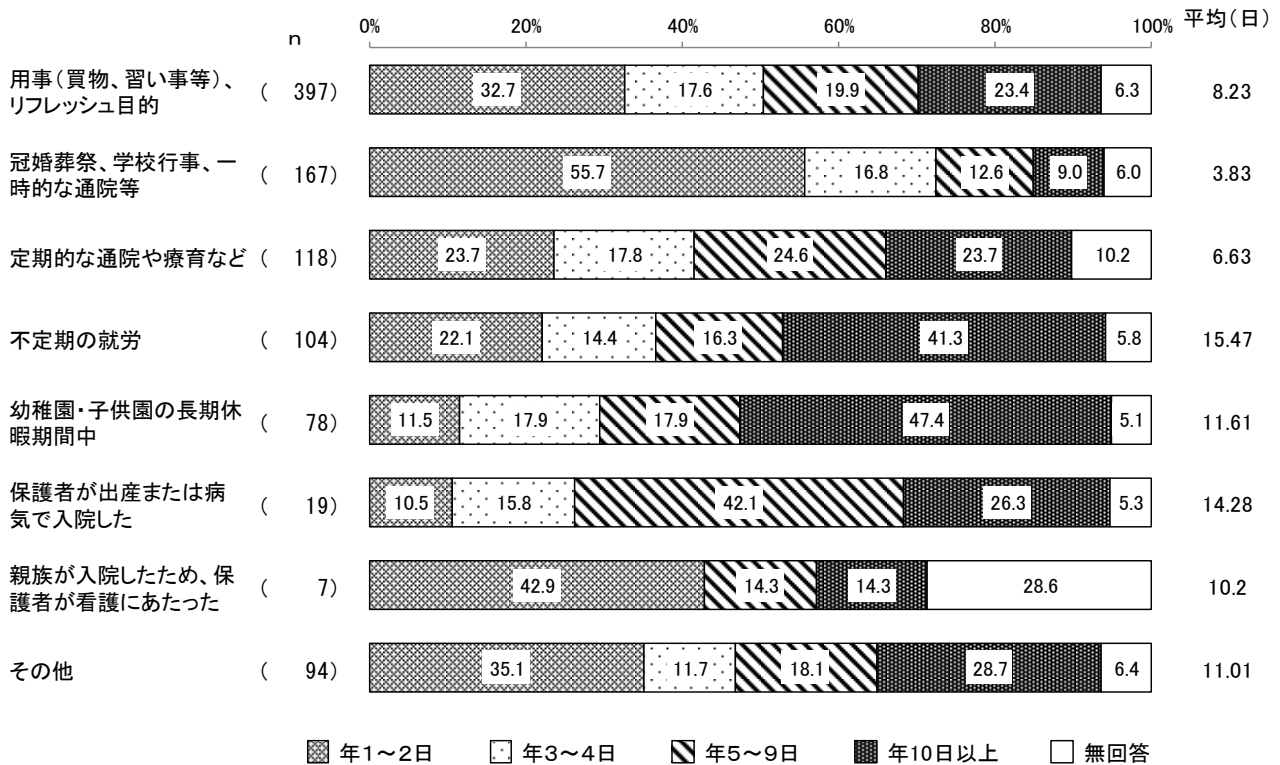
問10-1 利用する際の理由で当てはまる番号にすべてに○をつけ、令和5年4月1日～12月31日のおおよその利用日数をご記入ください。

図表5-3



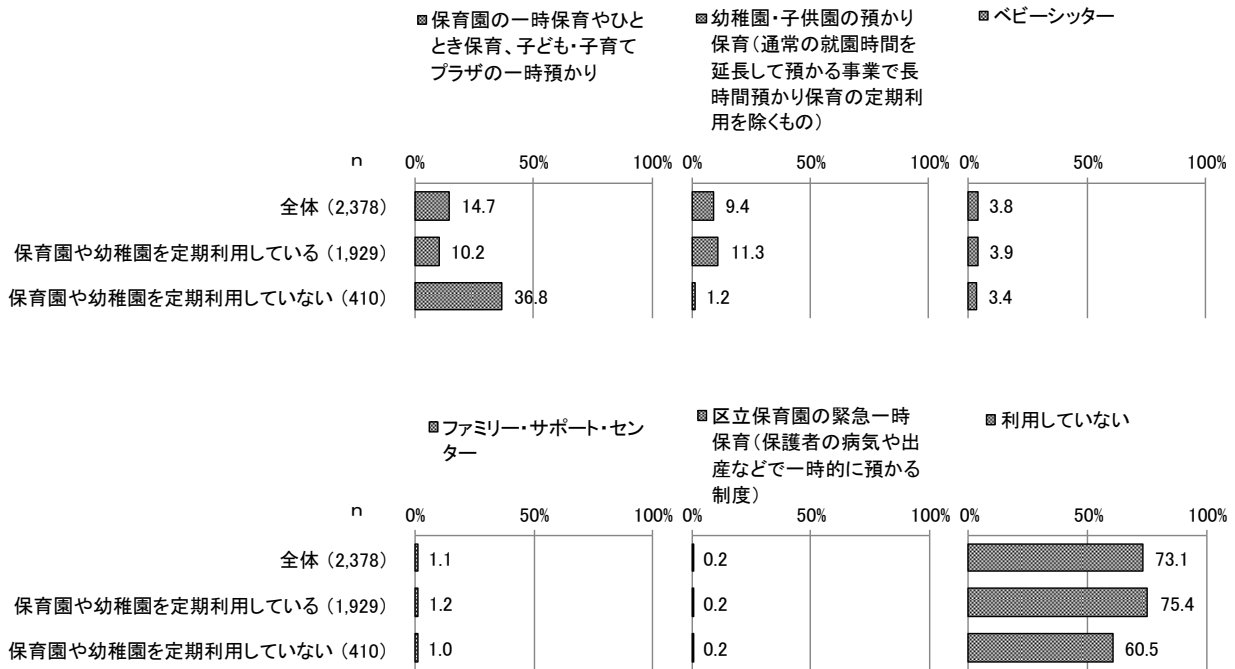
不定期に預かり事業を利用している理由は、「用事(買物、習い事等)、リフレッシュ目的」が63.6%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、一時的な通院等」が26.8%、「定期的な通院や療育など」が18.9%となっている。

図表5-4 不定期に預かり事業を利用している理由別の利用頻度



不定期に預かり事業を利用している理由別の利用頻度は、利用者数が最も多い「用事（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」では「年1～2日」が32.7%で最も高く、「年10日以上」で23.4%となっている。次いで、「冠婚葬祭、学校行事、一時的な通院等」では「年1～2日」が55.7%、「年3～4日」が16.8%となっている。

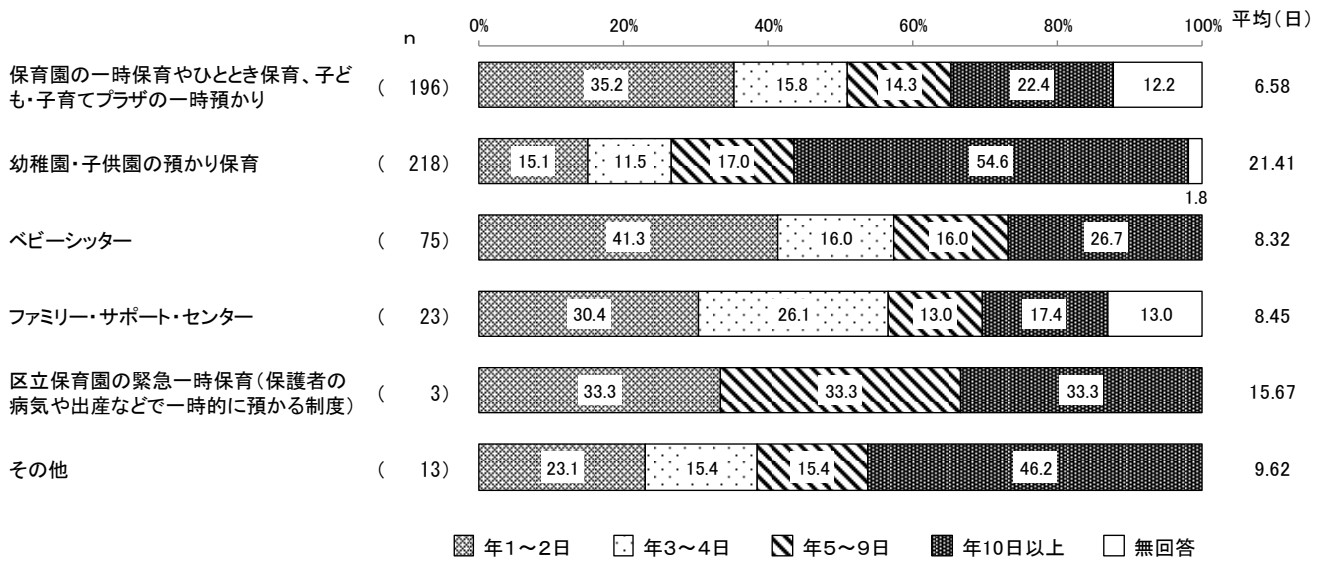
図表 5-5 不定期に利用している預かり事業（保育園や幼稚園などの定期的な利用別）



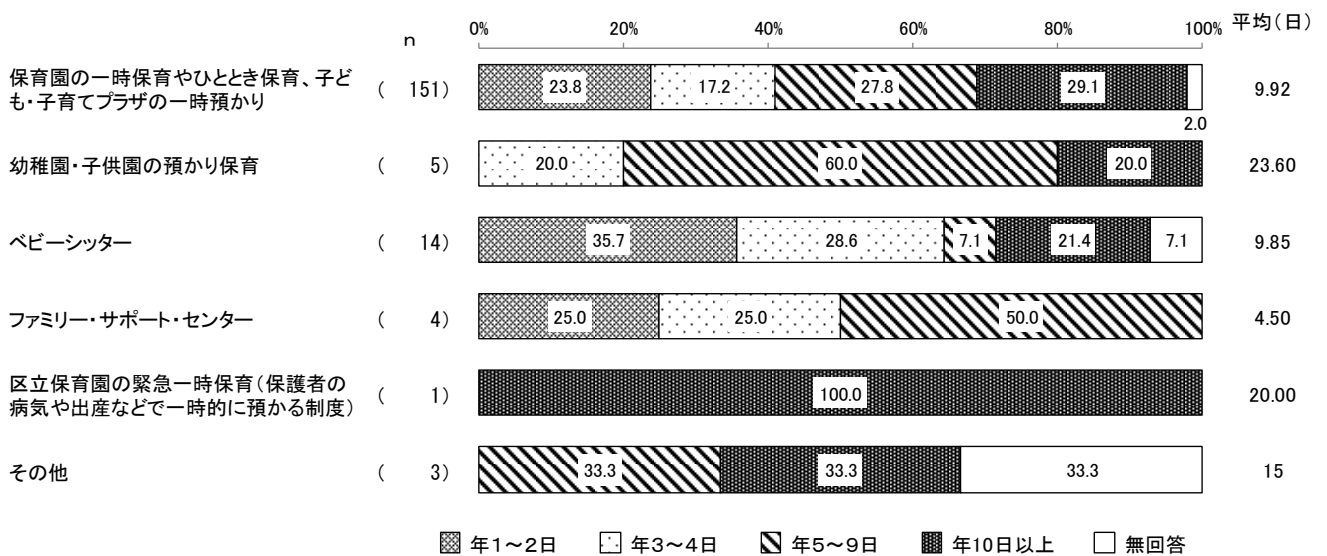
不定期に利用している預かり事業を、保育園や幼稚園などの定期的な利用の有無別にみると、保育園等を定期的に利用している人の約 25%、保育園等を定期的に利用していない人の約 40%が、不定期の預かり事業を利用している。

図表5-6 不定期的に利用している預かり事業の利用頻度（保育園や幼稚園などの定期的な利用別）

【保育園や幼稚園などを定期利用している】



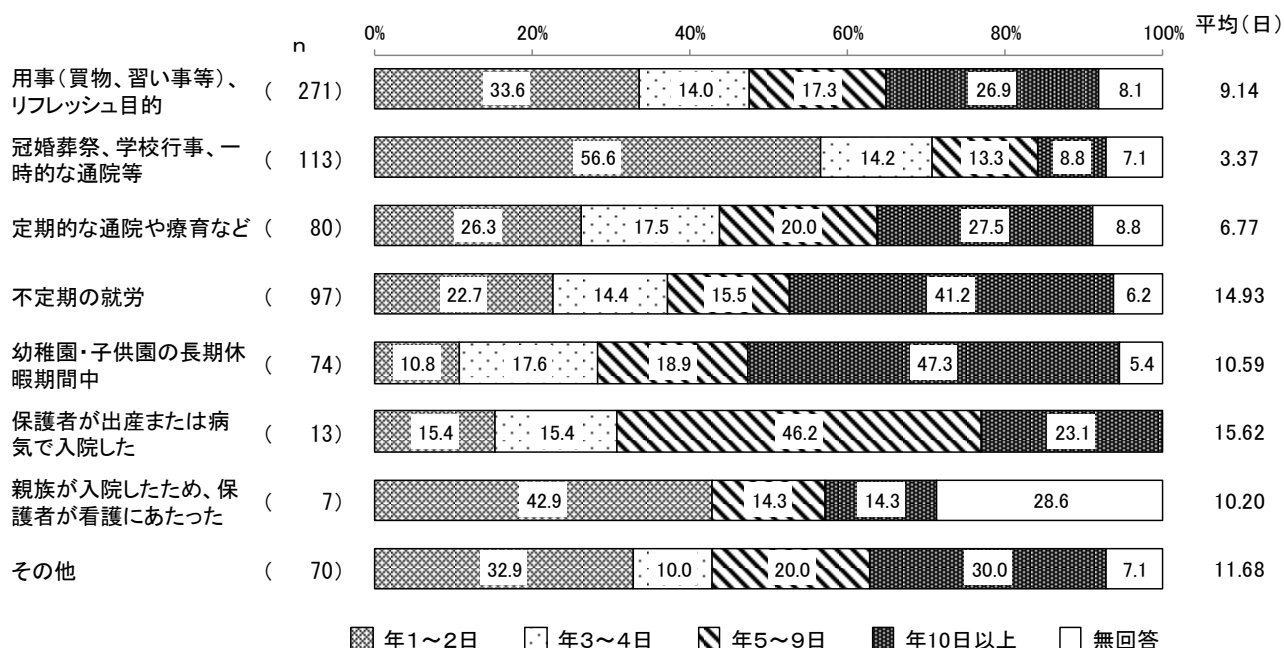
【保育園や幼稚園などを定期利用していない】



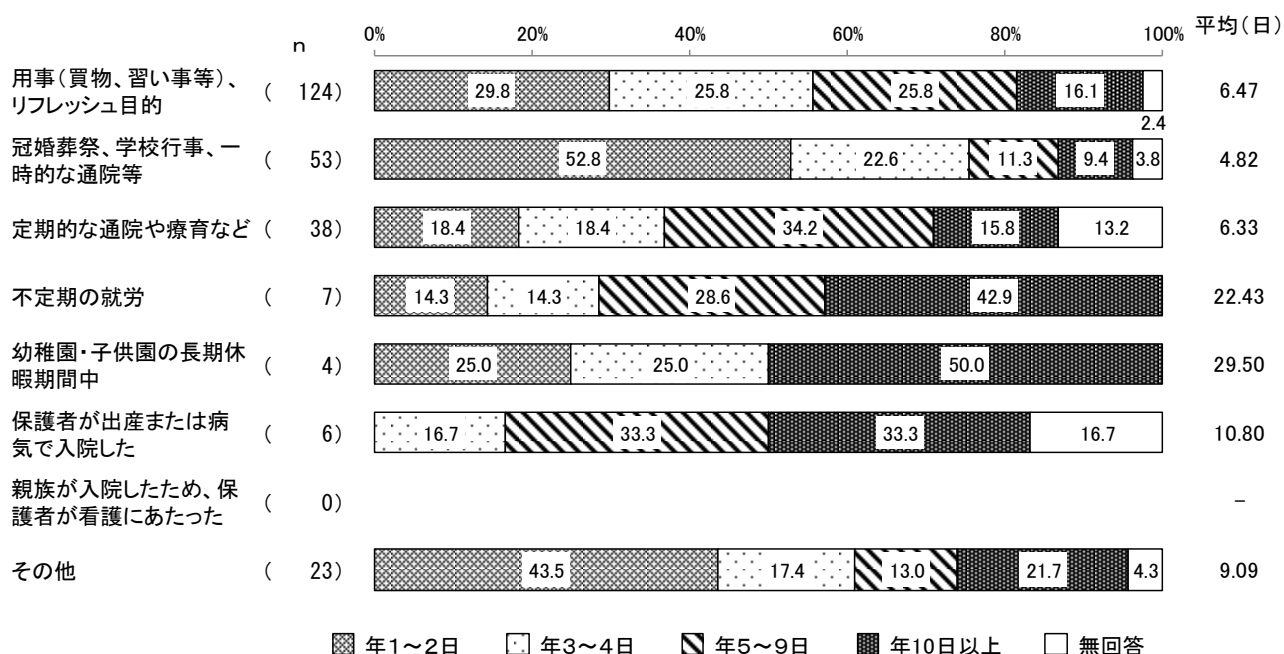
不定期的に利用している預かり事業の利用頻度を、保育園や幼稚園などの定期的な利用の有無別にみると、保育園等を定期利用している人では、利用者数が最も多い「幼稚園・子供園の預かり保育」では、「年10日以上」が54.6%で最も高く、次いで「年5～9日」が17.0%となっている。次に利用者数が多い「保育園等の一時保育やひととき保育、子ども・子育てプラザの一時預かり」は、「年1～2日」が35.2%、「年10日以上」が22.4%となっている。保育園等を定期的に利用していない人が利用する不定期の預かり事業は、そのほとんどが「保育園の一時保育やひととき保育、子ども・子育てプラザの一時預かり」である。これを利用頻度別にみると、「年10日以上」が29.1%で最も多く、次いで「年5～9日」が27.8%となっている。

図表5-7 不定期に預かり事業を利用している理由別の利用頻度
(保育園や幼稚園などの定期的な利用別)

【保育園や幼稚園などを定期利用している】



【保育園や幼稚園などを定期利用していない】



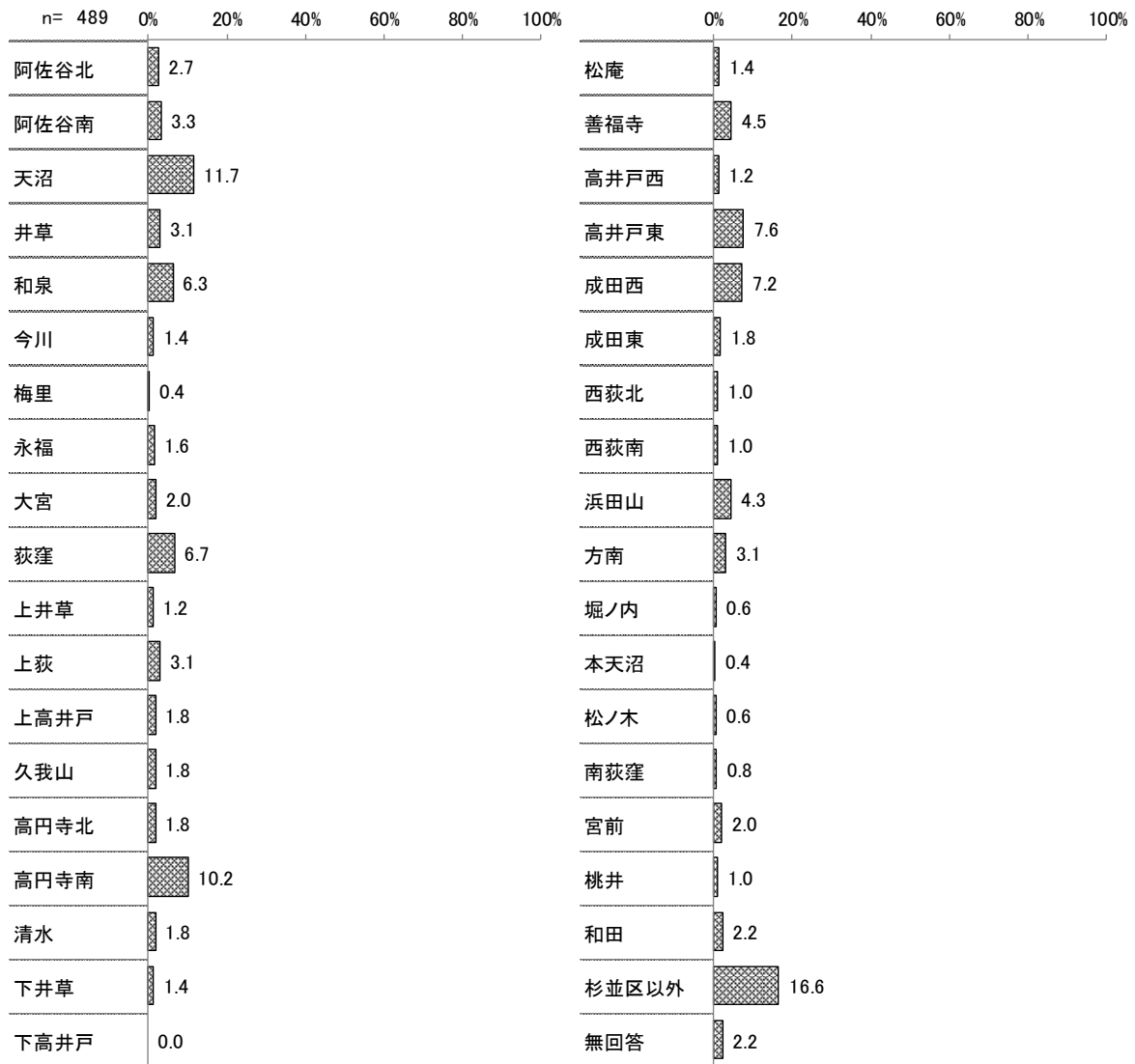
不定期に預かり事業を利用する理由別の利用頻度を、保育園や幼稚園などの定期的な利用の有無別にみると、保育園等を定期的に利用している人と利用していない人のいずれも、「用事(買物、習い事等)、リフレッシュ目的」の理由が最も多く、頻度は「年1~2日」が最も高くなっている。

(1-2) 利用した施設・事業の場所

(問10で1～3までのいずれかに○をつけた方にうかがいます。)

問10-2 利用した施設・事業の実施場所(町名)すべてに○をつけてください。

図表5-8



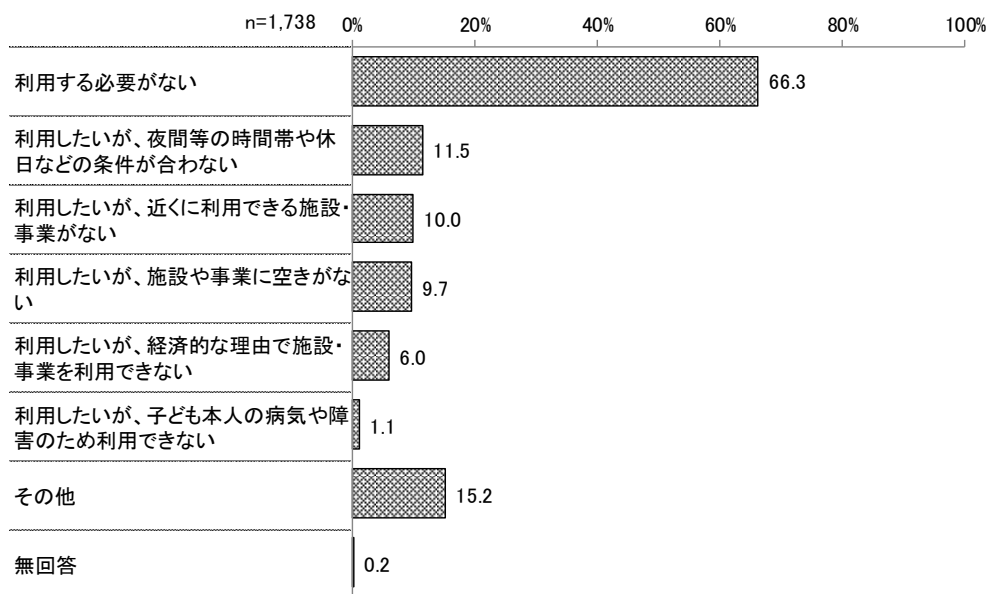
利用した施設・事業の実施場所は、「天沼」が11.7%で最も高く、次いで「高円寺南」が10.2%となっている。

(1-3) 不定期の預かり事業を利用していない理由

(問10で「7 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。)

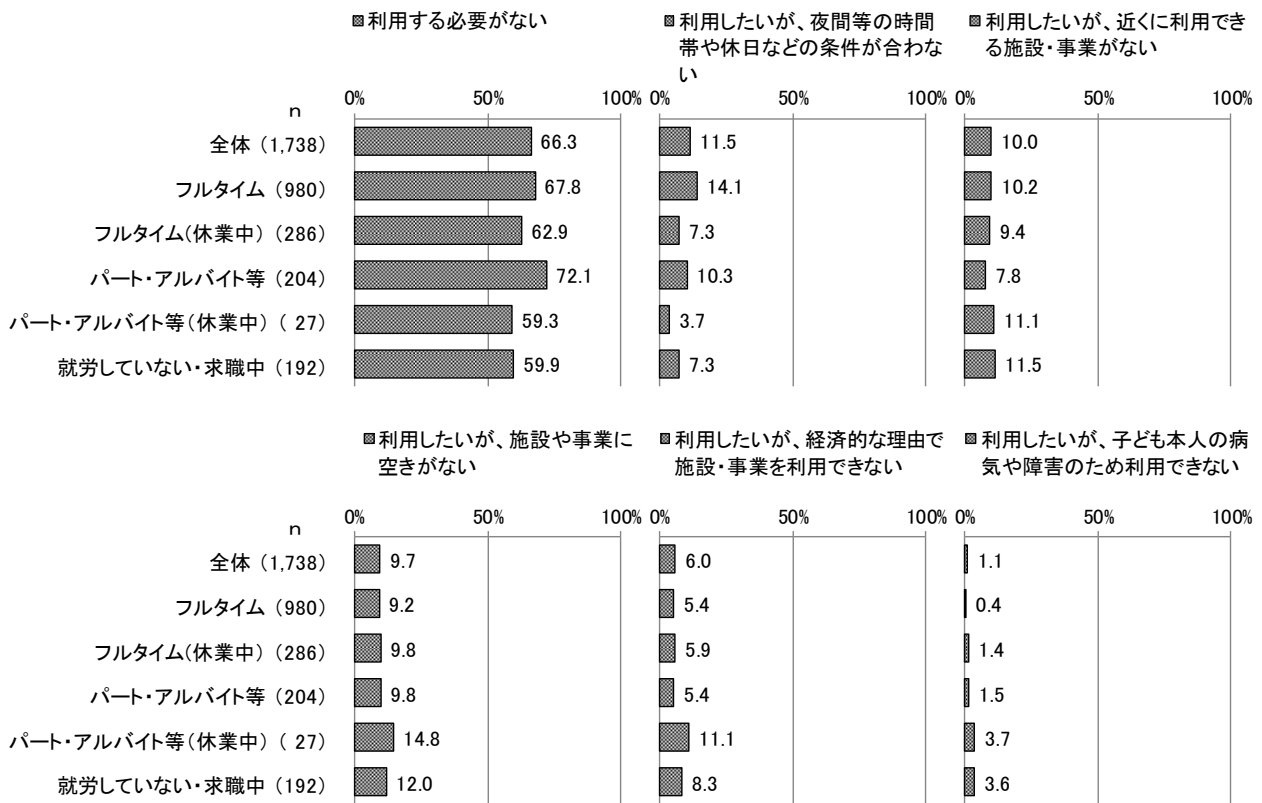
問10-3 利用していない理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

図表5-9



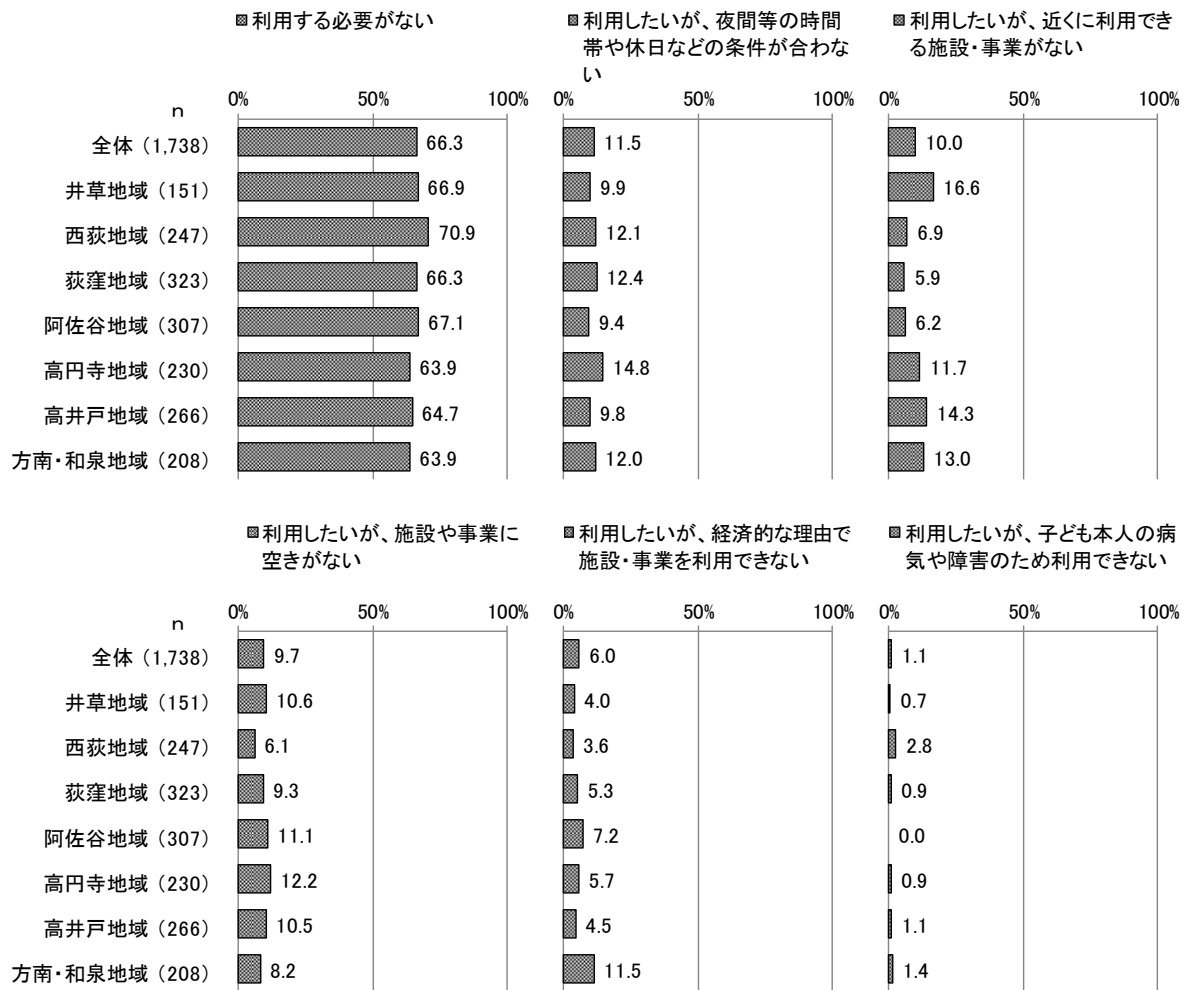
不定期の預かり事業を利用していない理由は、「利用する必要がある」が66.3%で最も高くなっているが、「利用したいが、夜間等の時間帯や休日などの条件が合わない」が11.5%、「利用したいが、近くに利用できる施設・事業がない」が10.0%、「利用したいが、施設や事業に空きがない」が9.7%となっている。

図表5-10 不定期の預かり事業を利用していない理由（母親の就労状況別）



母親の就労状況別にみると、フルタイムにおいて、「利用したいが、夜間等の時間帯や休日などの条件が合わない」が14.1%と高くなっている。

図表5-11 不定期の預かり事業を利用していない理由（7地域別）

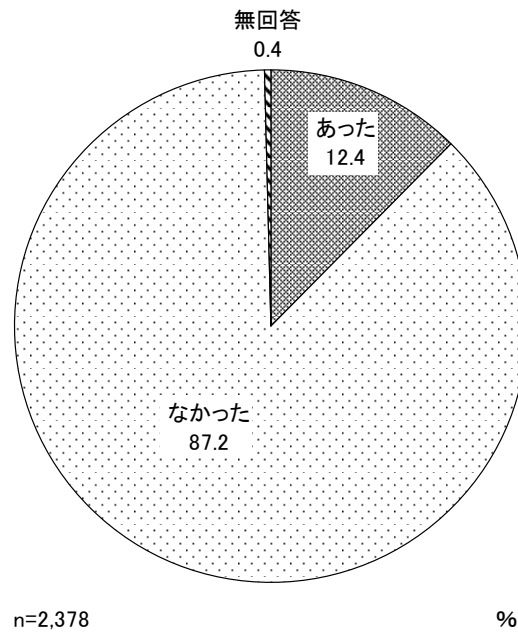


居住地域の7地域別にみると、「利用したいが、夜間等の時間帯や休日などの条件が合わない」は高円寺地域で14.8%と高くなっている。また、井草地域は「利用したいが、近くに利用できる施設・事業がない」が16.6%で他の地域と比較して高くなっている。「利用したいが、施設や事業に空きがない」は高円寺地域が12.2%、阿佐谷地域が11.1%で他の地域と比較して高くなっている。

(2) 宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無

問11 令和5年4月1日～12月31日の間で、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）等により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表5-12



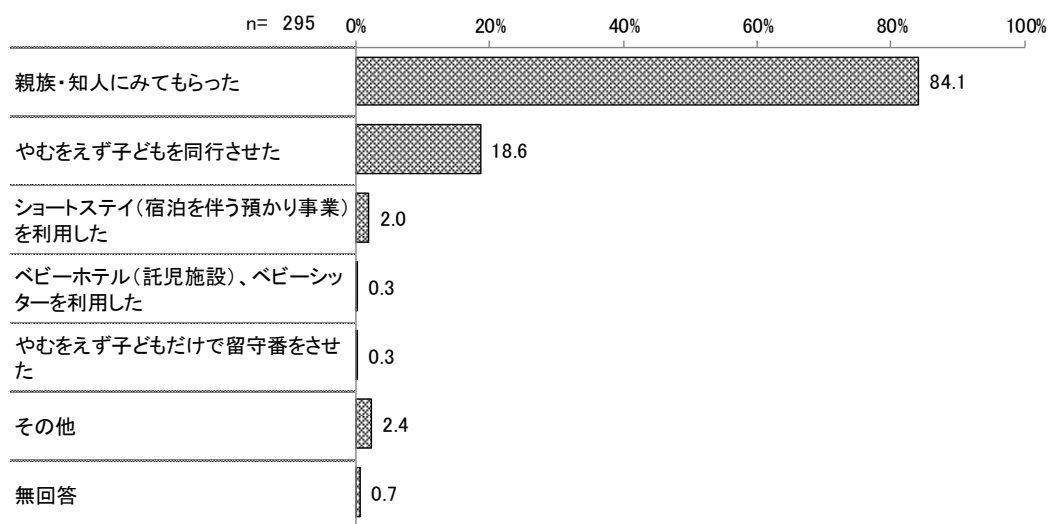
宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無は、「あった」が12.4%、「なかった」が87.2%となっている。

(2-1) 宿泊を伴って子どもを預けた際の行動

(問11で、「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。)

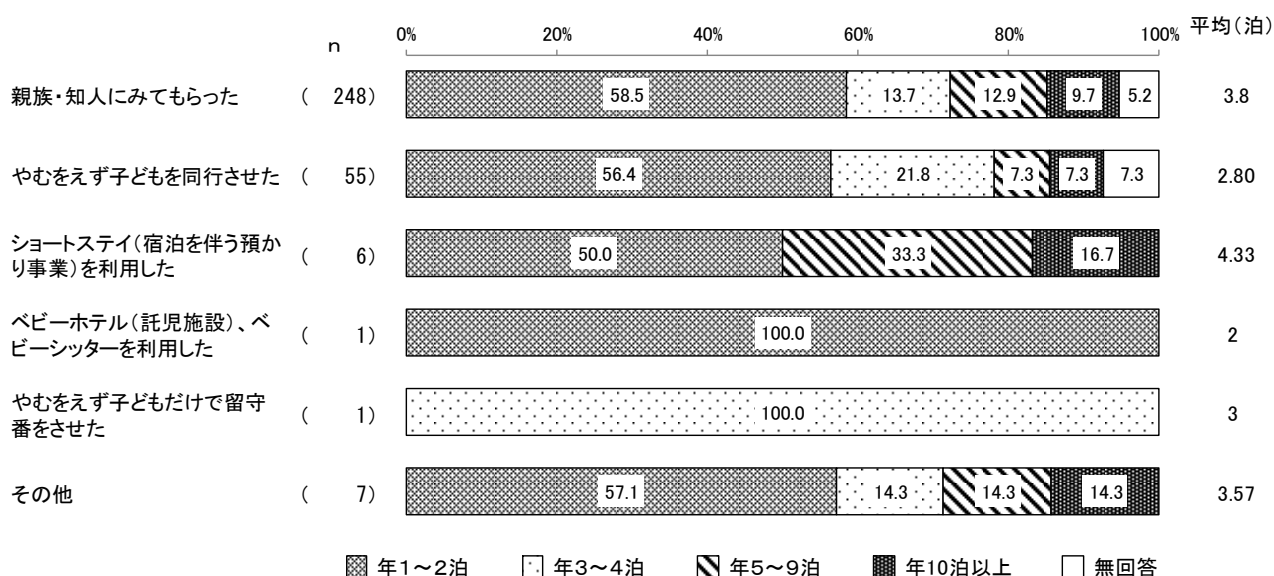
問11-1 その際にとった行動として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

図表5-13



宿泊を伴って子どもを預けた際の行動は、「親族・知人にみてもらった」が84.1%で最も高く、次いで「やむをえず子どもを同行させた」が18.6%となっている。

図表5-14 宿泊を伴って子どもを預けた際の日数(泊)



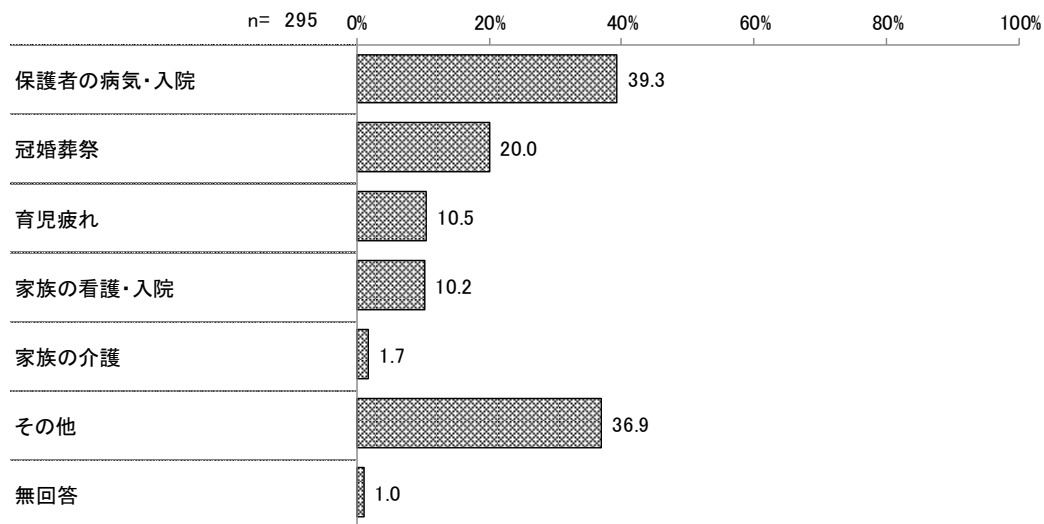
子どもを預けた泊数は、「親族・知人にみてもらった」、「やむをえず子どもを同行させた」では、「年1~2泊」が半数以上を占めている。

(2-2) 泊りがけで子どもを家族以外にみてもらわなければならなかった理由

(問11で、「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。)

問11-2 泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった理由についてうかがいます。当てはまるものすべてに○をつけてください。

図表5-15



泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった理由は、「その他」を除くと、「保護者の病気・入院」が39.3%で最も高く、次いで「冠婚葬祭」が20.0%、「育児疲れ」が10.5%、「家族の看護・入院」が10.2%となっている。

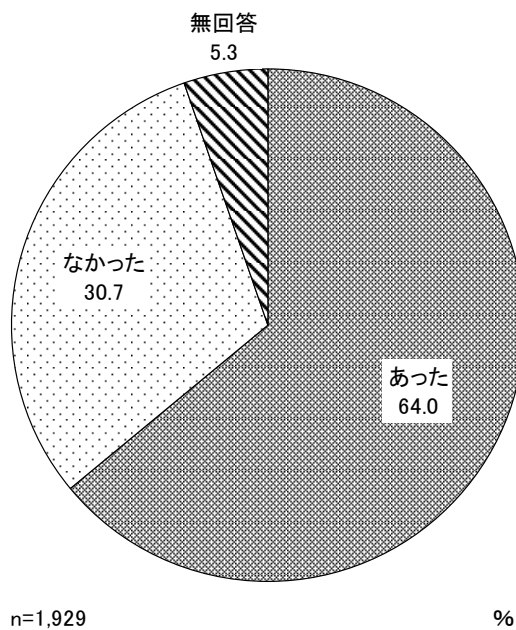
6. 子どもの病気の際の対応

(1) 子どもの病気やけがで定期利用している施設・事業が利用できなかった経験の有無

(問9で、「利用している」に○をつけた方(定期的に施設・事業を利用していると答えた方)に
うかがいます。)

問12 令和5年4月1日～12月31日の間で、宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している
施設・事業が利用できなかったことはありますか。当てはまるもの1つに○をつけてく
ださい。

図表6-1



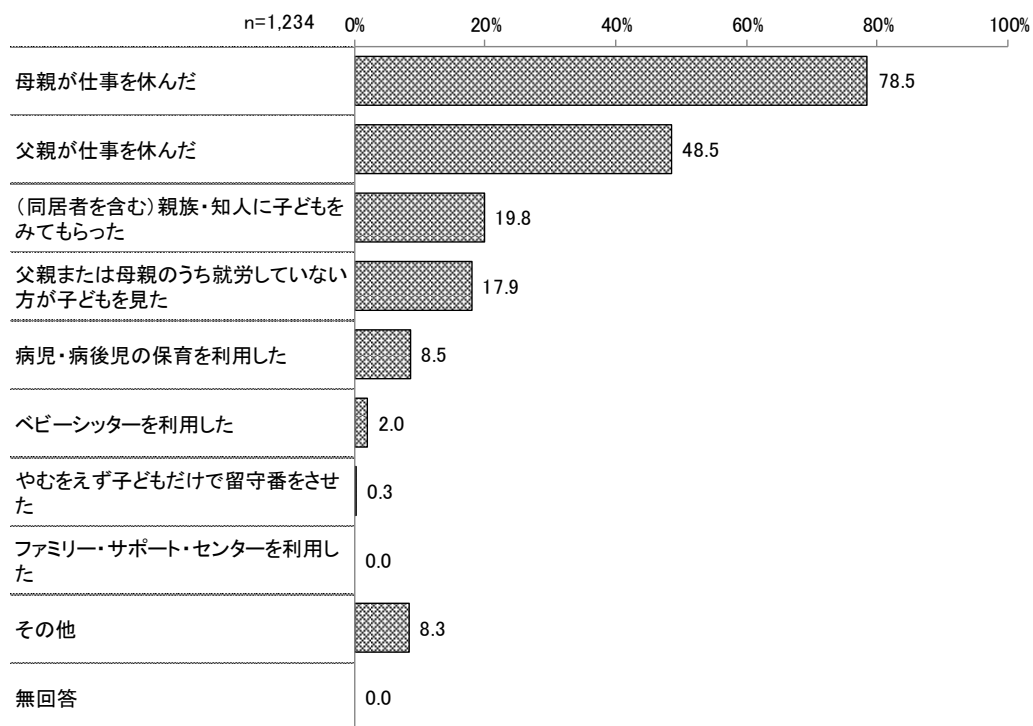
子どもが病気やケガで通常の施設・事業が利用できなかった経験の有無は、「あった」が64.0%、「な
かった」が30.7%となっている。

(1-1) 施設・事業が利用できなかった時の対応

(問12で、「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。)

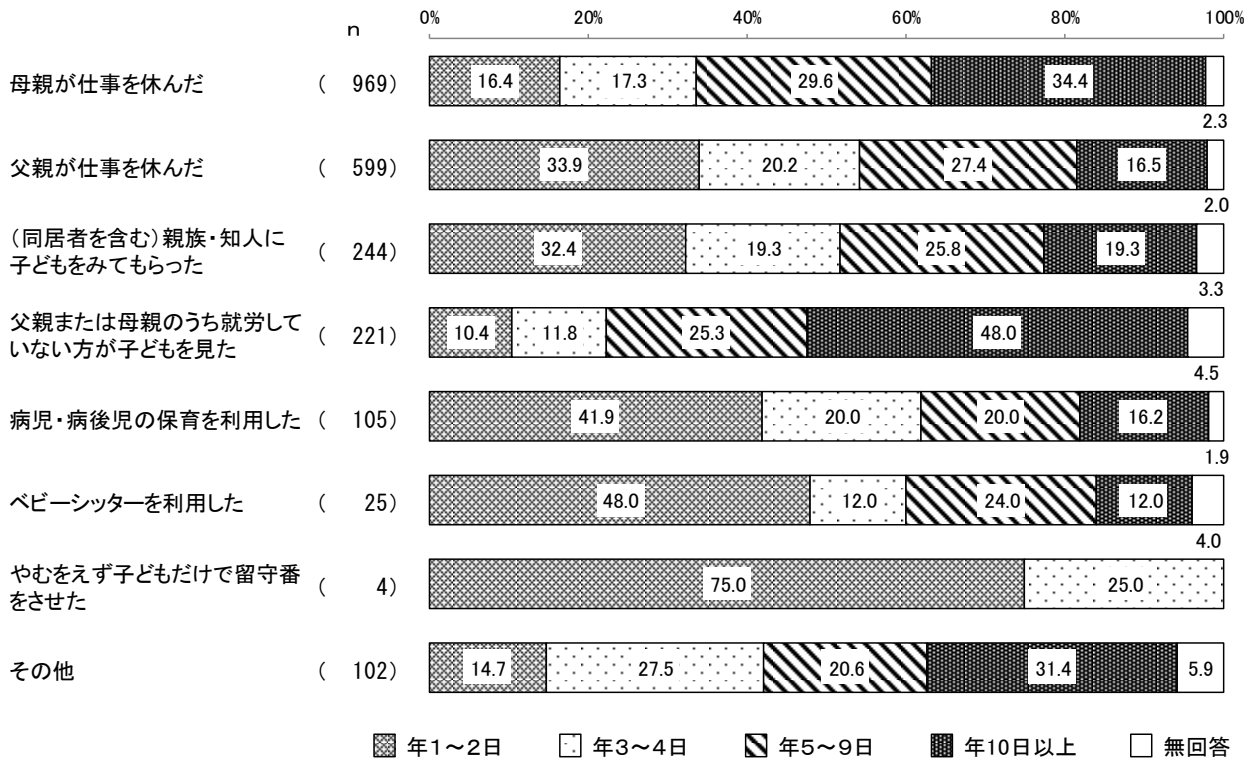
問12-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している施設・事業が利用できなかった場合に、とった行動として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数も口内に数字でご記入ください(1日未満の対応の場合も1日とカウントしてください)。

図表6-2



施設・事業が利用できなかったときの対応は、「母親が仕事を休んだ」が78.5%で最も高く、次いで「父親が仕事を休んだ」が48.5%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が19.8%となっている。

図表 6-3 施設・事業が利用できなかった時の対応日数



施設・事業が利用できなかった時の対応日数は、「母親が仕事を休んだ」、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た」は「年10日以上」がそれぞれ34.4%、48.0%で高くなっている。「病児・病後児の保育を利用した」、「ベビーシッターを利用した」は「年1~2日」が4割を超え高くなっている。

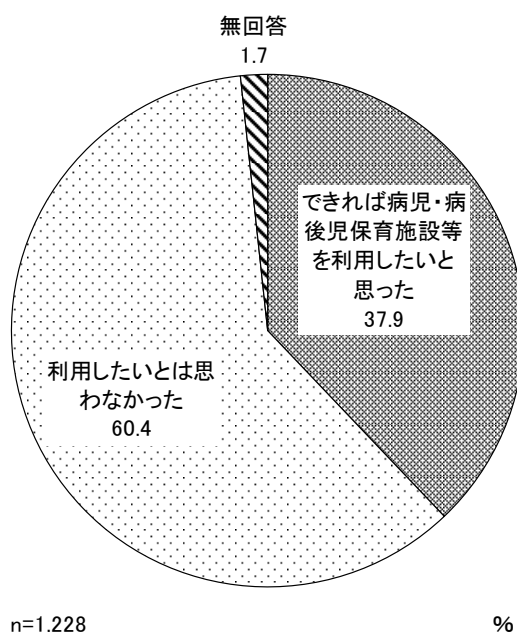
(1-2) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

(問12-1で、「5 病児・病後児の保育を利用した」以外のいずれかに○をつけた方にうかがいます。)

問12-2 お子さんが病気やけがで普段利用している施設・事業が利用できなかった際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

(病児・病後児保育とは、一時的な病気等で通常の施設等が利用できない場合に、お子さんを預かる事業です。事前に登録が必要で、当日医師が利用の判断をします。1日2,500円かかります。)

図表6-4

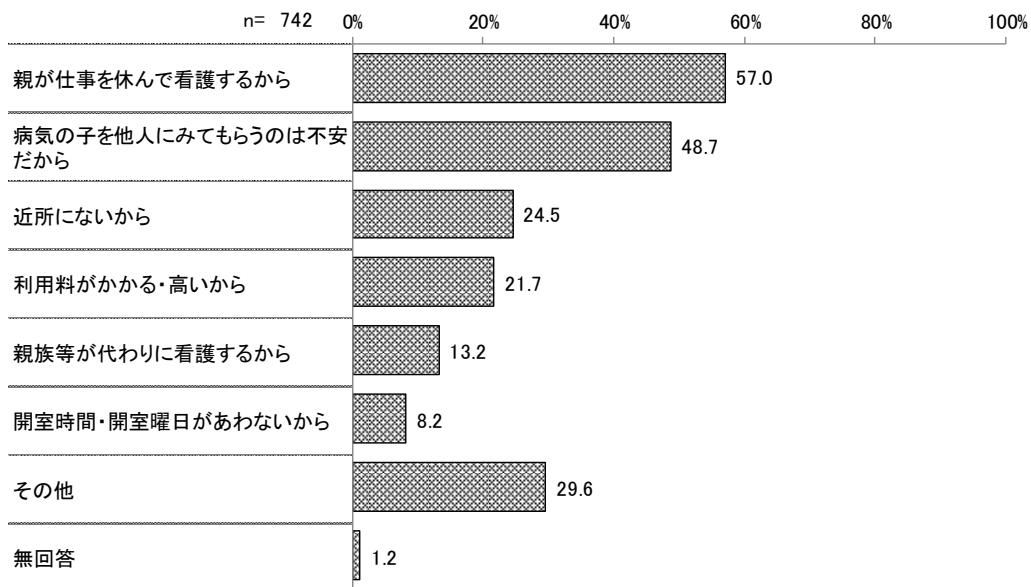


病児・病後児のための保育施設等の利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った」が37.9%、「利用したいとは思わなかった」が60.4%となっている。

(1-3) 病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わない理由

(問12-2で、「2 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。)
問12-3 そう思われる理由について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

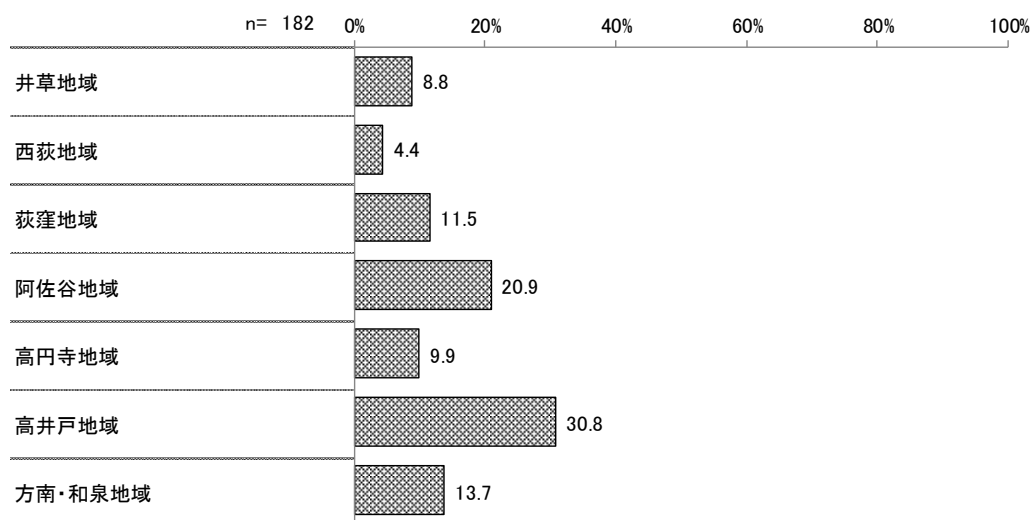
図表6-5



病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わない理由は、「親が仕事を休んで看護するから」が 57.0%で最も高く、次いで「病気の子を他人にみてもらうのは不安だから」が 48.7%、「その他」が 29.6%となっている。

また、「その他」としては、主に「慣れない施設を利用することで、病気の子どもに負担をかけてしまうと思うから」などがあつた。

図表 6-6 病児・病後児のための保育施設等が近所がないため、利用したいとは思わない（7地域別）



近所がないから利用したいとは思わない人を居住地域の7地域別にみると、「高井戸地域」が30.8%で最も高く、次いで「阿佐谷地域」が20.9%、「方南・和泉地域」が13.7%となっている。

7. こども誰でも通園制度（仮称）について

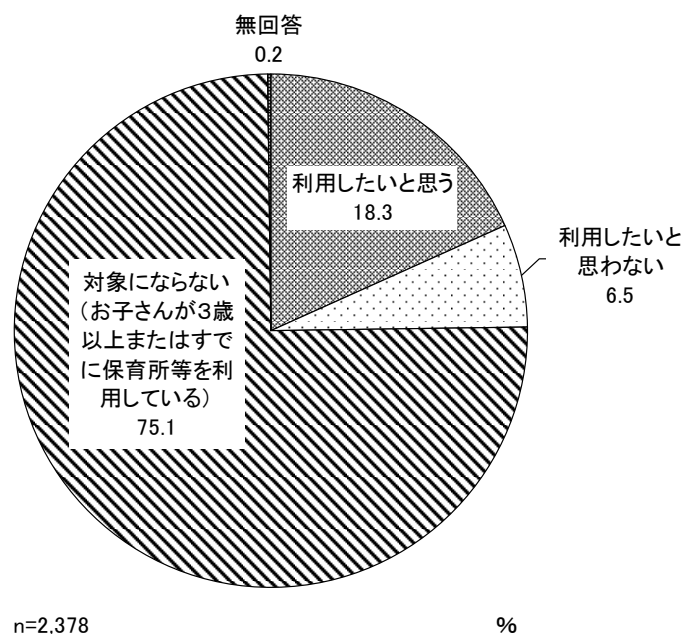
（1）利用希望の状況

問13 こども誰でも通園制度（仮称）を利用したいと思われませんか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

※「こども誰でも通園制度（仮称）」は、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に保育所等を利用できる制度となる予定です。

令和6年度は、月10時間の利用を上限に、0歳6か月から満3歳未満までの未就園児が利用対象です。なお、「未就園児」とは、認可保育所、小規模保育事業所、家庭的保育事業所、事業所内保育事業所、居宅訪問型保育事業、企業主導型保育事業所、幼稚園、認定こども園に通っていないお子さんです。

図表7-1



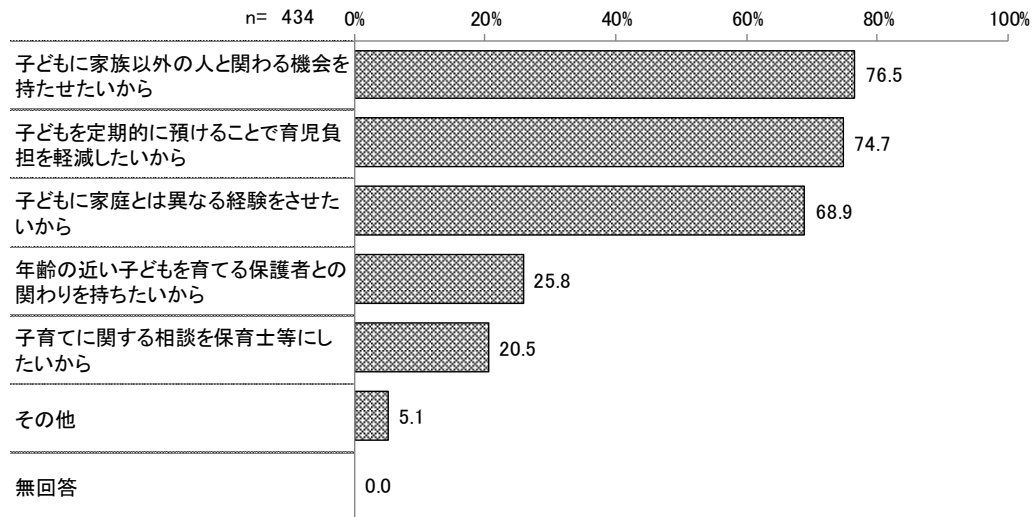
こども誰でも通園制度（仮称）の利用希望の状況は、「利用したいと思う」が18.3%、「利用したいと思わない」が6.5%、「対象にならない（お子さんが3歳以上またはすでに保育所等を利用している）」が75.1%となっている。

(1-1) 利用を希望する理由

(問13で、「1 利用したいと思う」に○をつけた方にうかがいます。)

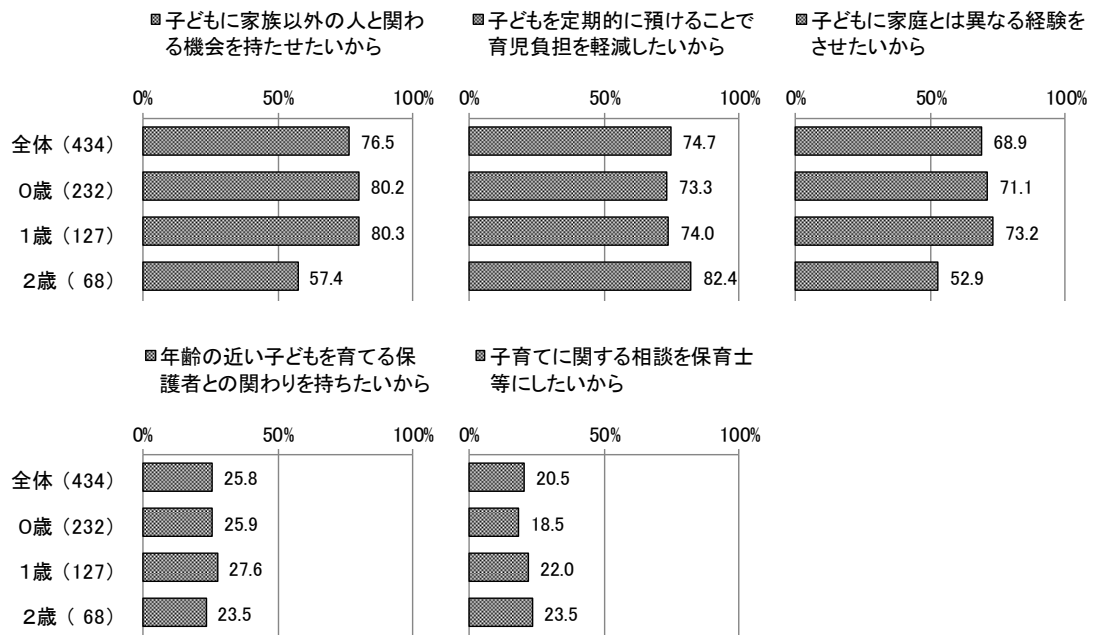
問13-1 そう思われる理由について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

図表7-2



こども誰でも通園制度（仮称）を利用したいと思う理由は、「子どもに家族以外の人と関わる機会を持たせたいから」が76.5%で最も高く、次いで「子どもを定期的に預けることで育児負担を軽減したいから」が74.7%、「子どもに家庭とは異なる経験をさせたいから」が68.9%となっている。

図表 7-3 利用を希望する理由（年齢別）



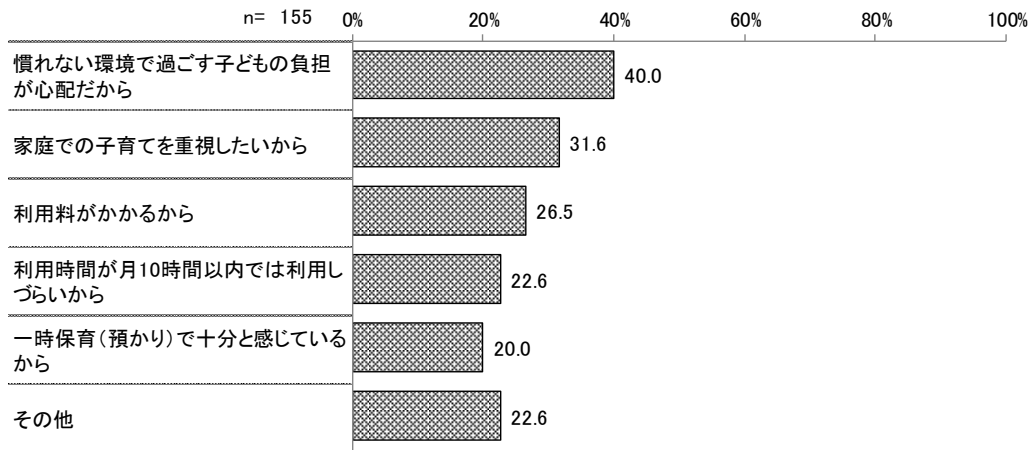
子どもの年齢別にみると、0歳と1歳で「子どもに家族以外の人と関わる機会を持たせたいから」の割合が約8割と高くなっている。また、「子育てに関する相談を保育士等にしたいたいから」の割合は、すべての年齢で2割程度で、一定のニーズがある。

(1-2) 利用したいと思わない理由

(問13で、「2 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。)

問13-2 そう思われる理由について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

図表7-4



こども誰でも通園制度(仮称)を利用したいと思わない理由は、「慣れない環境で過ごす子どもの負担が心配だから」が40.0%で最も高く、次いで「家庭での子育てを重視したいから」が31.6%、「利用料がかかるから」が26.5%となっている。

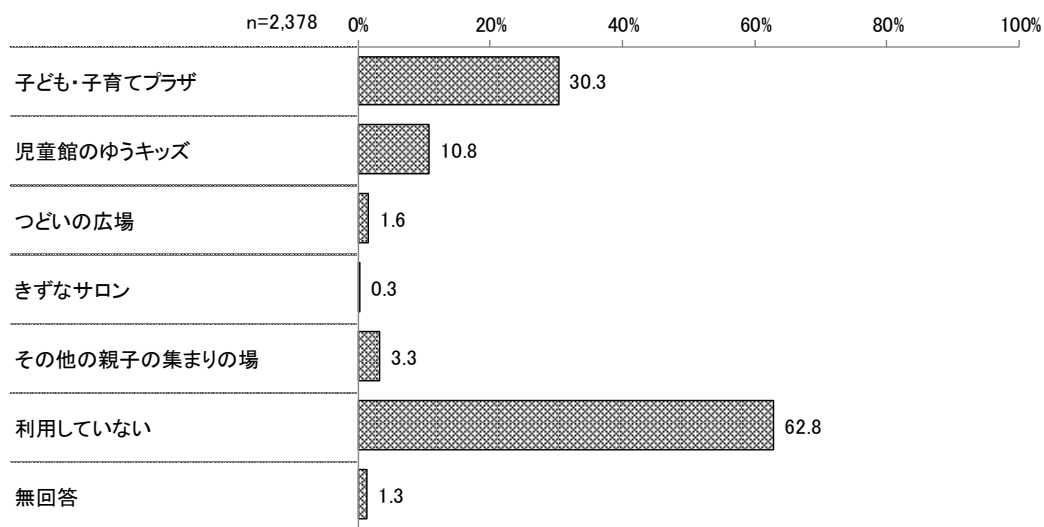
また、「その他」としては、主に「今後、保育園の入園が決まっている」などがあつた。

8. 地域での親子の集まりの利用状況

(1) 親子が集まって過ごす施設・事業の利用状況

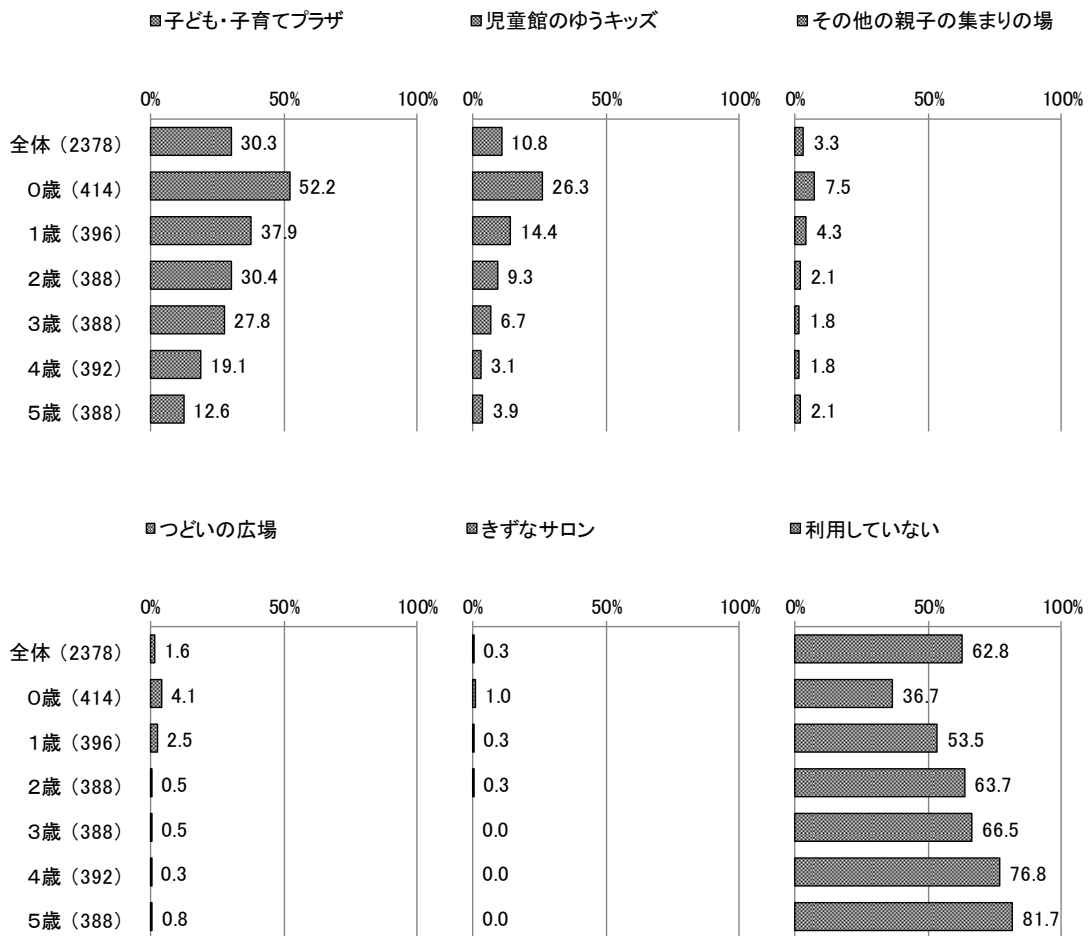
問14 宛名のお子さんは、現在、親子が集まって過ごす、以下の施設・事業を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

図表8-1



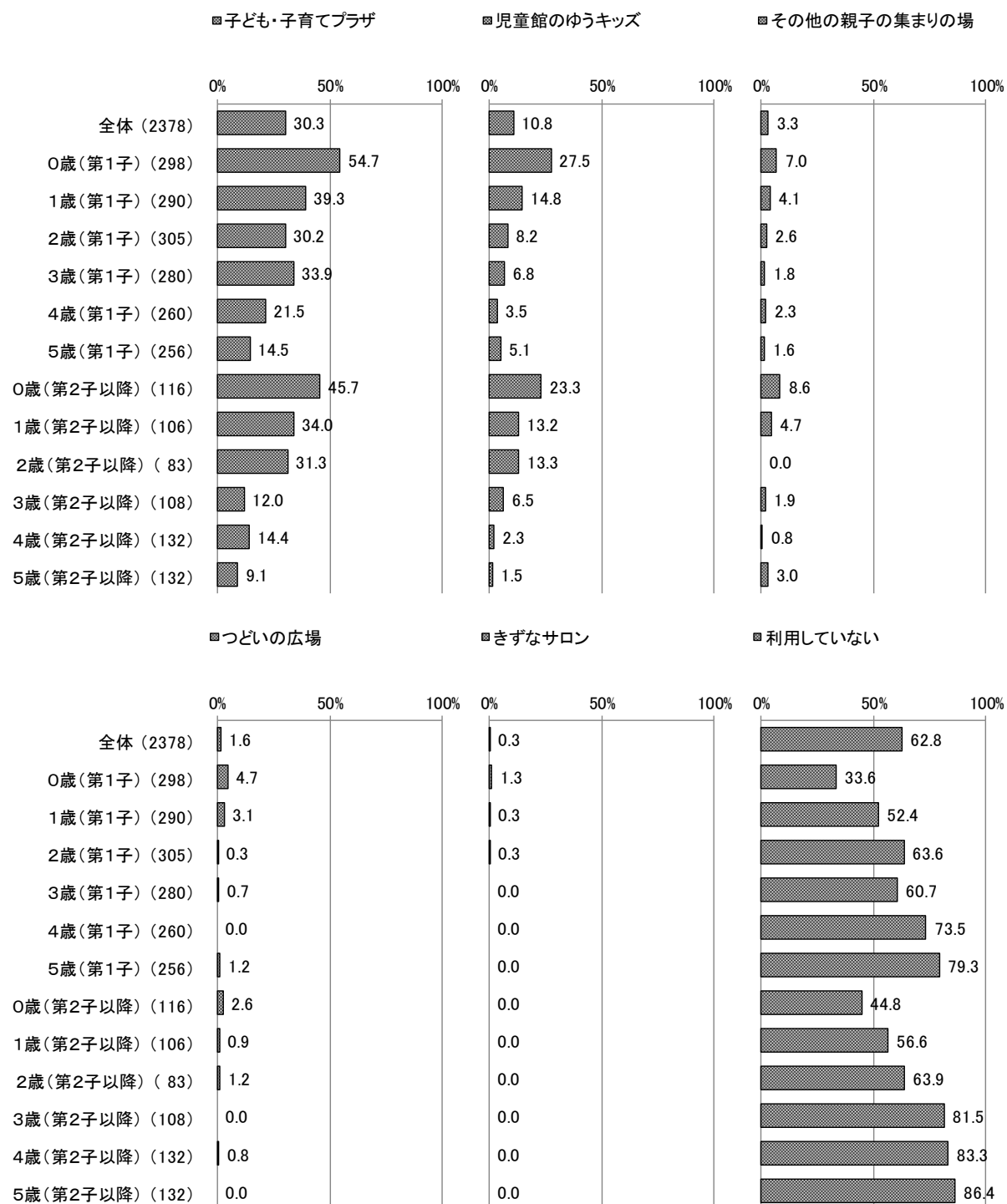
親子が集まって過ごす事業の利用状況は、「利用していない」が62.8%で最も高くなっているが、利用されている施設・事業の中では、「子ども・子育てプラザ」が30.3%で最も高く、次いで「児童館のゆうキッズ」が10.8%となっている。

図表 8-2 親子が集まって過ごす施設・事業の利用状況（子どもの年齢別）



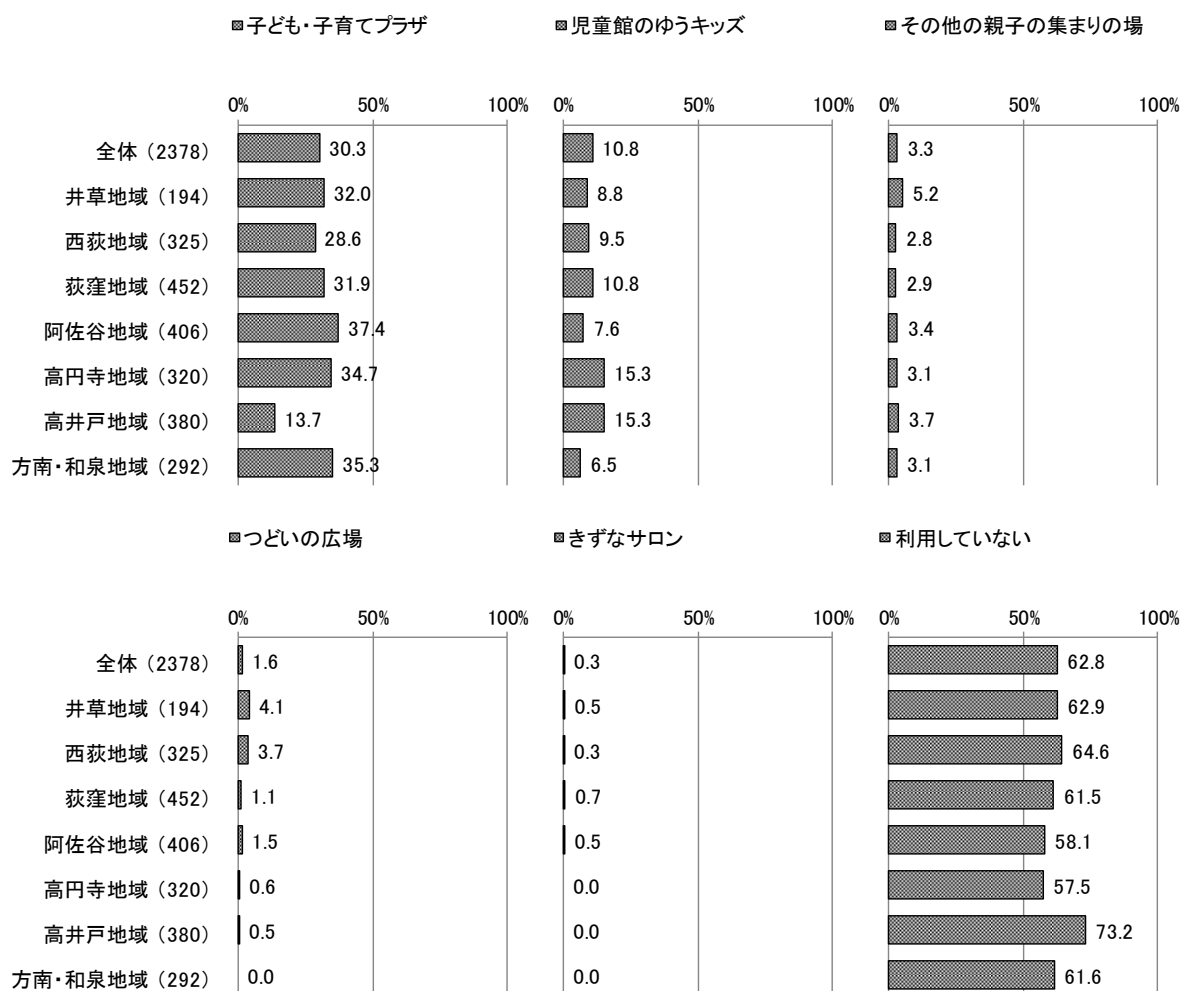
子どもの年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「利用していない」が高くなる傾向がみられる。施設・事業を利用している場合の利用率は0歳が最も高くなる傾向にある。

図表 8-3 親子が集まって過ごす施設・事業の利用状況（子どもの年齢・出生順位別）



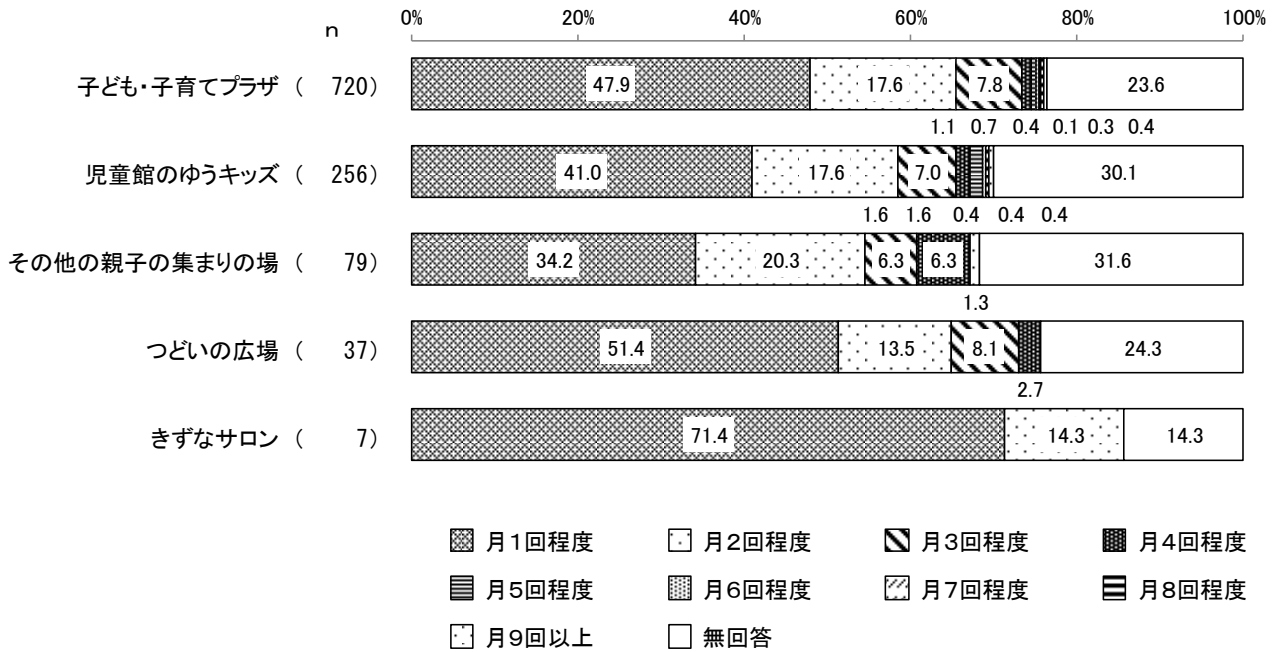
子どもの年齢・出生順位別にみると、第1子、第2子ともに年齢が上がるにつれて「利用していない」が高くなる傾向がみられ、施設・事業の利用率は0歳で最も高くなっている。また、おおむね第1子の利用率が高くなっており、0歳（第1子）は「子ども・子育てプラザ」が54.7%、「児童館のゆうキッズ」が27.5%と高くなっている。

図表 8-4 親子が集まって過ごす施設・事業の1か月あたりの利用状況（7地域別）



居住地域の7地域別にみると、「児童館のゆうキッズ」は高円寺地域と高井戸地域で15.3%と他の地域よりも高くなっている。一方、高井戸地域で「利用していない」が73.2%と高くなっている。

図表 8-5 親子が集まって過ごす施設・事業の1か月あたりの利用状況（利用頻度別）



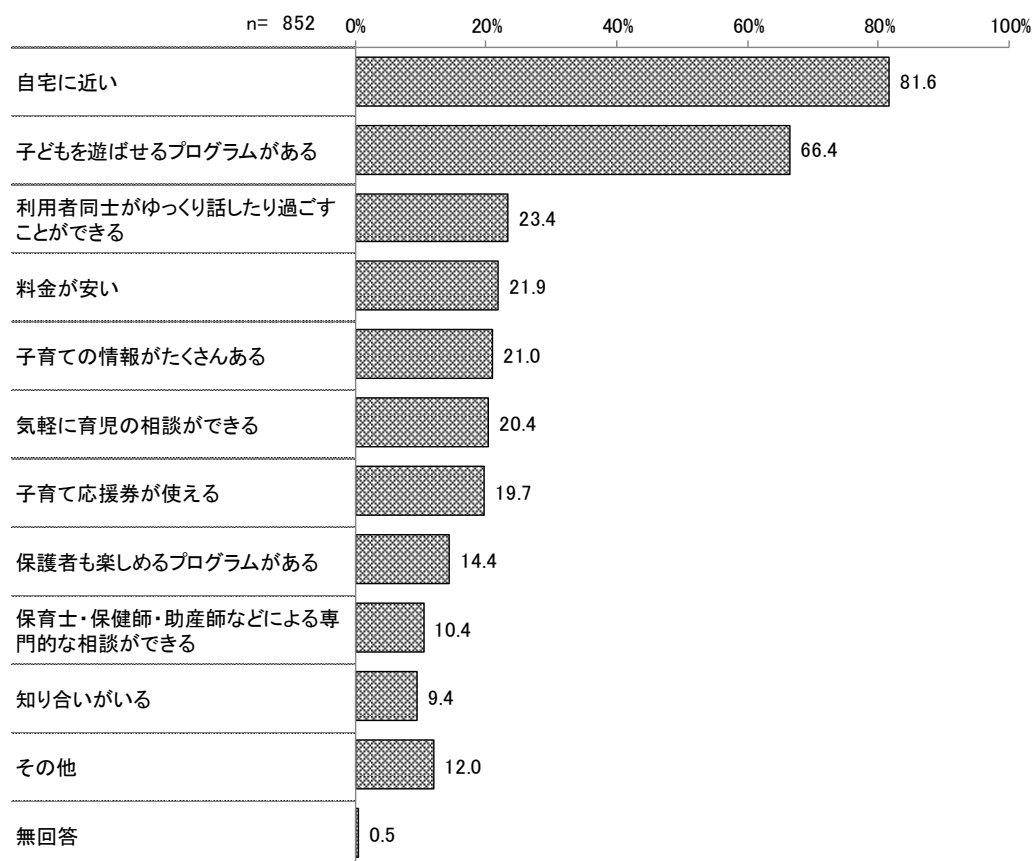
親子が集まって過ごす事業の1か月あたりの利用頻度は、どの事業も「月1回程度」が最も高くなっている。「児童館のゆうキッズ」、「子ども・子育てプラザ」、「その他の親子の集まりの場」は「月2回程度」が約2割となっている。

(1-1) 施設・事業を利用した際に大事だと思った点

(問14で、「1～5」に○をつけた方にうかがいます。)

問14-1 問14で回答した施設・事業を利用した際に、それらを利用する上で大事だと思う点はどのようなことですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

図表8-6



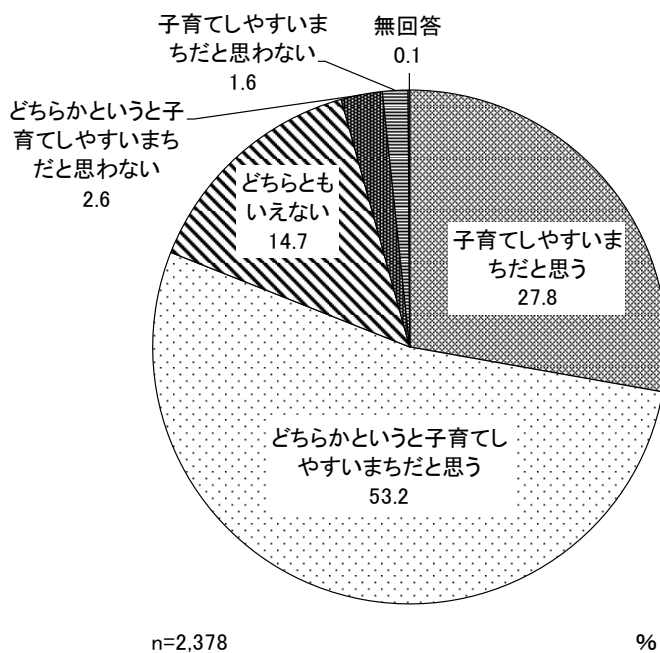
施設・事業を利用した際に大事だと思った点は、「自宅に近い」が81.6%で最も高く、次いで「子どもを遊ばせるプログラムがある」が66.4%、「利用者同士がゆっくり話したり過ごすことができる」が23.4%となっている。

9. 杉並区の子育て支援等について

(1) 杉並区の子育てのしやすさ

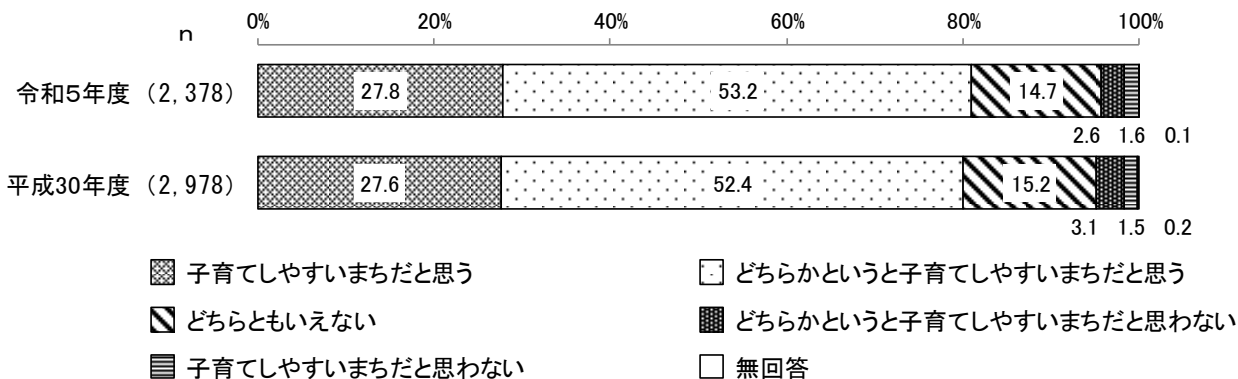
問15 杉並区は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表9-1



杉並区の子育てのしやすさは、「どちらかという子育てしやすいまちだと思う」が 53.2%で最も高く、次いで「子育てしやすいまちだと思う」が 27.8%となっており、「子育てしやすいまちだと思う」と「どちらかという子育てしやすいまちだと思う」を合わせた『子育てしやすいまちだと思う(計)』は 81.0%となっている。

図表9-2 杉並区の子育てのしやすさ(経年比較)

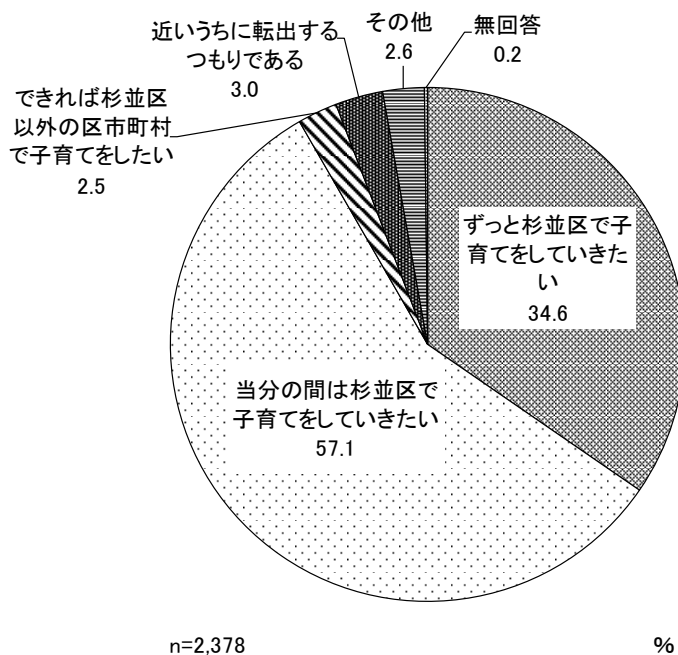


前回調査(平成30年度)と比較すると、『子育てしやすいまちだと思う(計)』は 1.0 ポイント増加している。

(2) 杉並区での子育て継続意向

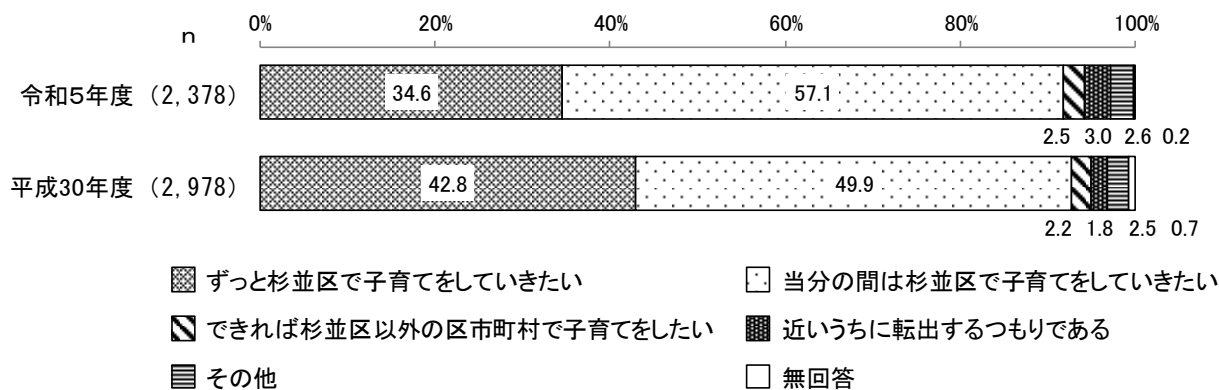
問16 今後も、杉並区で子育てをしていきたいと思いませんか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表9-3



杉並区での子育ての継続意向は、「当分の間は杉並区で子育てをしていきたい」が 57.1%で最も高く、次いで「ずっと杉並区で子育てをしていきたい」が 34.6%となっており、「ずっと杉並区で子育てをしていきたい」と「当分の間は杉並区で子育てをしていきたい」をあわせた『杉並区で子育てをしていきたい(計)』は 91.7%となっている。

図表9-4 杉並区での子育て継続意向(経年比較)



前回調査(平成30年度)と比較すると、「ずっと杉並区で子育てをしていきたい」は 8.2 ポイント減少しているが、『杉並区で子育てをしていきたい(計)』は 1.0 ポイントの微減となっている。

(3) 杉並区の子育て環境や支援に関する意見

問17 すべての方に伺います。最後に、杉並区の子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

杉並区の子育て環境や支援に関する意見を自由に記述していただいたところ、1,445人から2,181件の回答が寄せられた。以下に主なものを抜粋して掲載する。

1 保育に関するご意見

○施策に関すること (102件)

- ・保育を希望する人が誰でも入所できるようにしてほしい。(他、同趣旨 85件)
- ・引っ越しや仕事の復帰にあわせて、年度途中の入園がしやすくなるといい。
- ・待機児童対策で保育園が増えて、保育園に入りやすくなった。
- ・保育園が増えるのはよいが、多様なニーズを受け入れてもらえるような保育サービスの形になっていくといい。
- ・こども誰でも通園制度の導入は、とても良いことだと思うが、受け入れる保育所が体制を整えるためのサポートも必要だと思う。

○運営に関すること (83件)

- ・保育園によって保育の内容・行事に差があると感じるので、全体でサービスの内容をある程度統一したり、底上げする取組があるといい。
- ・保育士を含め、子育てを応援してくれる人の給与面での待遇がもっと良くなれば、保育士等を目指す人が増えて、さらに子育てしやすくなる環境になっていくのではないかと思う。
- ・働き方が多様化しているので、日曜や祝日も開けるなど柔軟な運営をしてほしい。
- ・どの保育園でも一時預かりを実施してほしい。
- ・障害がある子を受け入れる園を増やしてほしい。

○利用条件・入園審査に関すること (30件)

- ・転職や就労条件が変わった時などの対応をもっと柔軟にしてほしい。(他、同趣旨 14件)
- ・申請が大分電子化されて便利になったが、全ての手続きが電子化されるとよりいいと感じる。
- ・きょうだいで保育園が別れた人は通園だけで大変と聞くので、多くの人が希望通りの園に通えればと思う。

2 幼稚園・子供園に関するご意見

- ・保育園に比べて情報が少ないので、どのような幼稚園があるのかなど情報を共有できる場があるといい。
- ・年々入園者が減っているので、幼保一元化を進めて保護者の選択肢を増やしてほしい。
- ・長時間の預かり保育や給食を充実させてほしい。

3 病児保育に関するご意見

○不足・拡充に関すること

- ・病児保育の施設数と定員枠を増やしてほしい。(他、同趣旨 81 件)

○病児保育の利用に関すること (52 件)

- ・予約や当日の利用の仕方など、もっと利用しやすくしてほしい。(他、同趣旨 46 件)
- ・小学校低学年も預けられるようになるといい。

4 一時預かりに関するご意見

○不足・拡充に関すること (89 件)

- ・予約が中々取れないため、受け入れる人数を増やしたり、施設を増やしてほしい。
- ・土日、祝日も平日と同じように預かってくれると助かる。
- ・すぐに満員になってしまい、利用したい時に利用ができない。

○料金に関すること (22 件)

- ・料金がなくて気軽に利用できない。
- ・ベビーシッター費用の補助をしてほしい。

○手続きに関すること (14 件)

- ・電話だけでなく、ネットからも予約ができるようにしてほしい。

5 児童館に関するご意見

○運営に関すること (52 件)

- ・乳幼児が広い場所で遊べるのが午前中(プログラムなど)のみなので、午後も遊べるスペースがあるといい。
- ・児童館の開所時間が 10 時だと、すぐに昼食や昼寝の時間となるので利用しづらい。
- ・プログラムは気軽に利用でき、子どもも楽しそうに遊んでいて、よく利用している。
- ・施設が古くて使いづらいところがある。

○廃止に関すること (34 件)

- ・児童館はなくさないでほしい。

6 子ども・子育てプラザに関するご意見

○不足・拡充に関すること（59件）

- ・子育てプラザをもっと増やしてほしい。
- ・室内で、安心して小さな子どもを遊ばせられる。
- ・子育てプラザの一時預かりはなかなか空きがなく、利用したい時に利用できない。

○運営に関すること（52件）

- ・3歳以上になると、小さい子どもの邪魔になりそうで利用しづらい。
- ・職員がもう少し子どもや親と関わってもらえたら嬉しい。
- ・子どもも楽しそうによく利用させてもらっているが、参加したいプログラムはほぼ平日に開催されているので利用しづらい。

7 ゆうキッズ・つどいの広場に関するご意見

○運営に関すること（9件）

- ・つどいのひろばは、色々な年代の子と関わりを持って、親も交流できる貴重な経験だった。
- ・ゆうキッズでは、隣近所との関わりが少ないなか、近い月齢の子どもや、保護者同士で交流ができて非常に助かった。

8 ファミリー・サポート・センターに関するご意見

○不足・拡充に関すること（29件）

- ・ファミリーサポートを申し込んだが、人が全くいないと言われ、2人目出産時にとっても苦労した。

○手続きに関すること（9件）

- ・利用したいが、手続きやマッチングが難しそうで中々ふみきれない。利用しやすいように、色々な場所で面接や受付をしてほしい。

9 相談に関するご意見

○気軽に相談ができる仕組み等に関すること（32件）

- ・保育士等の専門家に気軽に相談できるような場がほしい。
- ・子育てに疲れや悩みがある時、気軽に相談出来る場所、預けられる場所があるといい。
- ・子どもが小さいと、外出も気軽にできないので、区から訪問や連絡があると助かる。
- ・親切に対応してもらった。相談を受ける人の知識の量やアップデートが大切だと思う。
- ・療育や発達相談について、もっと相談しやすい仕組みがあると助かる。

10 情報提供に関するご意見

○わかりやすさ等に関すること（35件）

- ・区に相談したくても窓口がわかりにくく、必要な時に相談できない事があった。
- ・区のHPを見ても分からないことが多く、直接担当課へ行かなければいけなかったのも、もっとわかりやすくまとめてもらいたい。

○不足・拡充に関すること（27件）

- ・プッシュ形の支援を行うなど、行政の育児支援の認知度を高める取組が必要。
- ・他自治体ではLINEで情報が送られてくるサービスがあり便利だったので、杉並区でもやってほしい。

11 公園整備等に関するご意見

○整備に関すること（86件）

- ・ボールや自転車で遊ぶことのできる場所が少ない。
- ・自由にのびのびと遊べる公園が近くにあるといい。

○遊具・遊びに関すること（78件）

- ・同じような遊具が多いので、子どもがワクワクするような遊び場がほしい。
- ・公園の遊具を増やしてほしい。
- ・雨の日でも身体を動かして遊べる施設が充実してほしい。

○公園の設備に関すること（66件）

- ・公園がたくさんあるのはとてもありがたい。
- ・トイレが汚かったり、暗い公園がある。

12 その他

○子育て応援券に関すること（357件）

- ・子育て応援券が使える用途を増やしてほしい。使える所が地域によって偏りがある。

（他、同趣旨 248件）

- ・子育て応援券の支援があることで、使うことのできたサービスがあった。（他、同趣旨 57件）
- ・子育て応援券の電子交付、冊子の電子化をしてほしい。（他、同趣旨 49件）

○産後ケア事業に関すること（16件）

- ・産後ケアが受けられる施設を増やしたり、使いやすいようにしてほしい。

○学童クラブに関すること（116件）

- ・保育園は増えたが、その次の学童クラブが足りていないと思う。（他、同趣旨 93件）
- ・これから小学生に進学するにあたり、学童に入れるのか不安。学童の待機児童対策をしてほしい。（他、同趣旨 21件）

第3章 小学生調査の結果

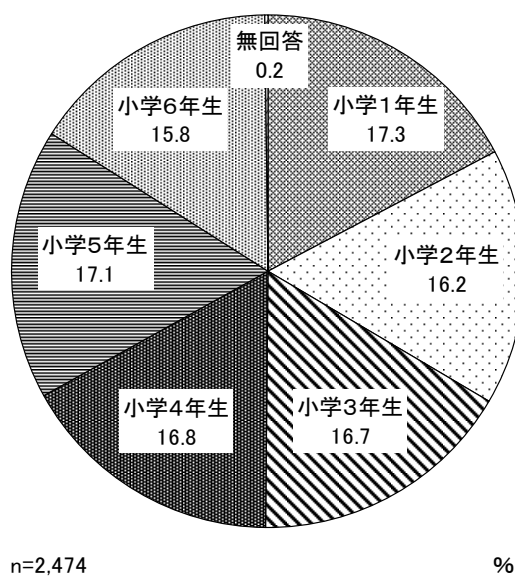
第3章 小学生調査の結果

1. 家族の状況

(1) 宛名の子どもの学年

問1 宛名のお子さんの生年月、学年をご記入ください。

図表1-1



子どもの年齢は、どの年齢も1割半ばとなっており、おおむね均等に回答が得られた。

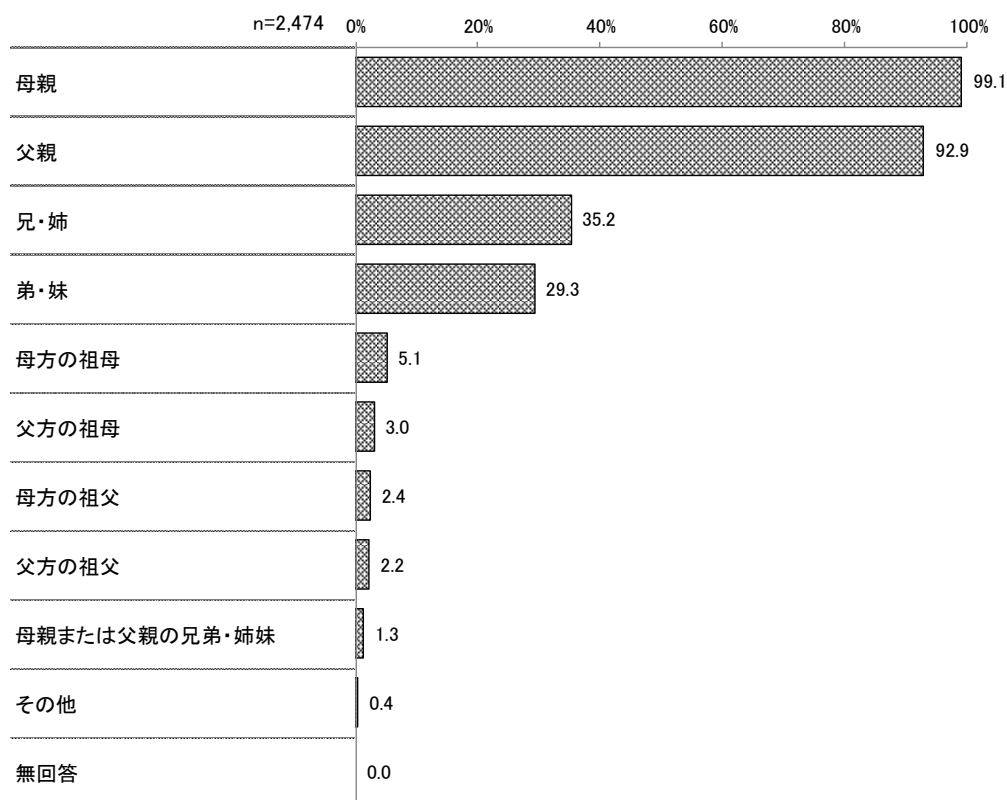
(2) 宛名の子どもの家族

問2 宛名のお子さんのご家族について、当てはまる方すべてに○をつけてください。ご家族とは、ふだんひとつの住居で生活している方を指します。

※宛名のお子さんの母親と父親とのご関係は、配偶関係、パートナー、内縁関係の方などを含みます。

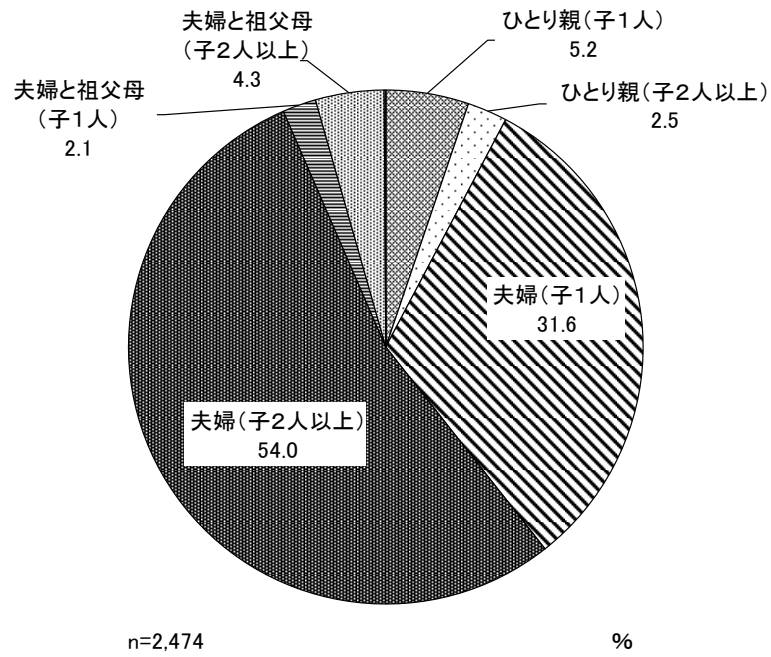
※単身赴任・入院・入所の方を含め、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族に含めてください。

図表 1 - 2



子どもの家族は、「母親」が 99.1% で最も高く、次いで「父親」が 92.9%、「兄・姉」が 35.2%、「弟・妹」が 29.3% となっている。

図表 1-3 宛名の子どもの家族（家族構成）

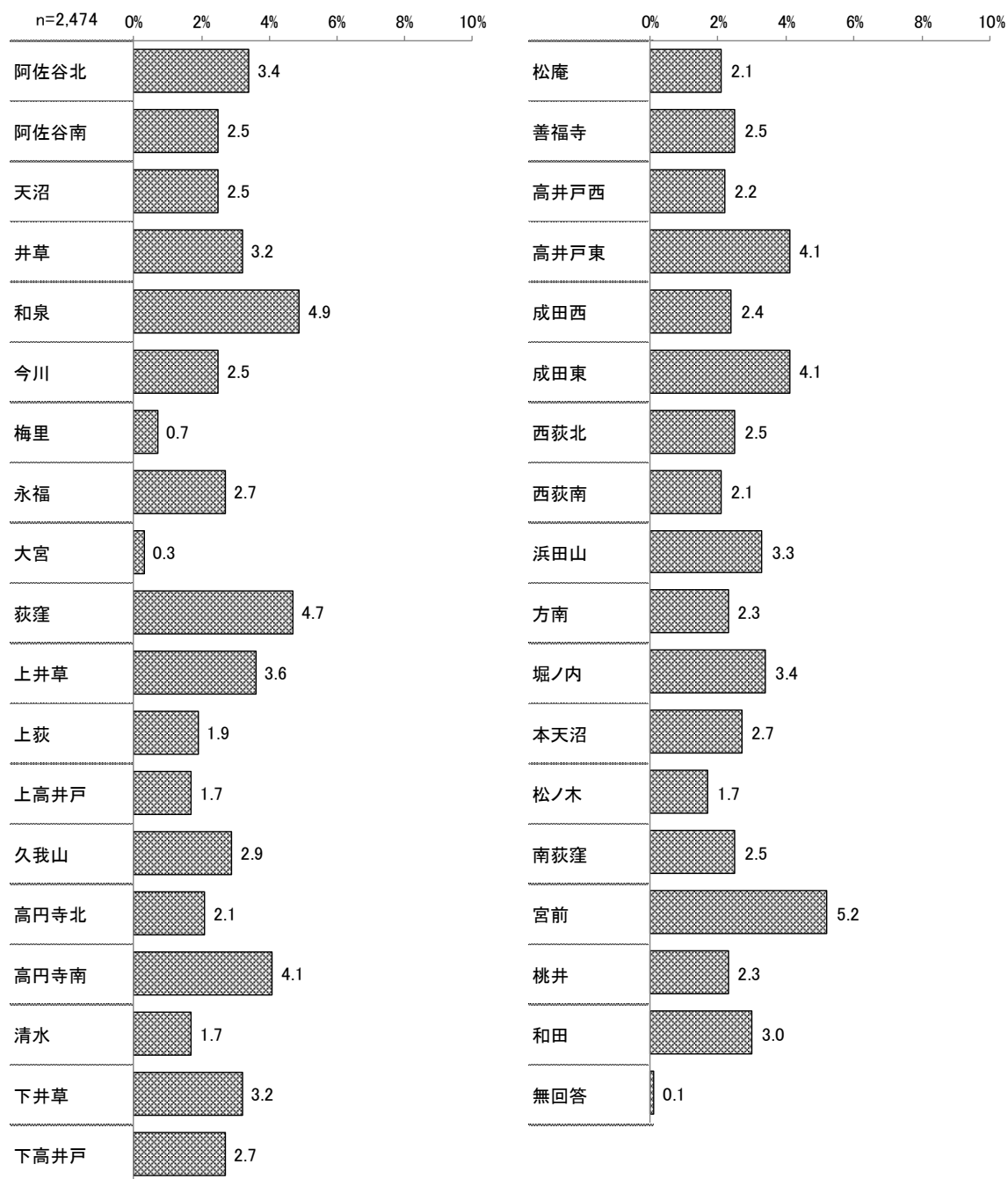


子どもの家族の家族構成は、「夫婦（子2人以上）」が 54.0%で最も高く、次いで「夫婦（子1人）」が 31.6%となっている。

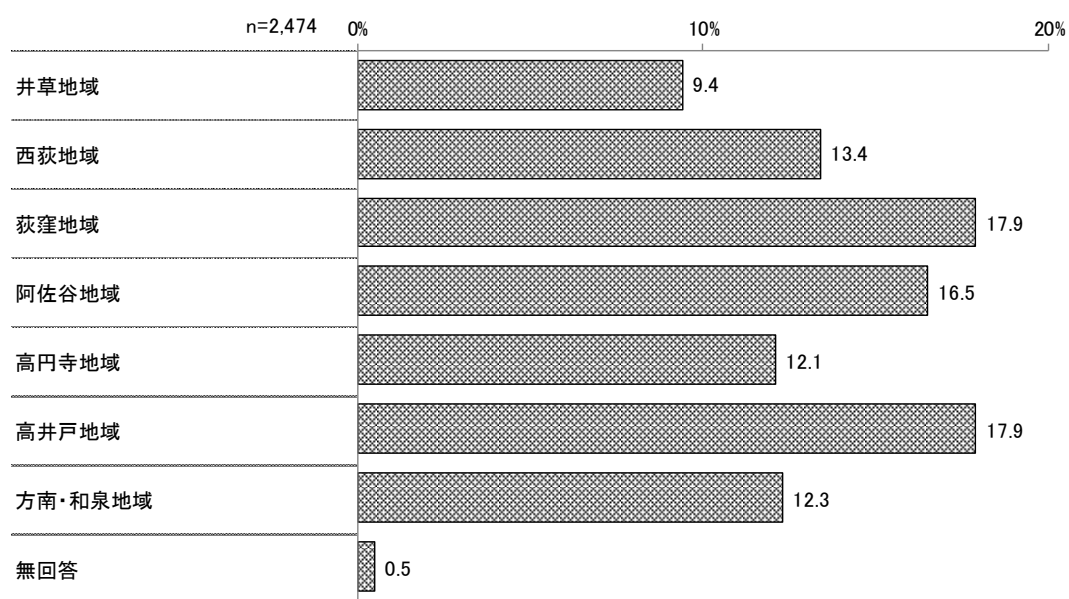
(3) 居住地域

問3 お住まいの町名をおうかがいします。当てはまるもの1つに○をつけ、該当する口内に丁目を数字を記入してください。

図表1-4



図表 1-5 居住地域（7地域別）

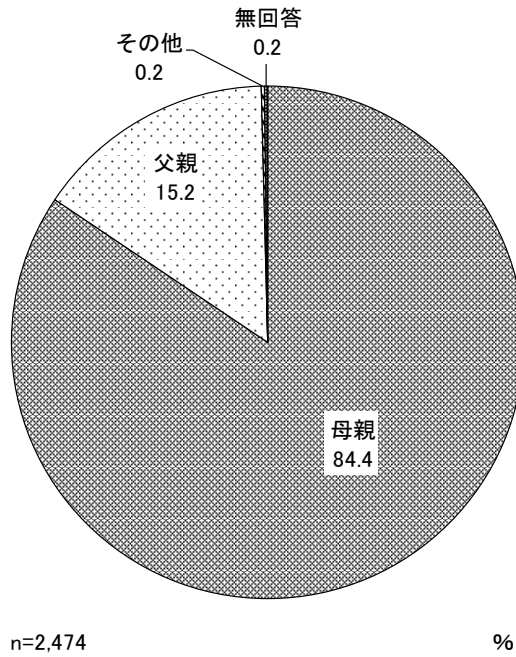


※居住地域の分類は、町名と丁目の結果を用いて行った。町名、丁目のいずれかが無回答の場合は、「無回答」に分類しているため、80ページの居住地域の結果と無回答の割合が異なる。

(4) 回答者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表1-6

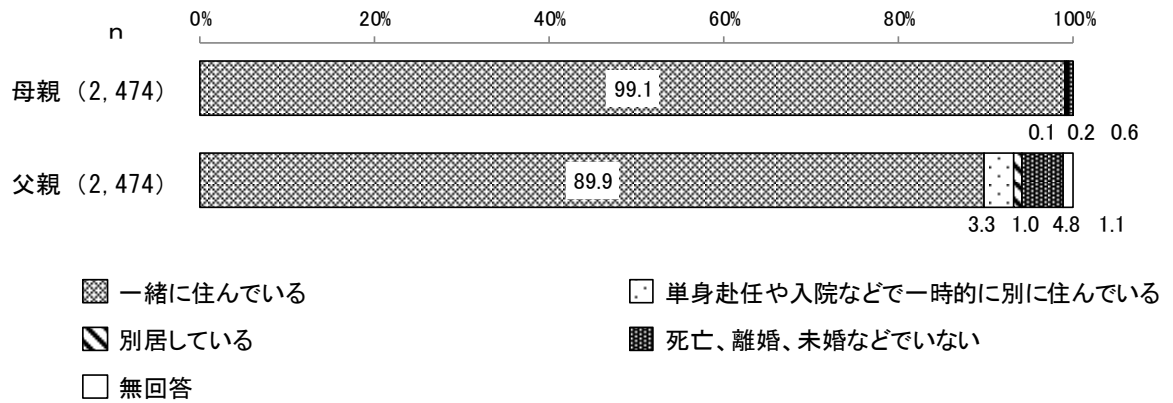


回答者は、「母親」が84.4%で最も高くなっている。

(5) 保護者の状況

問5 宛名のお子さんの保護者の状況についてうかがいます。「母親」「父親」について、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

図表 1-7



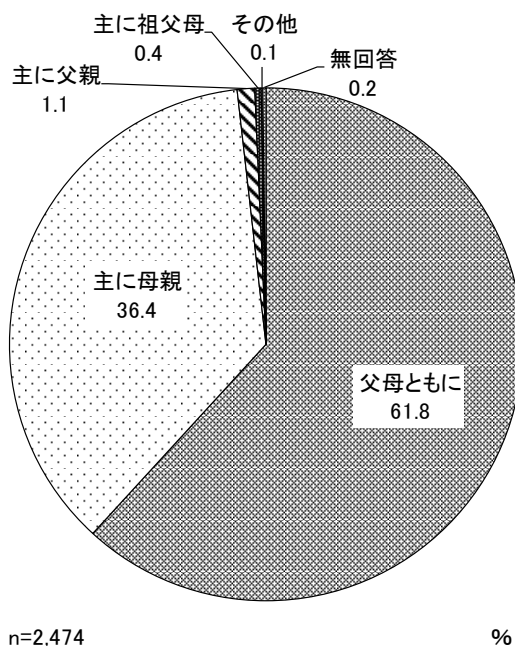
保護者の状況は、母親・父親ともに、「一緒に住んでいる」が最も高くなっている。

2. 子育ての環境

(1) 子育てを主に行っている人

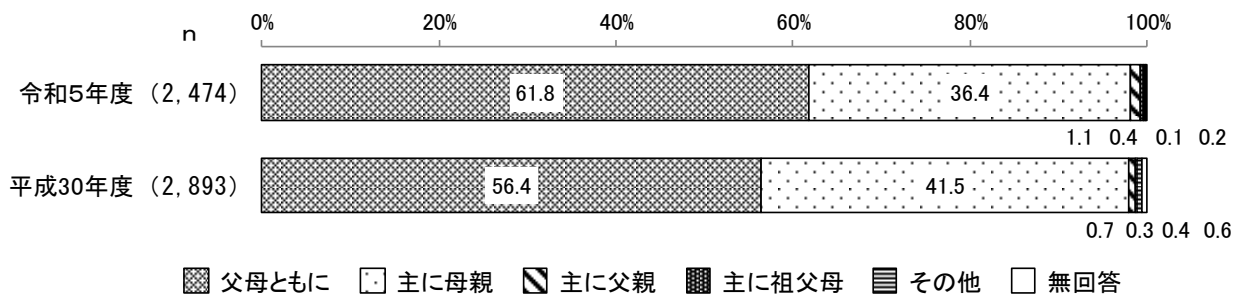
問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表2-1



子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が61.8%で最も高く、次いで「主に母親」が36.4%となっている。

図表2-2 子育てを主に行っている人（経年比較）

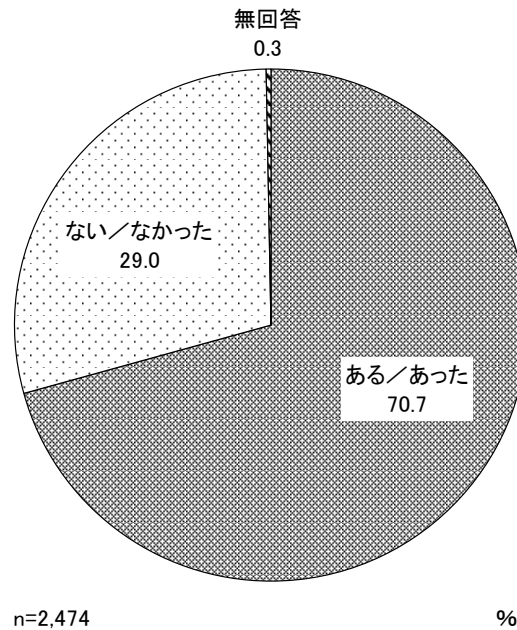


前回調査(平成30年度)と比較すると、「父母ともに」は5.4ポイント増加している。

(2) 子育てをする上での心配や悩みの有無

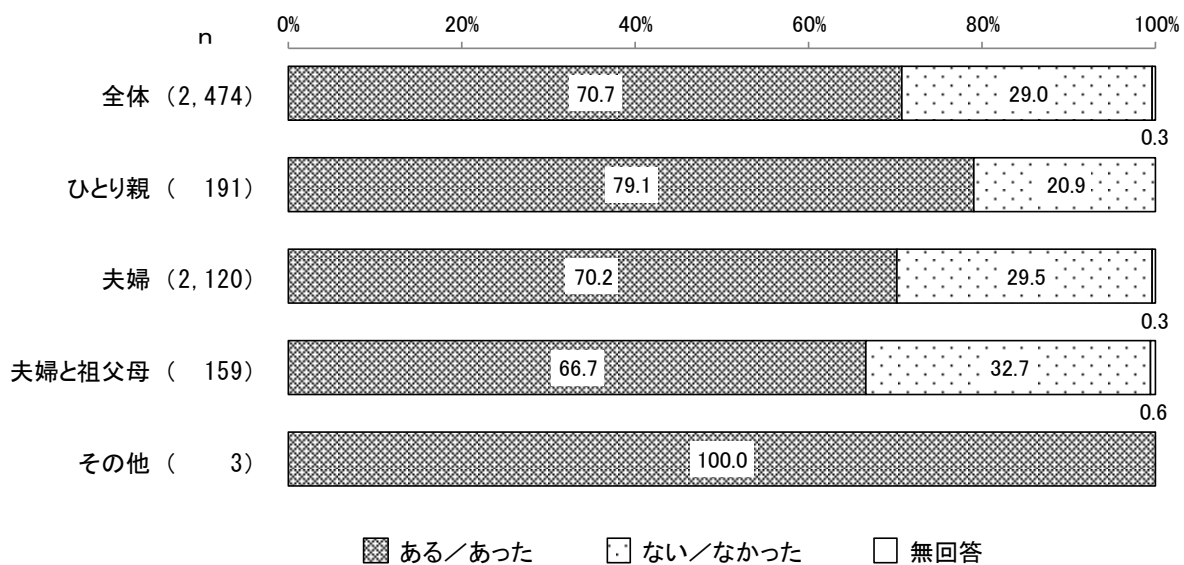
問7 宛名のお子さんの子育てをする上で、心配や悩みがありますか。

図表 2-3



子育てをする上での心配や悩みは、「ある/あった」が 70.7%、「ない/なかった」が 29.0%となっている。

図表 2-4 子育てをする上での心配や悩みの有無 (家族構成別)



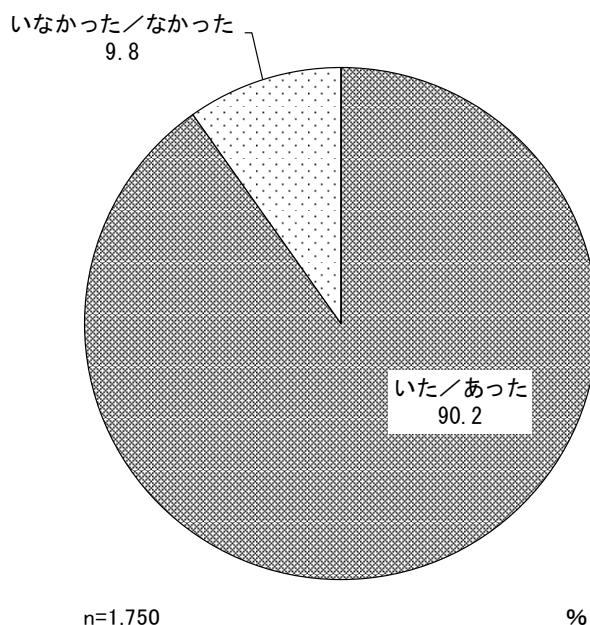
家族構成別にみると、どの家族構成でも心配や悩みが「ある/あった」が「ない/なかった」を上回っている。ひとり親は 79.1%で他の家族構成よりも「ある/あった」の割合が高くなっている。

(2-1) 子育てに関して相談できる相手(場所)の有無

(問7で、「1 ある/あった」に○をつけた方にうかがいます。)

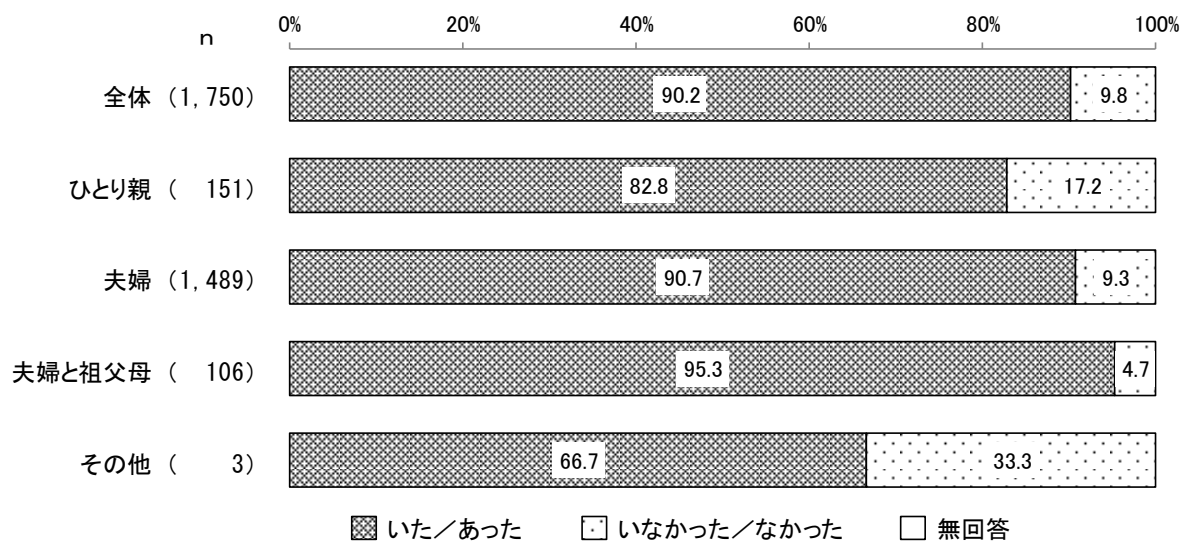
問7-1 宛名のお子さんの子育てをする上での悩みなどについて、相談できる人はいましたか。または、相談できる場所がありましたか。

図表2-5



子育てに関して気軽に相談できる相手(場所)の有無は、「いた/あった」が90.2%、「いなかった/なかった」が9.8%となっている。

図表2-6 子育てに関して相談できる相手(場所)の有無(家族構成別)



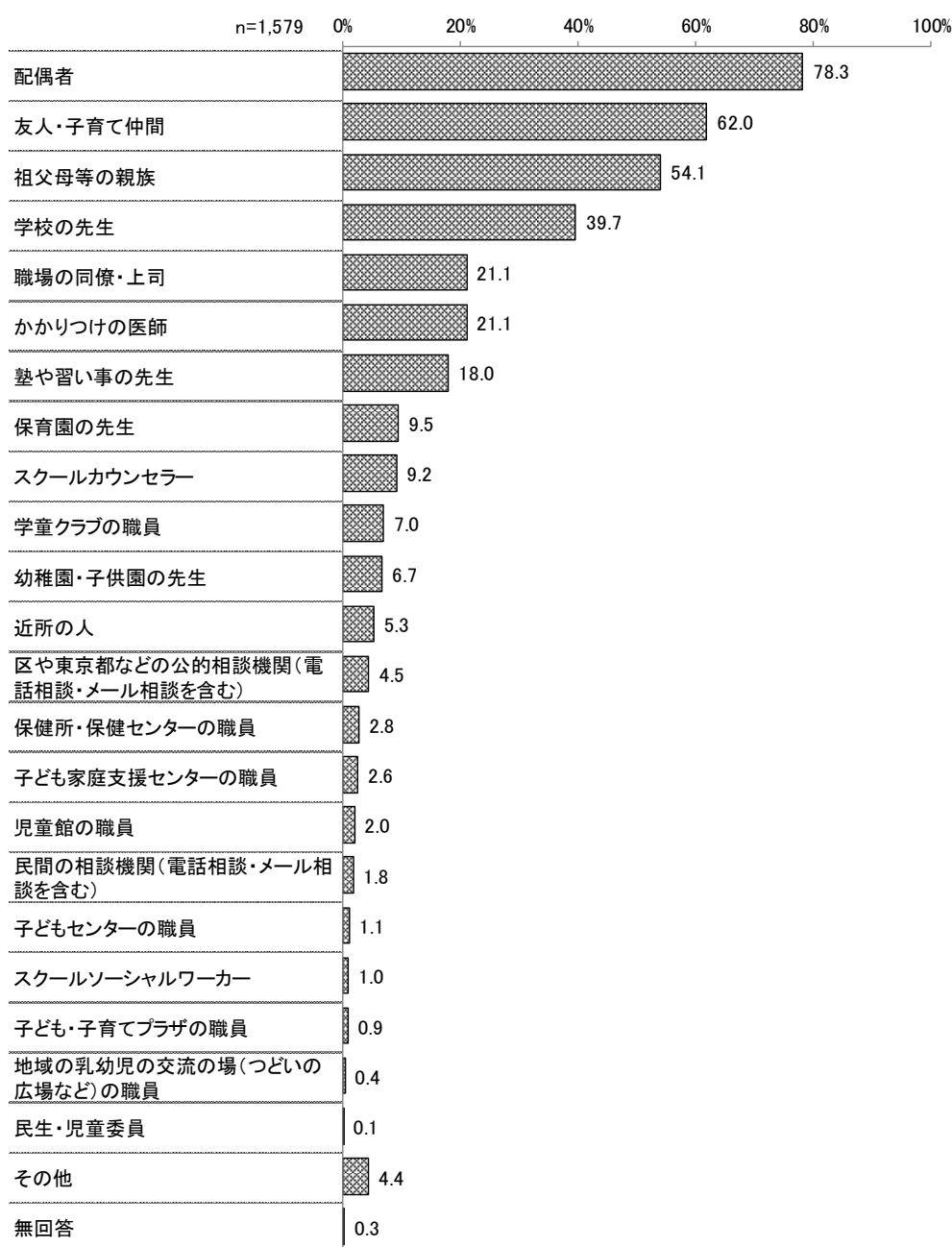
家族構成別にみると、ひとり親は気軽に相談できる相手(場所)が「いなかった/なかった」が17.2%で他の家族構成よりも高くなっている。

(2-2) 子育てに関する相談先と相談内容

(問7-1で、「1 いた/あった」に○をつけた方にうかがいます。)

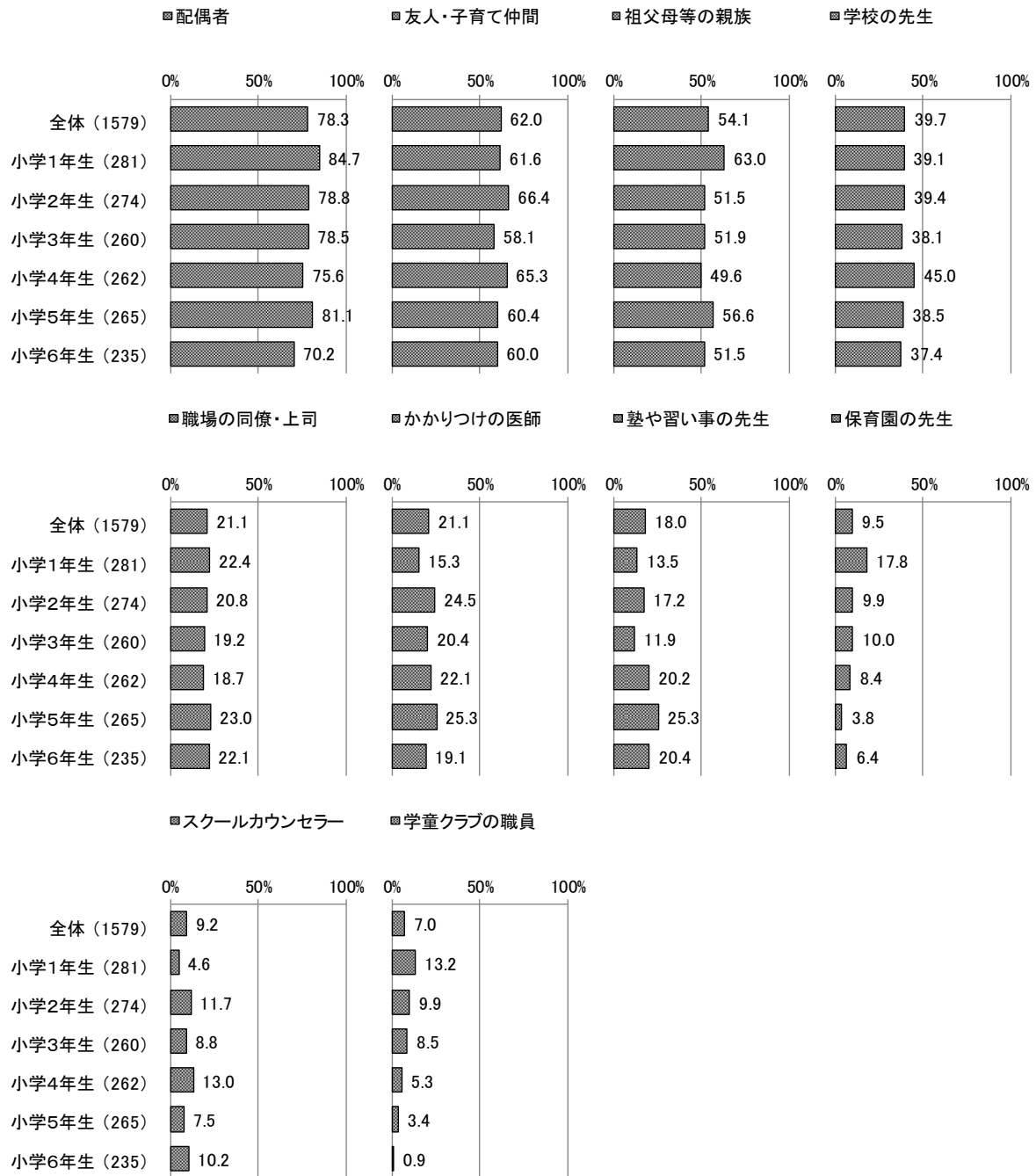
問7-2 令和5年4月1日~12月31日に、お子さんの子育てに関して相談した先は誰(どこ)ですか。当てはまるものすべてに○をつけて、[]内に相談した内容を下の表から選んで、番号(複数可)を記入してください。

図表2-7 子育てに関する相談先



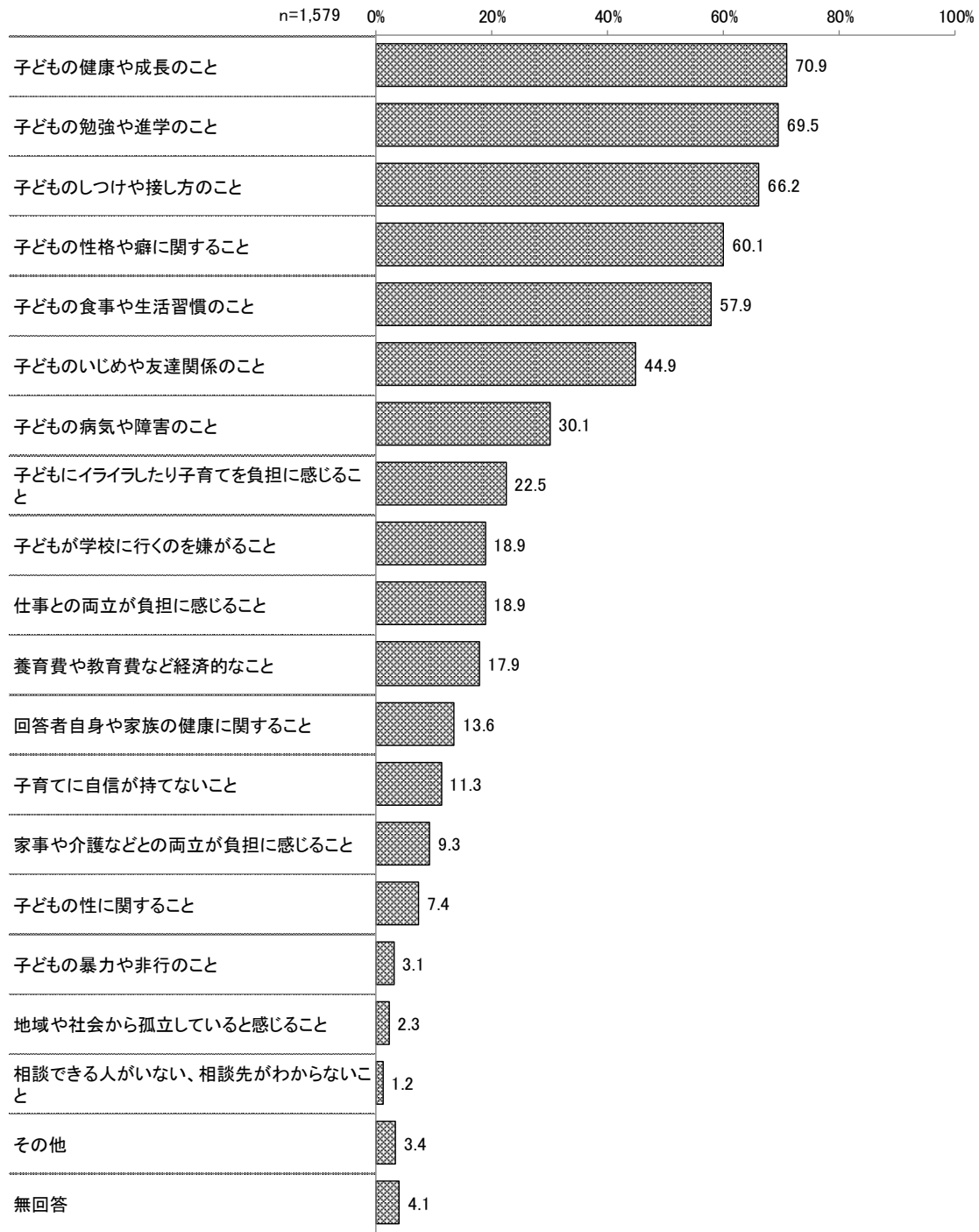
子育てに関する相談先は、「配偶者」が78.3%で最も高く、次いで「友人・子育て仲間」が62.0%、「祖父母等の親族」が54.1%となっている。

図表 2-8 子育てに関する相談先（学年別）（上位 10 項目）



学年別にみると、すべての学年において「配偶者」が最も高く、小学4～6年生において「塾や習い事の先生」が高くなる傾向にある。

図表 2-9 子育てに関して相談した内容（累計）



各相談先に対して相談した内容を、相談内容ごとに累計してみると、「子どもの健康や発育成長のこと」が70.9%で最も高く、次いで「子どもの勉強や進学のこと」が69.5%、「子どものしつけや接し方のこと」が66.2%となっている。

図表2-10 子育てに関する相談先と相談内容

相談先	相談内容	調査数 (n)	相談内容																	その他	無回答	
			子どもの健康や成長のこと	子どもの勉強や進学のこと	子どものしつけや接し方のこと	子どもの性格や癖に関すること	子どもの食事や生活習慣のこと	子どものいじめや友達関係のこと	子どもの病気や障害のこと	育てをイライラしたり子育てを負担に感じること	子どもが学校に行くのを嫌がること	仕事との両立が負担に感じること	養育費や教育費など経済的なこと	回答者自身や家族の健康に関すること	子育てに自信が持てないこと	家事や介護などの両立が負担に感じること	子どもの性に関すること	子どもの暴力や非行のこと	地域や社会から孤立していると感じること			相談できる人がいない、相談先がわからないこと
配偶者		1,237	68.1	67.4	65.4	57.3	54.1	38.2	25.1	19.1	16.7	16.5	18.1	11.6	7.8	8.0	6.1	2.5	1.7	0.6	1.2	3.7
友人・子育て仲間		979	52.4	53.0	49.6	34.8	44.7	36.9	14.6	16.9	11.2	11.7	4.8	5.5	5.7	4.7	5.1	1.2	0.8	0.5	1.3	4.7
祖父母等の親族		854	66.5	39.6	49.3	40.6	47.8	19.4	21.0	12.6	10.1	10.4	8.2	8.0	6.6	5.5	2.1	1.1	1.1	0.2	1.3	4.1
学校の先生		627	27.4	51.8	22.0	37.6	17.2	47.4	16.7	1.6	21.7	0.2	0.2	0.2	0.5	0.2	1.1	1.9	0.2	0.5	1.4	3.8
職場の同僚・上司		333	47.7	47.7	37.5	26.1	34.5	18.0	15.6	9.0	11.4	24.3	5.7	6.3	2.7	5.4	2.7	1.2	0.6	0.6	2.1	4.8
かかりつけの医師		333	69.1	10.5	15.3	21.9	28.5	6.9	57.7	4.5	9.6	0.9	0.6	3.9	2.7	1.5	1.5	2.1	1.5	0.6	1.5	4.2
塾や習い事の先生		284	15.5	80.3	25.4	28.2	6.3	6.7	8.1	2.8	6.0	0.7	1.1	0.4	1.1	0.7	0.0	1.1	0.0	0.0	1.1	2.1
保育園の先生		150	63.3	8.7	48.0	46.0	51.3	33.3	13.3	7.3	6.7	3.3	1.3	1.3	3.3	0.7	1.3	2.7	1.3	0.7	0.7	4.0
スクールカウンセラー		146	32.9	26.7	30.8	47.3	16.4	27.4	25.3	4.8	42.5	0.0	0.0	1.4	2.1	0.0	0.0	2.1	0.7	1.4	4.1	4.8
学童クラブの職員		111	31.5	11.7	30.6	31.5	15.3	55.9	9.0	0.9	8.1	4.5	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.9	2.7	10.8
幼稚園・子供園の先生		106	54.7	12.3	56.6	51.9	44.3	38.7	15.1	3.8	4.7	0.0	0.0	0.0	4.7	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.9	6.6
近所の人		84	51.2	42.9	28.6	19.0	25.0	23.8	13.1	3.6	7.1	2.4	2.4	1.2	1.2	6.0	3.6	1.2	1.2	0.0	3.6	6.0
区や東京都などの公的相談機関 (電話相談・メール相談を含む)		71	36.6	16.9	31.0	40.8	15.5	14.1	36.6	8.5	28.2	4.2	0.0	5.6	7.0	1.4	1.4	2.8	0.0	7.0	11.3	4.2
保健所・保健センターの職員		45	71.1	13.3	26.7	28.9	40.0	6.7	33.3	15.6	6.7	8.9	8.9	13.3	13.3	4.4	2.2	2.2	4.4	4.4	4.4	4.4
子ども家庭支援センターの職員		41	29.3	29.3	58.5	53.7	22.0	12.2	19.5	17.1	17.1	2.4	4.9	9.8	9.8	9.8	0.0	7.3	0.0	2.4	14.6	4.9
児童館の職員		31	58.1	9.7	35.5	22.6	51.6	35.5	9.7	3.2	3.2	3.2	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	3.2
民間の相談機関 (電話相談・メール相談を含む)		28	28.6	21.4	39.3	53.6	21.4	7.1	25.0	7.1	17.9	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	3.6	3.6	0.0	3.6	3.6	14.3
子どもセンターの職員		17	41.2	29.4	29.4	35.3	17.6	5.9	35.3	11.8	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	23.5
スクールソーシャルワーカー		16	31.3	50.0	25.0	43.8	18.8	31.3	37.5	6.3	43.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	12.5	12.5
子ども・子育てプラザの職員		15	53.3	6.7	6.7	20.0	46.7	0.0	0.0	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
地域の乳幼児の交流の場 (つどいの広場など)の職員		7	57.1	14.3	42.9	14.3	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
民生・児童委員		2	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他		70	44.3	27.1	40.0	42.9	21.4	18.6	38.6	7.1	11.4	4.3	2.9	4.3	8.6	2.9	0.0	2.9	1.4	0.0	11.4	5.7

※数値(%)は、相談先ごとの相談内容の割合を示す。割合が最も高いものを濃く、次に高いものを薄く網掛けしている。

相談先別に相談した内容をみると、「子どもの健康や成長のこと」は、多くの相談先で高い傾向にある。また、「子どものしつけや接し方のこと」「子どもの性格や癖に関すること」「子どもの食事や生活習慣のこと」は「保育園の先生」や「幼稚園・子供園の先生」において4割以上となっている。

図表2-11 相談した内容（累計・学年別）

単位：％

	調査数（n）	子どもの健康や成長のこと	子どもの勉強や進学のこと	子どものしつけや接し方のこと	子どもの性格や癖に関すること	子どもの食事や生活習慣のこと	子どものいじめや友達関係のこと	子どもの病気や障害のこと	子育てを负担に感じること	子どもが学校に行くのを嫌がること	仕事との両立が負担に感じること	養育費や教育費など経済的なこと	回答者自身や家族の健康に関すること	子育てに自信が持てないこと	家事や介護などとの両立が負担に感じること	子どもの性に関すること	子どもの暴力や非行のこと	地域や社会から孤立していると感じること	相談できる人がいない、相談先がわからないこと	その他	無回答
全 体	1,579	70.9	69.5	66.2	60.1	57.9	44.9	30.1	22.5	18.9	18.9	17.9	13.6	11.3	9.3	7.4	3.1	2.3	1.2	3.4	4.1
小学1年生	281	76.5	65.1	73.3	68.3	68.3	48.8	32.0	24.2	20.6	24.9	19.6	15.7	13.5	13.9	6.4	3.2	3.9	1.8	3.2	2.5
小学2年生	274	72.6	66.4	70.8	69.7	62.4	50.7	31.8	27.0	18.6	19.7	15.7	14.6	13.5	8.4	5.8	3.6	1.8	0.7	3.6	2.6
小学3年生	260	66.5	67.3	64.6	58.1	55.0	44.6	27.7	22.7	19.2	16.9	13.1	10.8	8.5	7.3	5.4	1.5	2.7	1.5	2.7	5.0
小学4年生	262	68.7	74.0	63.7	60.7	53.8	41.2	29.8	21.8	20.2	17.9	16.0	14.9	11.8	7.3	6.9	4.6	1.1	1.5	3.1	3.8
小学5年生	265	73.6	74.7	63.8	52.5	55.8	40.4	29.8	18.5	17.4	16.6	23.4	13.2	10.9	10.2	12.5	4.2	2.3	0.8	3.8	5.7
小学6年生	235	66.4	69.8	60.0	49.4	50.2	42.6	29.8	20.4	17.0	16.6	20.0	11.9	9.4	8.5	7.7	0.9	2.1	0.9	3.8	5.1

相談した内容の累計結果を学年別にみると、「子どもの健康や発育成長のこと」や「子どもの勉強や進学のこと」はどの学年でも高い傾向にある。また、「子どものしつけや接し方のこと」は小学1年生、2年生で7割を超えて高くなっている。

3. 保護者の就労状況

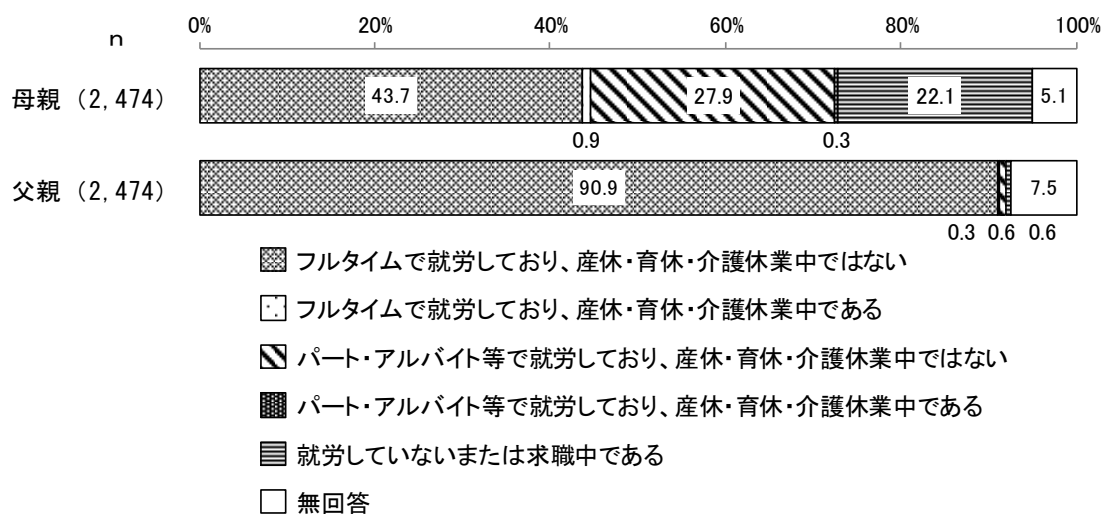
(1) 保護者の就労状況

問8 当てはまる就労状況を、「母親」「父親」それぞれの就労状況について、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

ここで言う「フルタイム」とは1週間に5日・1日8時間程度の仕事をさします。

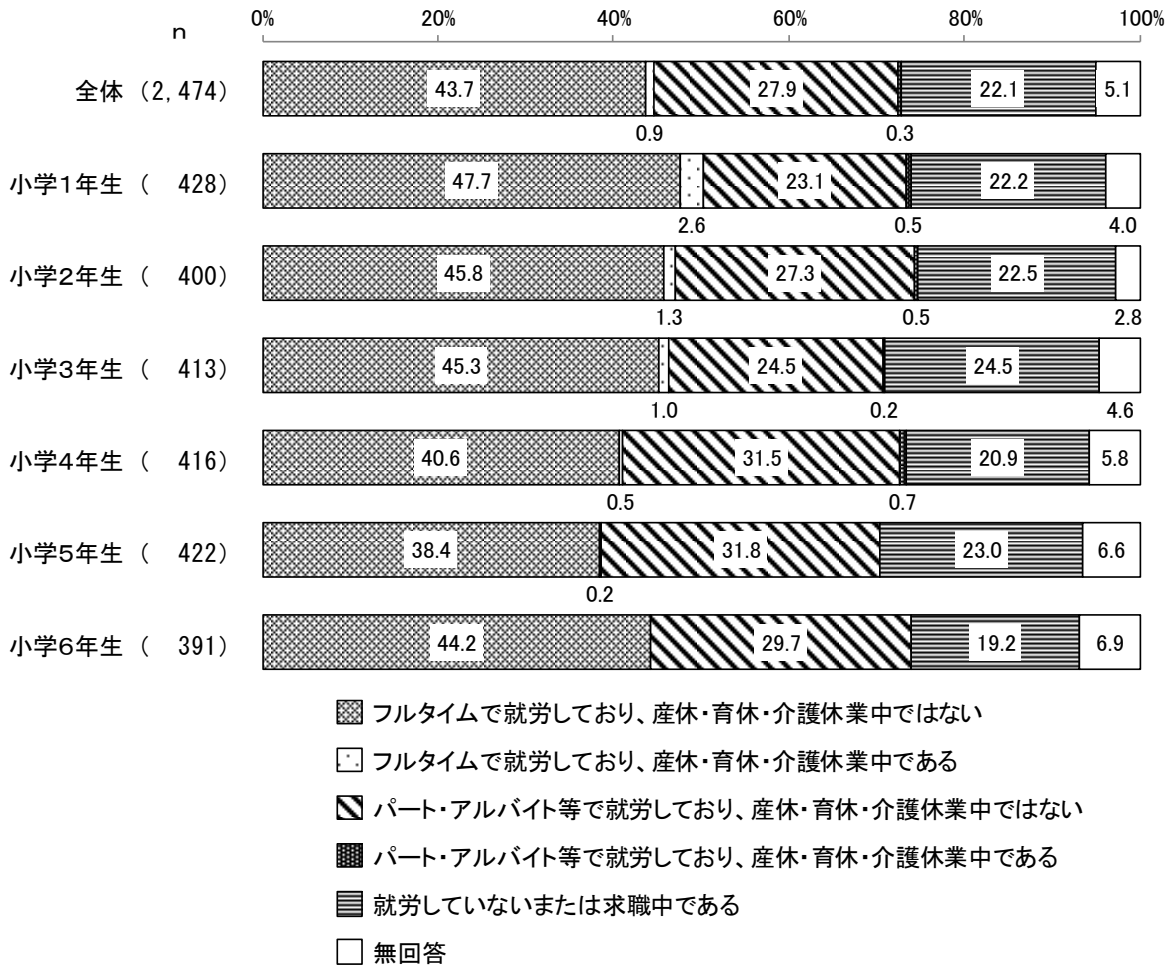
「パート・アルバイト等」とはフルタイム以外の就労をさします。

図表3-1



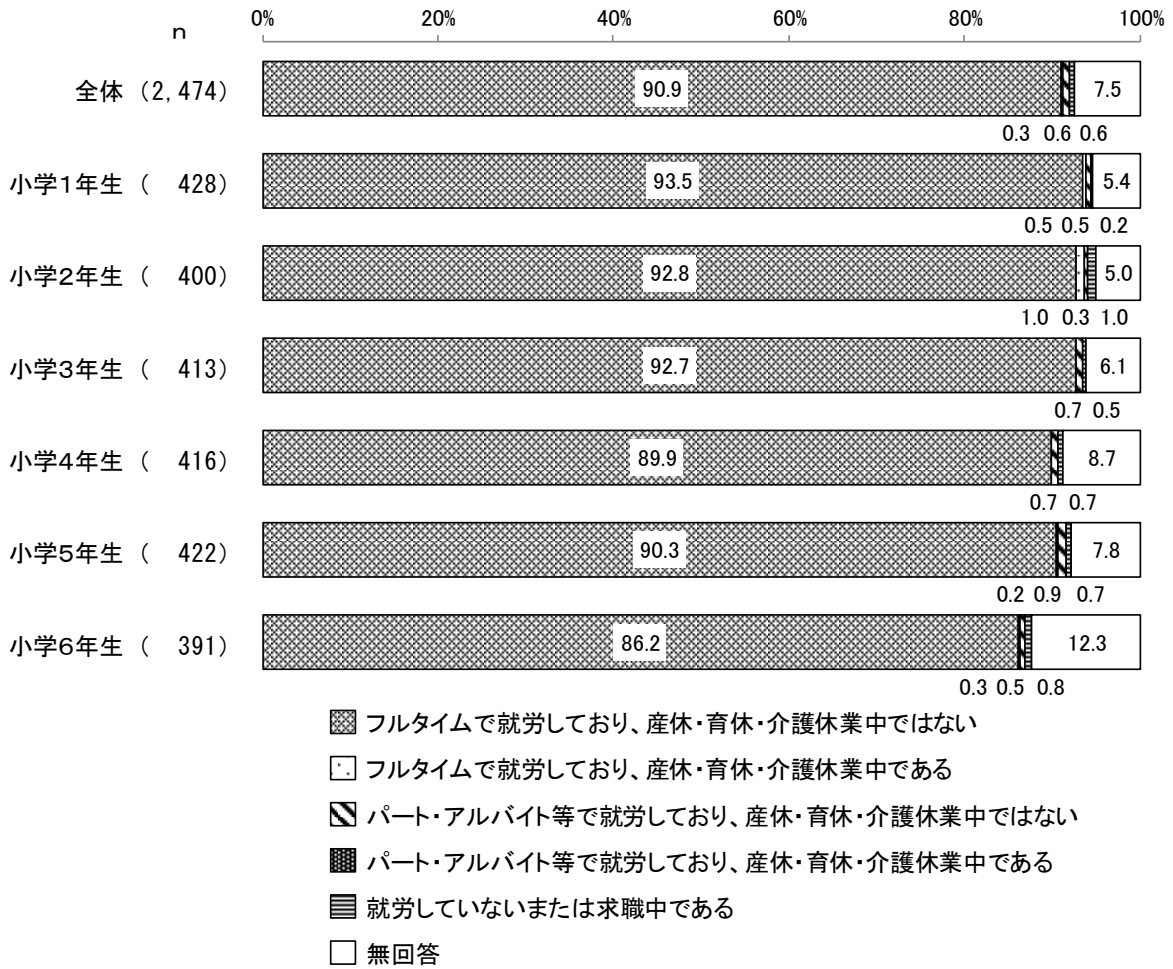
保護者の就労状況は、母親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が43.7%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が27.9%、「就労していないまたは求職中である」が22.1%となっている。一方、父親は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が90.9%で最も高くなっている。

図表3-2 保護者の就労状況（子どもの学年別）【母親】



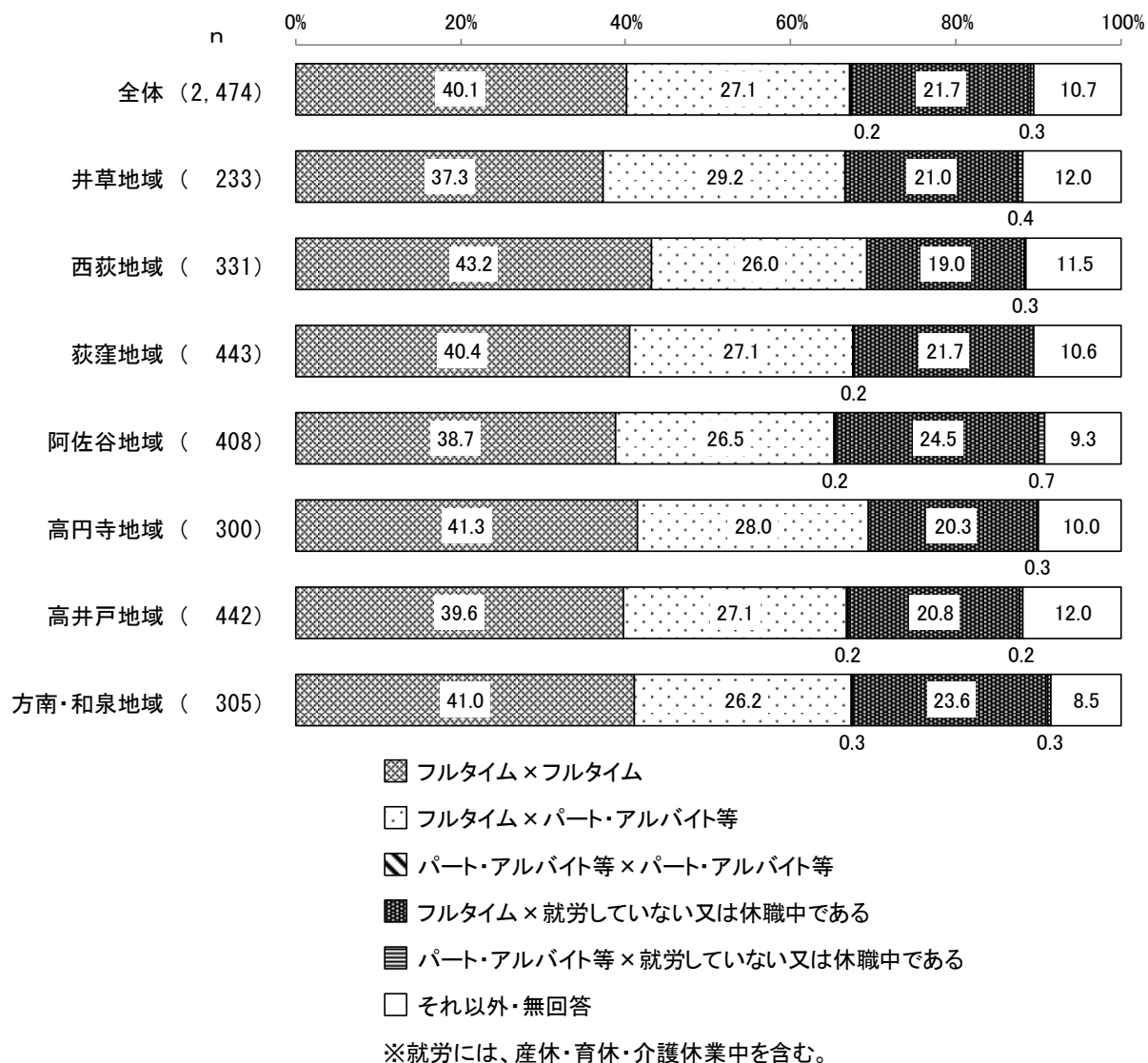
子どもの学年別にみると、母親では、小学1年生で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が47.7%で最も高く、小学5年生までは年齢が上がるにつれて、低くなる傾向にある。「就労していないまたは求職中である」は各年齢で2割程度となっている。

図表3-3 保護者の就労状況（子どもの年齢別）【父親】



子どもの学年別にみると、父親では、すべての学年で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も高くなっている。

図表 3-4 共働きの状況（7地域別）



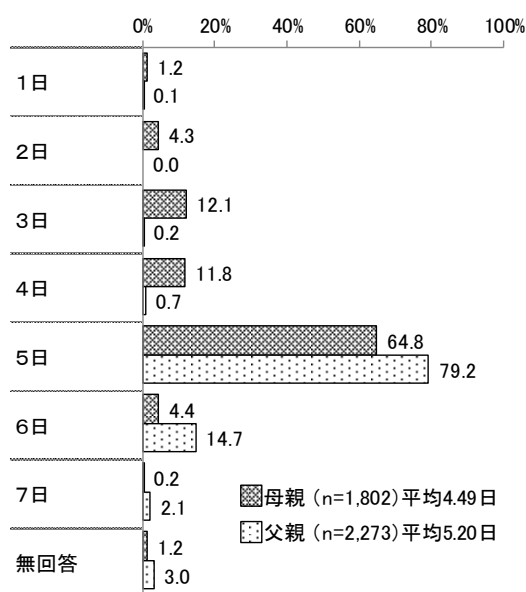
保護者（ふたり親）の就労状況を7地域別にみると、すべての地域で父母ともにフルタイムである「フルタイム×フルタイム」が4割程度となっており、次いで、父母のどちらか一方がフルタイムである「フルタイム×パート・アルバイト等」の割合が高くなっている。

(1-1) 1週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間数

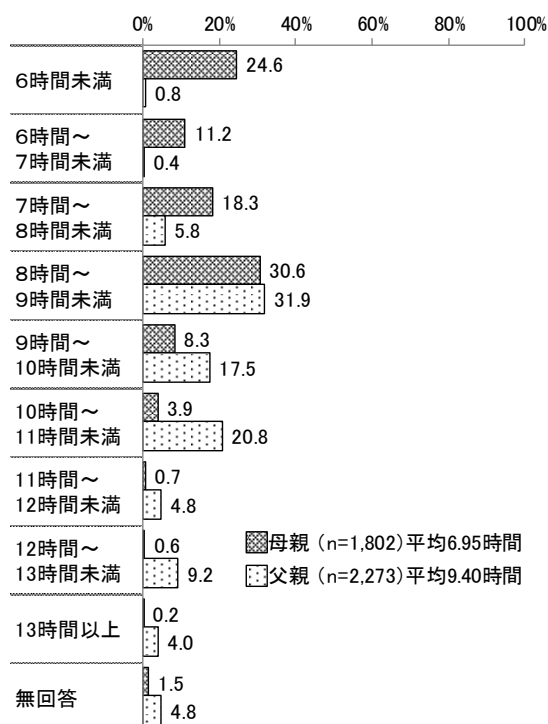
(問8の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問8-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は(例)8~18時のように24時間制でご記入ください。

図表3-5 1週あたりの就労日数



図表3-6 1週あたりの就労時間



1週あたりの就労日数は、母親・父親ともに「5日」が最も高くなっている。次いで母親は、「3日」が12.1%となっており、父親は「6日」が14.7%となっている。

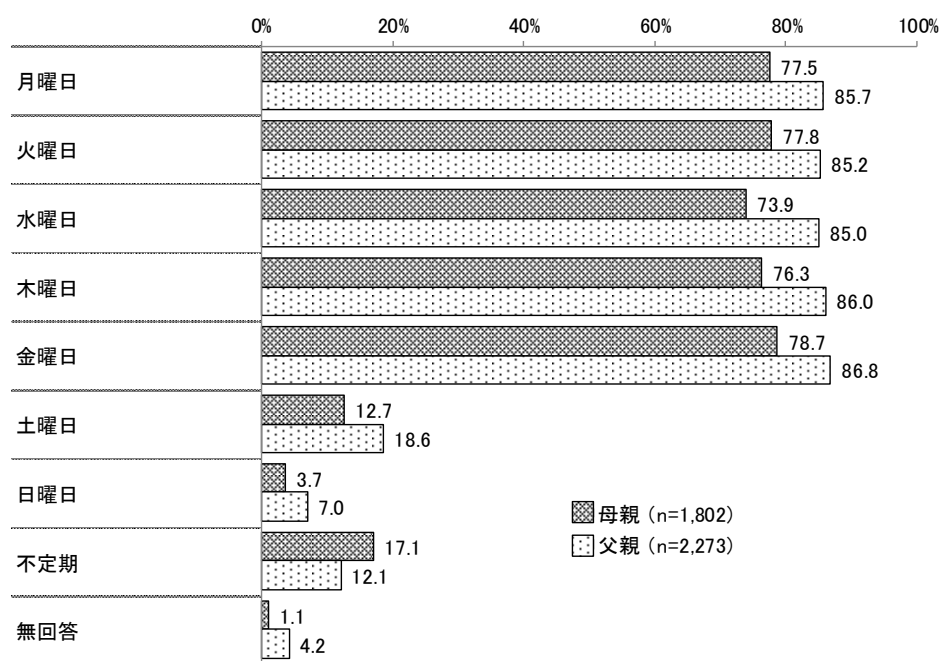
1日あたりの就労時間は、母親では「8時間~9時間未満」が30.6%で最も高く、次いで「6時間未満」が24.6%、「7時間~8時間未満」が18.3%となっている。父親は「8時間~9時間未満」が31.9%で最も高いが、次いで「10時間~11時間未満」が20.8%、「9時間~10時間未満」が17.5%となっており、総体的に父親の方が長時間労働の傾向にある。

(1-2) 就労している曜日

(問8の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問8-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

図表3-7



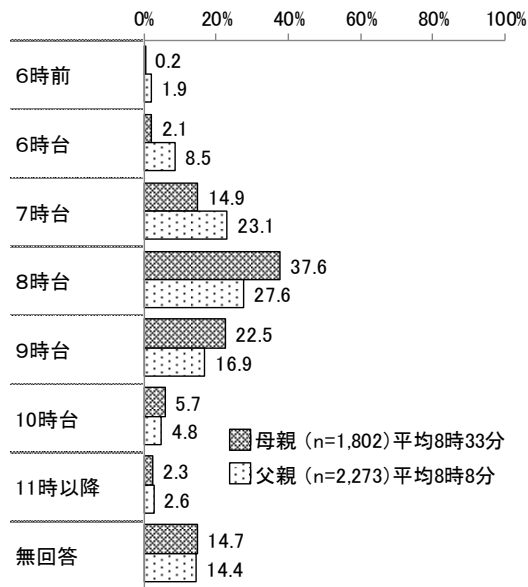
就労している曜日は、母親・父親ともに、「月曜日」から「金曜日」までが高くなっている。また、母親は父親と比較して「不定期」が5.0ポイント高くなっている。

(1-3) 出勤時刻と帰宅時刻

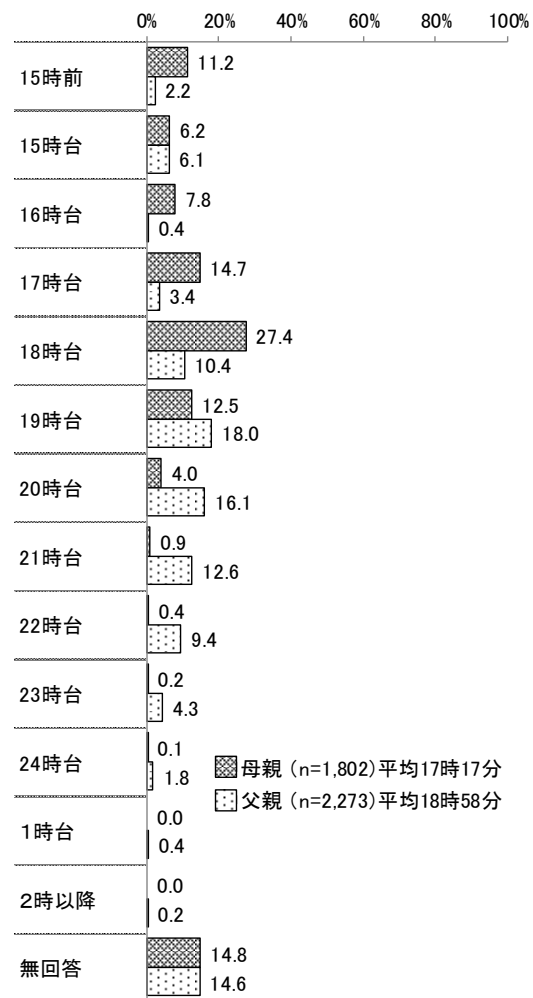
(問8の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問8-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は(例)8~18時のように24時間制でご記入ください。

図表3-8 出勤時刻



図表3-9 帰宅時刻



出勤時刻は、母親・父親ともに「8時台」が最も高くなっている。次いで母親では「9時台」が22.5%、「7時台」が14.9%となっており、父親は「7時台」が23.1%、「9時台」が16.9%となっている。帰宅時刻は、母親では「18時台」が27.4%で最も高く、次いで「17時台」が14.7%、「19時台」が12.5%となっている。一方、父親は「19時台」が18.0%で最も高く、次いで「20時台」が16.1%、「21時台」が12.6%となっている。

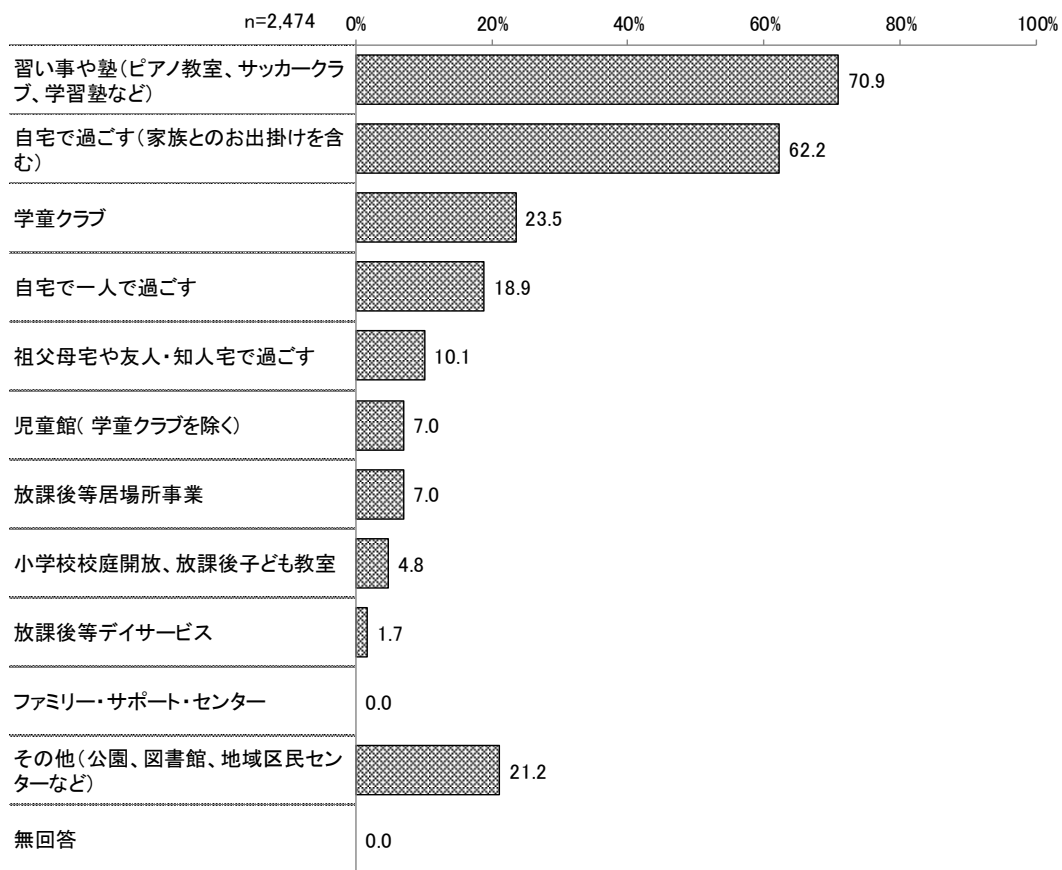
4. 子どもの放課後の過ごし方

(1) 普段の放課後の過ごし方

問9 宛名のお子さんは普段、放課後（月～金曜日の小学校終了後）をどのように過ごしていますか。当てはまる過ごし方にすべて○をつけるとともに、週あたりのおおよその日数を口内にご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用している時間（24時間制）もご記入ください。

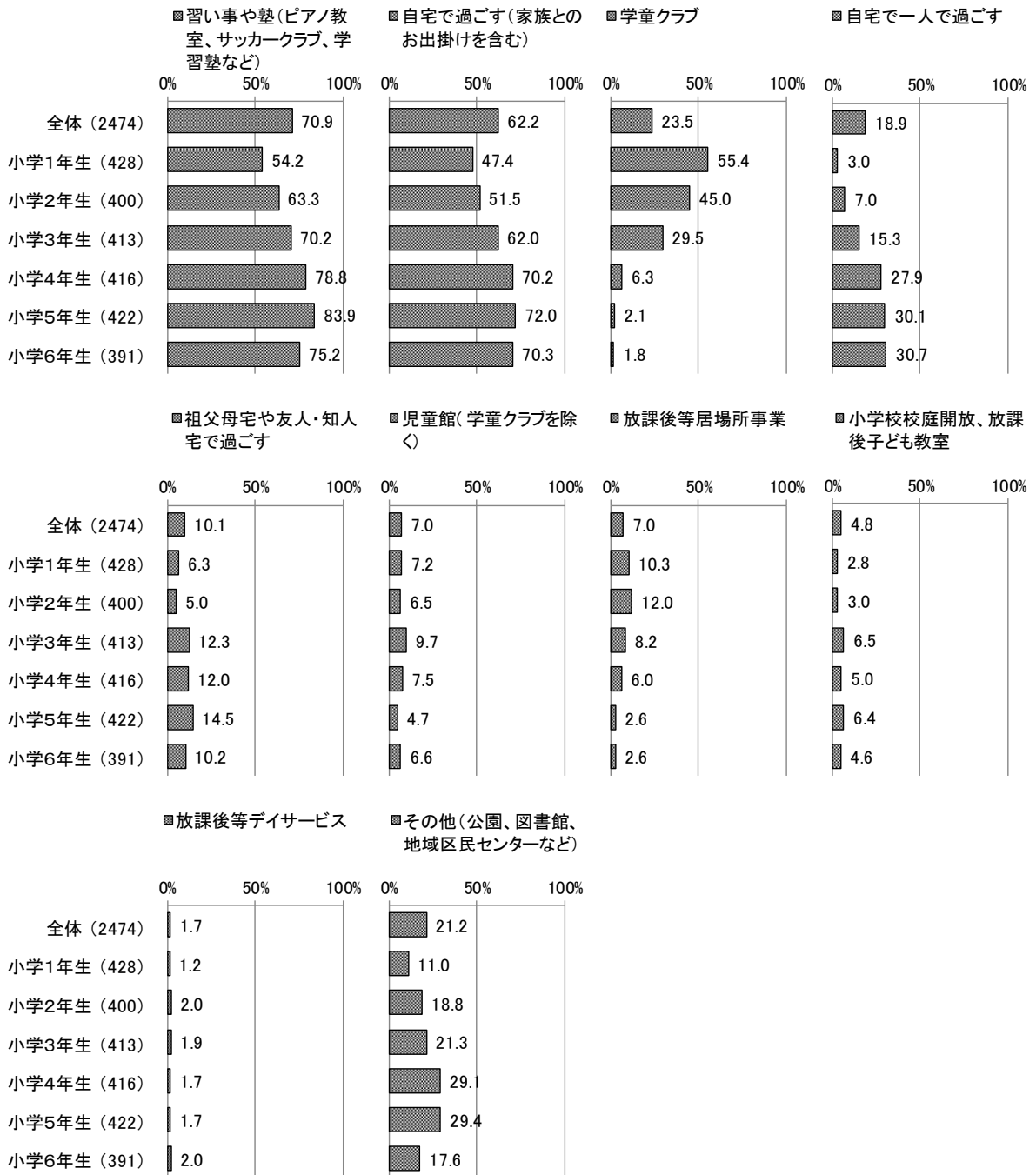
※1日のうちで複数の過ごし方をする場合（児童館で過ごしてから、習い事に行くなど）は、もっとも時間の長い過ごし方を1日としてご回答ください。

図表4-1



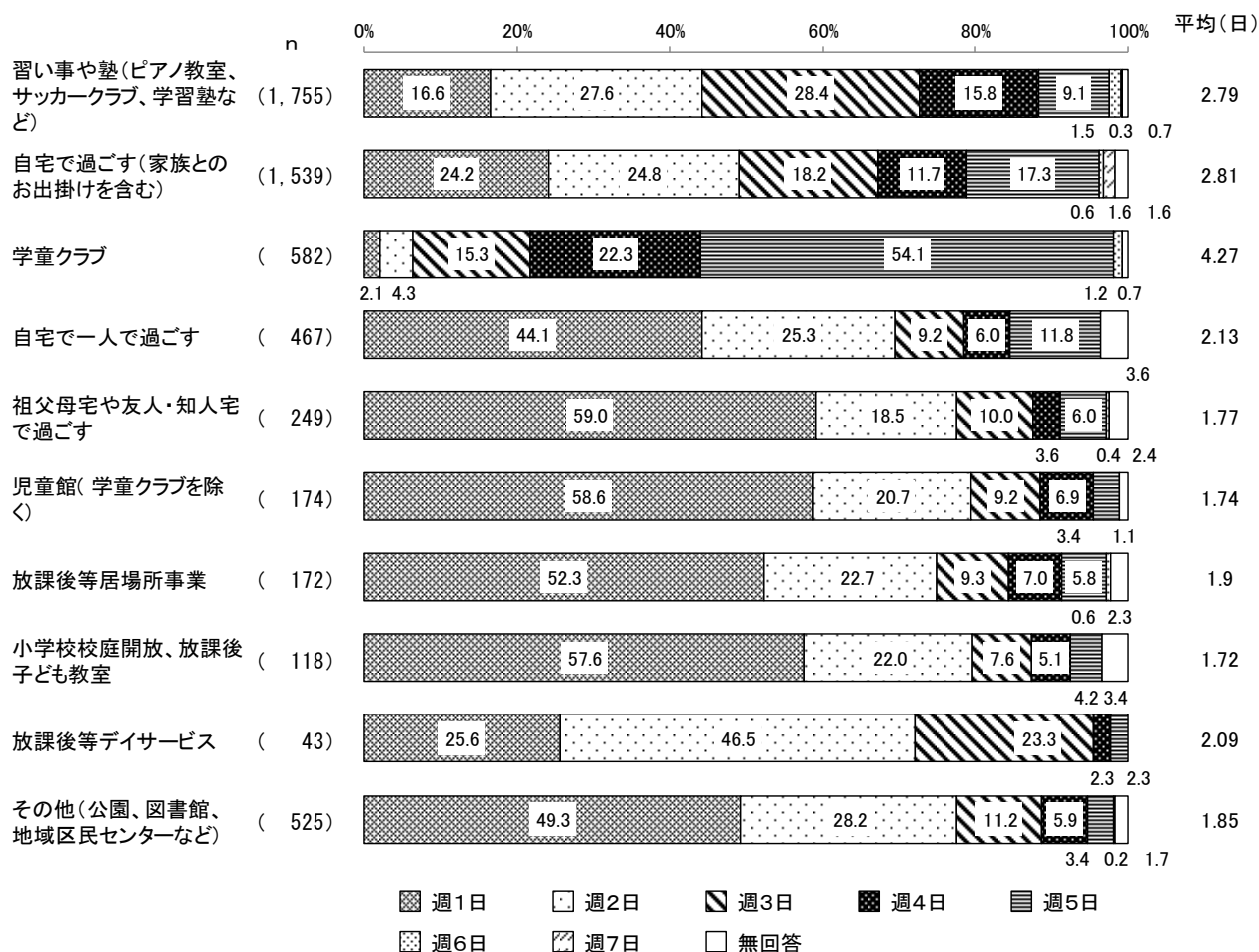
普段の放課後の過ごし方は、「習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が70.9%で最も高く、次いで「自宅で家族と過ごす（家族とのお出掛けを含む）」が62.2%、「学童クラブ」が23.5%となっている。

図表 4-2 普段の放課後の過ごし方（学年別）



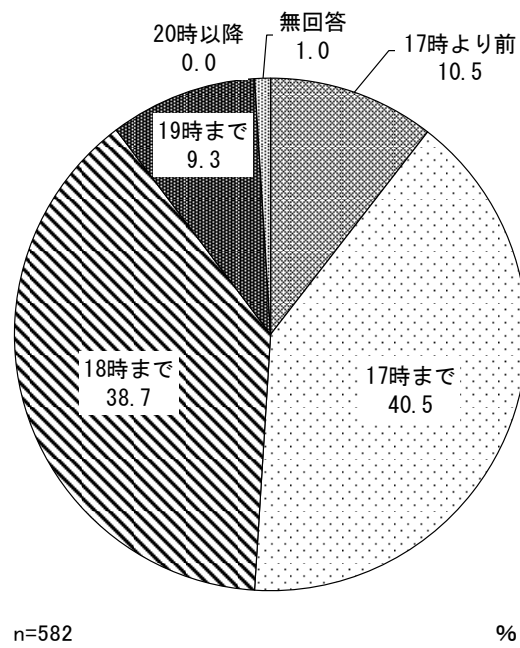
学年別にみると、「習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」、「自宅で家族と過ごす（家族とお出掛けを含む）」、「自宅で一人で過ごす」は学年が上がるにつれて高くなる傾向にある。小学1年生では「学童クラブ」の割合が、放課後の過ごし方で最も高くなっている。

図表 4-3 普段の放課後の過ごし方（利用日数）



利用日数からみると、「週5日」は「学童クラブ」で54.1%と高くなっている。次いで、「自宅で過ごす(家族とお出掛けを含む)」で17.3%、「自宅で一人で過ごす」で11.8%となっている。「児童館(学童クラブを除く)」「放課後等居場所事業」「小学校校庭開放、放課後子ども教室」の施設利用は、「週1日」が5割以上となっている。

図表 4-4 学童クラブの利用時間



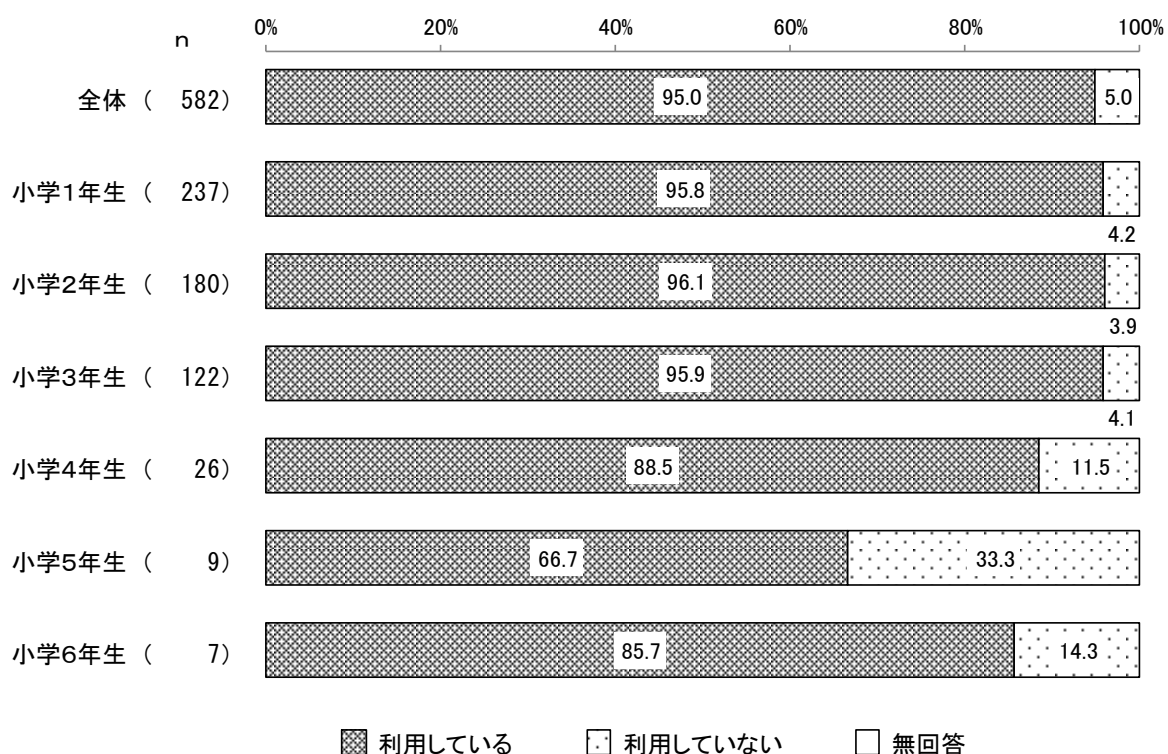
学童クラブの下校時からの利用時間は、「17時まで」が40.5%で最も高く、次いで「18時まで」が38.7%となっている。9.3%は「19時まで」利用している。

(1-1) 学童クラブの長期休暇中の利用状況

(問9で、「7 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。)

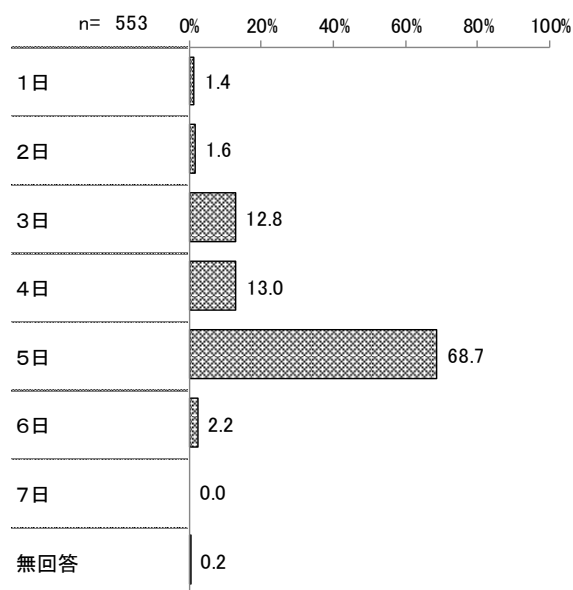
問9-1 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に学童クラブを利用していますか。利用している場合は、1週あたり何日、1日あたり何時間(何時から何時まで)かを、□に数字(24時間制)でご記入ください。

図表4-5

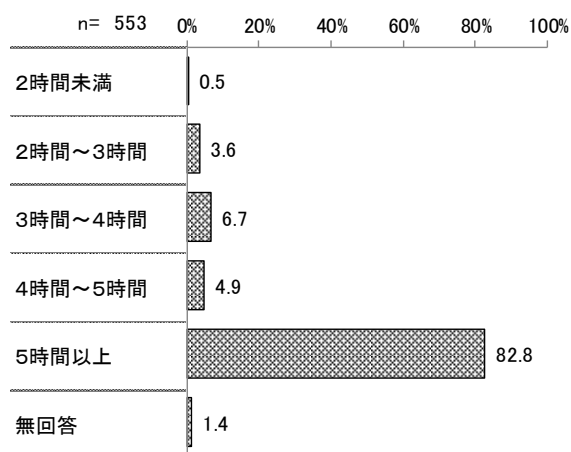


学童クラブの長期休暇中の利用は、全体で「利用している」が95.0%、「利用していない」が5.0%となっている。

図表 4-6 週あたりの利用日数



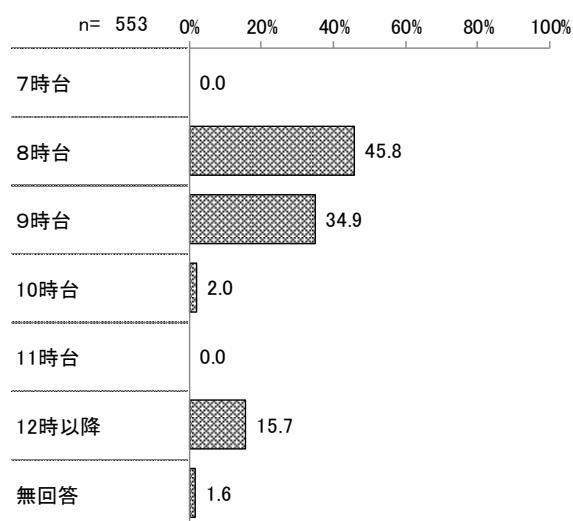
図表 4-7 1日あたりの利用時間



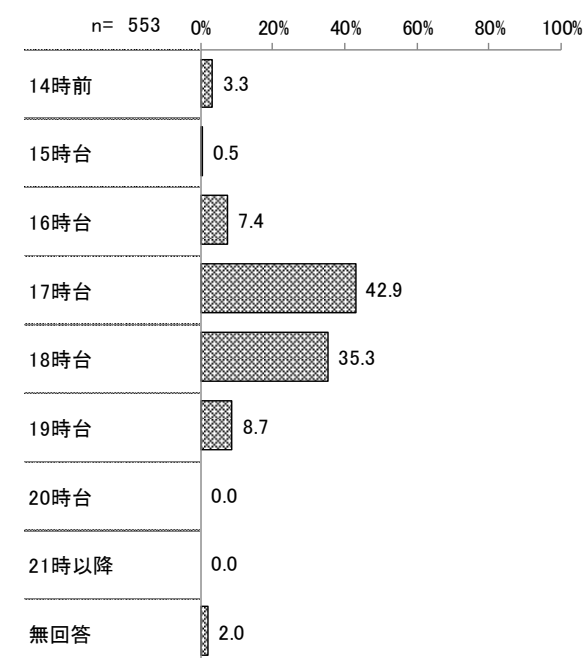
長期休暇中の週あたりの利用日数は、「5日」が68.7%で最も高く、次いで「4日」が13.0%となっている。

1日あたりの利用時間は、「5時間以上」が82.8%となっている。

図表 4-8 利用開始時刻



図表 4-9 利用終了時刻



利用開始時刻は、「8時台」が45.8%で最も高く、次いで「9時台」が34.9%となっている。

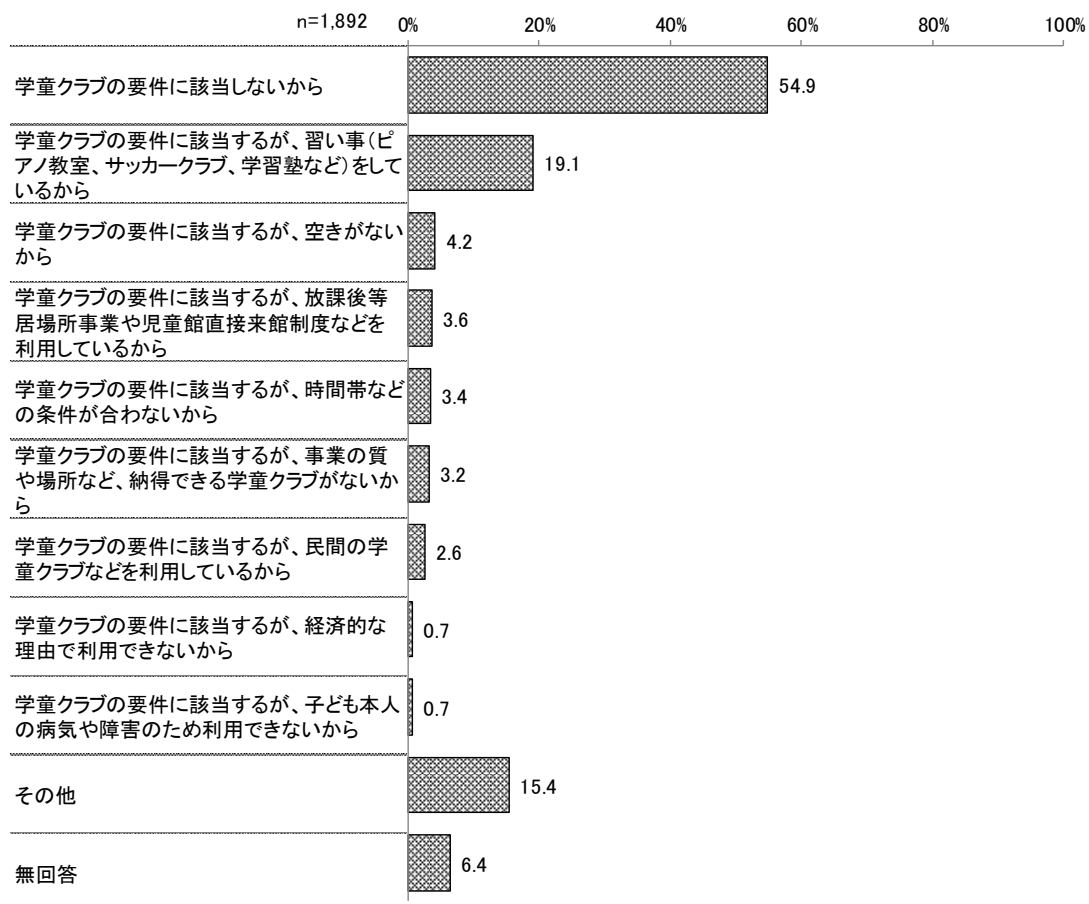
利用終了時刻は、「17時台」が42.9%で最も高く、次いで「18時台」が35.3%となっている。

(2) 学童クラブを利用していない理由

(問9で、「7 学童クラブ」に○をつけなかった方にうかがいます。)

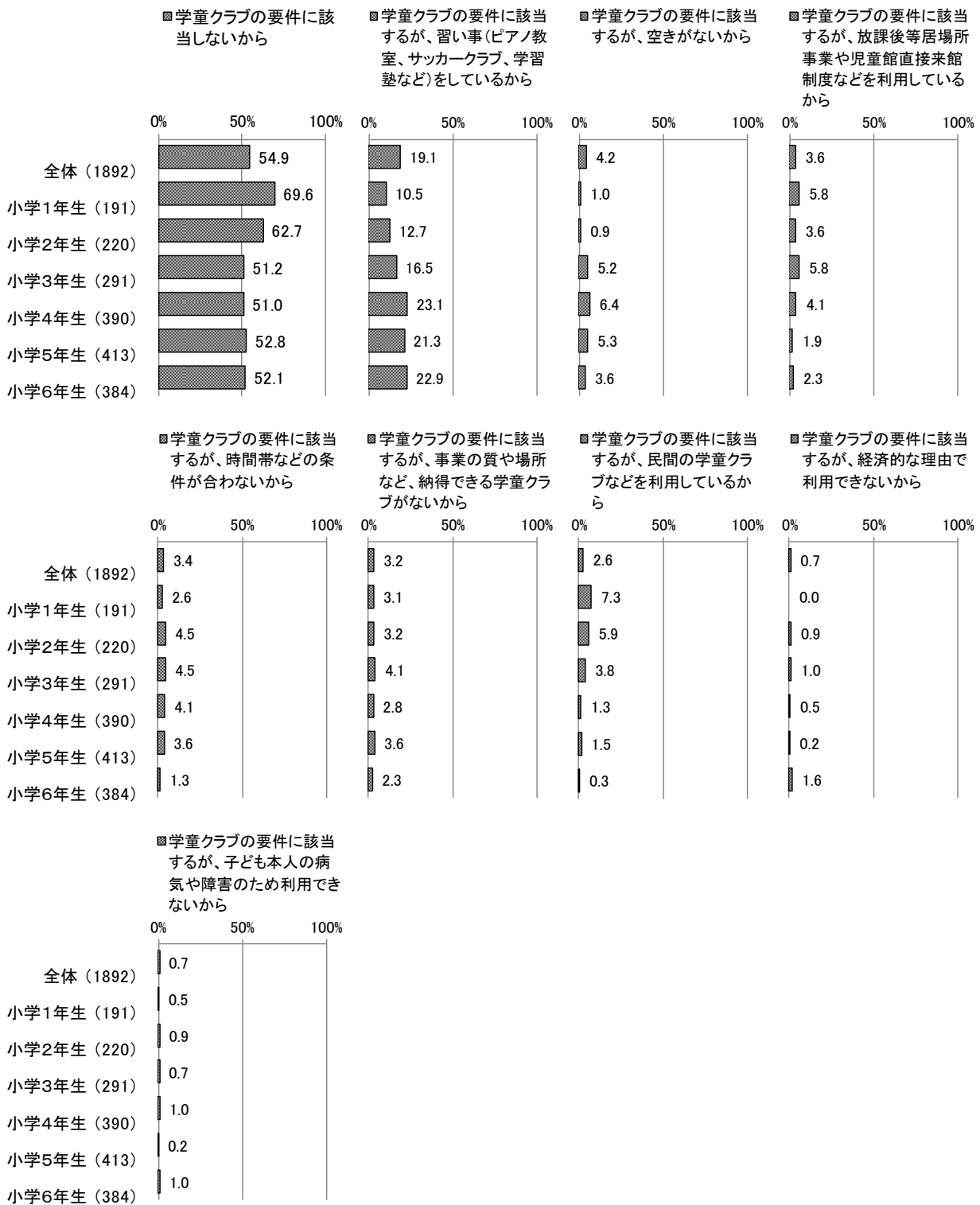
問10 学童クラブを利用していない(利用しない)理由について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

図表4-10



学童クラブを利用していない理由は、「学童クラブの要件に該当しないから」が54.9%で最も高くなっているが、それ以外では「学童クラブの要件に該当するが、習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)をしているから」が19.1%となっている。

図表4-11 学童クラブを利用していない理由（学年別）



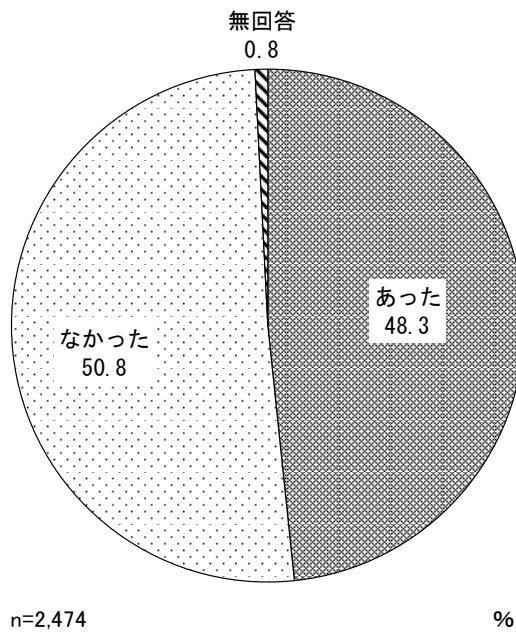
学年別にみると、「学童クラブの要件に該当しないから」は小学1年生で69.6%と最も高く、「学童クラブの要件に該当するが、習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）をしているから」は小学4年生で23.1%と最も高くなっている。

5. 一時預かり等の利用状況

(1) 保護者の用事等で子どもを預けた経験の有無

問11 宛名のお子さんについて、保護者の用事（買い物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労、兄弟姉妹の用事等の目的で、家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表5-1



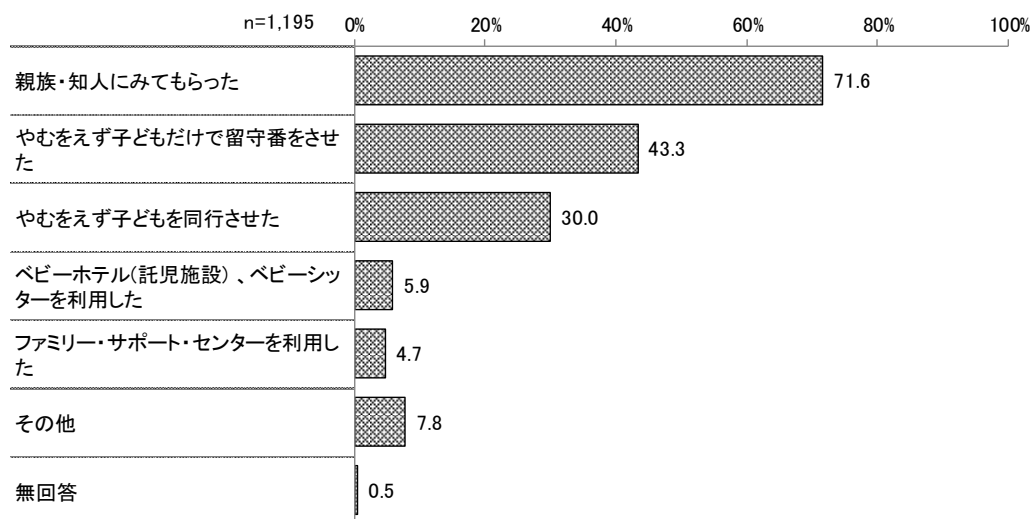
保護者の用事等で子どもを預けた経験の有無は、「あった」が48.3%、「なかった」が50.8%となっている。

(1-1) 保護者の用事等で子どもを預けた際の行動

(問11で、「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。)

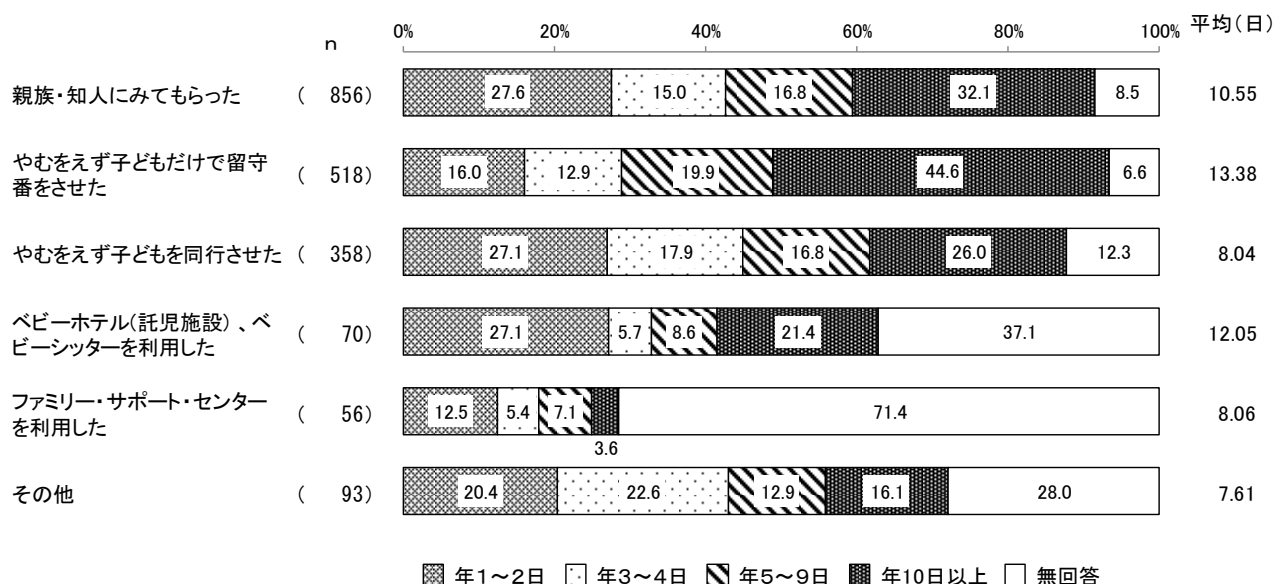
問11-1 その際にとった行動で、当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、令和5年4月1日～12月31日の間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

図表5-2



保護者の用事等で子どもを預けた際の行動は、「親族・知人にみてもらった」が71.6%で最も高く、次いで「やむをえず子どもだけで留守番をさせた」が43.3%、「やむをえず子どもを同行させた」が30.0%となっている。

図表5-3 保護者の用事等で子どもを預けた際の行動（日数）

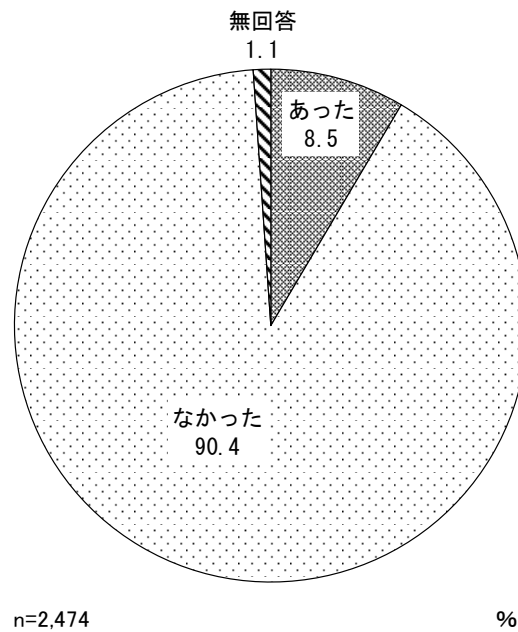


子どもを預けた日数は、「年10日以上」は「やむをえず子どもだけで留守番をさせた」で44.6%、「親族・知人にみてもらった」で32.1%と高くなっている。「年1～2日」は「親族・知人にみてもらった」で27.6%、次いで「ベビーホテル(託児施設)、ベビーシッターを利用した」、「やむをえず子どもだけで留守番させた」で27.1%と高くなっている。

(2) 宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無

問12 令和5年4月1日～12月31日の間で、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）等により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表5-4



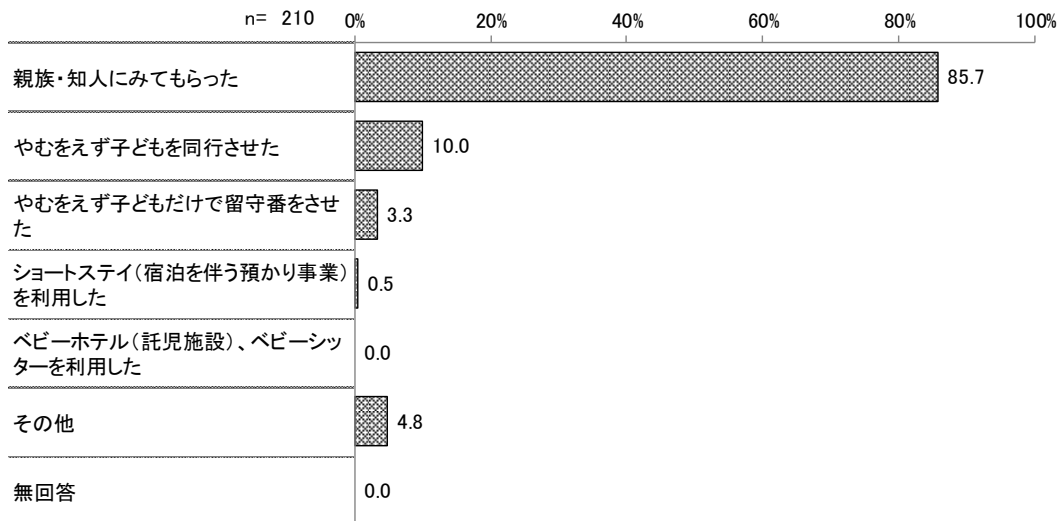
宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無は、「あった」が8.5%、「なかった」が90.4%となっている。

(2-1) 宿泊を伴って子どもを預けた際の行動

(問12で、「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。)

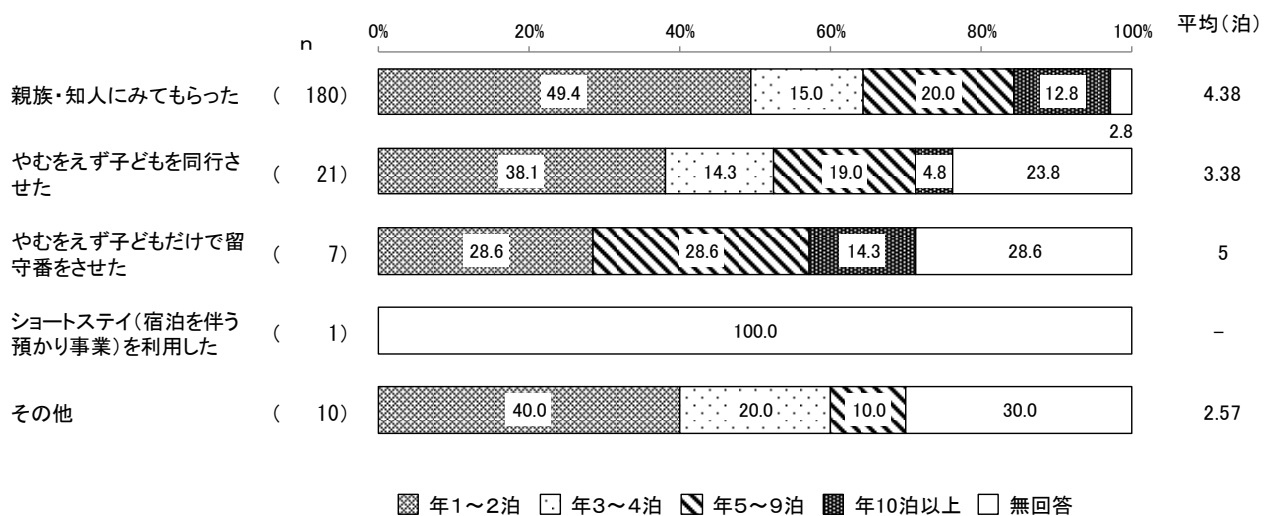
問12-1 その際にとった行動として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

図表5-5



宿泊を伴って子どもを預けた際の行動は、「親族・知人にみてもらった」が85.7%で最も高く、次いで「やむをえず子どもを同行させた」が10.0%となっている。

図表5-6 宿泊を伴って子どもを預けた際の日数(泊)



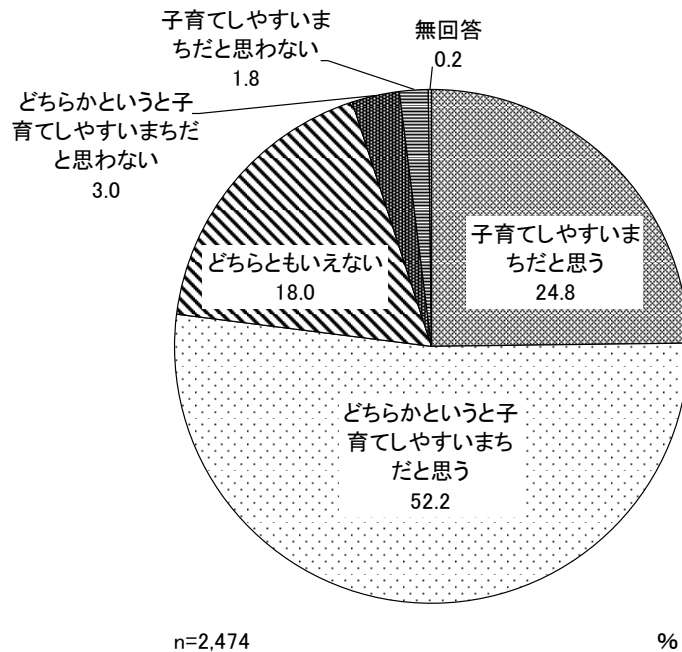
子どもを預けた泊数は、「年1~2泊」が「親族・知人にみてもらった」で38.1%と高くなっている。

6. 杉並区の子育て支援等について

(1) 杉並区の子育てのしやすさ

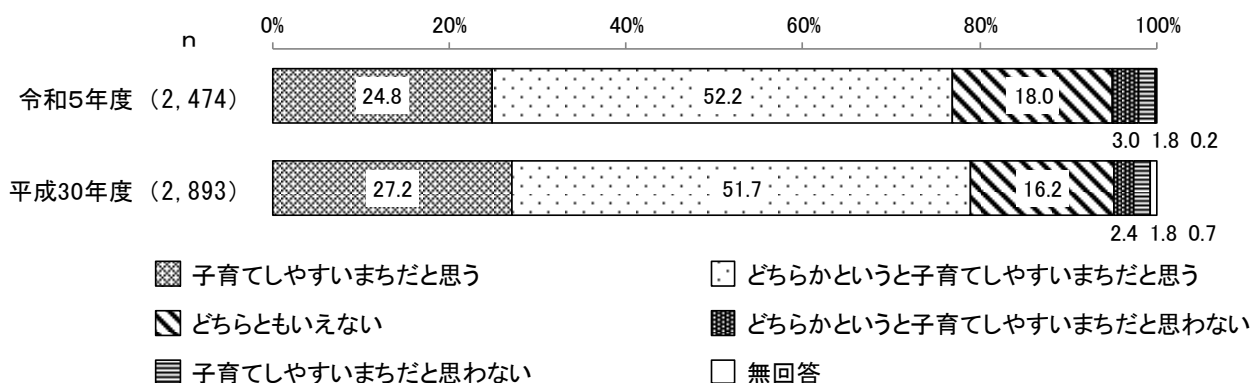
問13 杉並区は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表6-1



杉並区の子育てのしやすさは、「どちらかという子育てしやすいまちだと思う」が52.2%で最も高く、次いで「子育てしやすいまちだと思う」が24.8%となっており、「子育てしやすいまちだと思う」と「どちらかという子育てしやすいまちだと思う」をあわせた『子育てしやすいまちだと思う(計)』は77.0%となっている。

図表6-2 杉並区の子育てのしやすさ(経年比較)

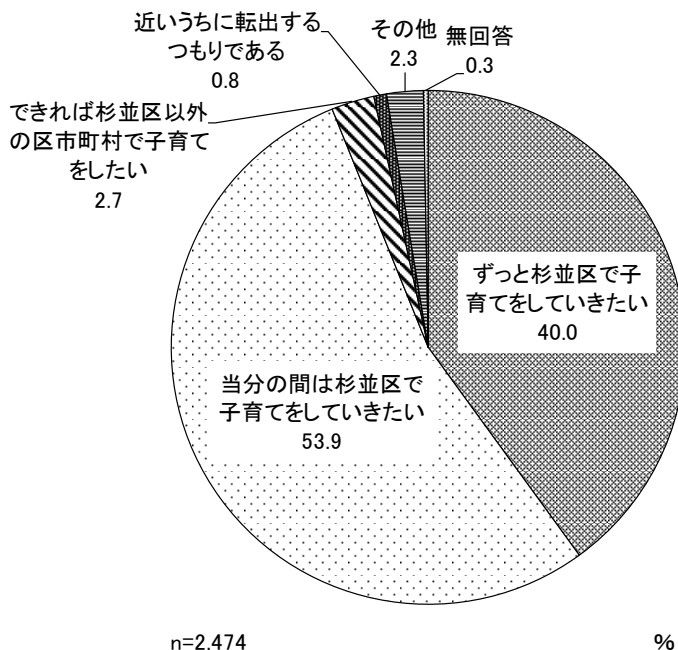


前回調査(平成30年度)と比較すると、『子育てしやすいまちだと思う(計)』は1.9ポイント減少している。

(2) 杉並区での子育て継続意向

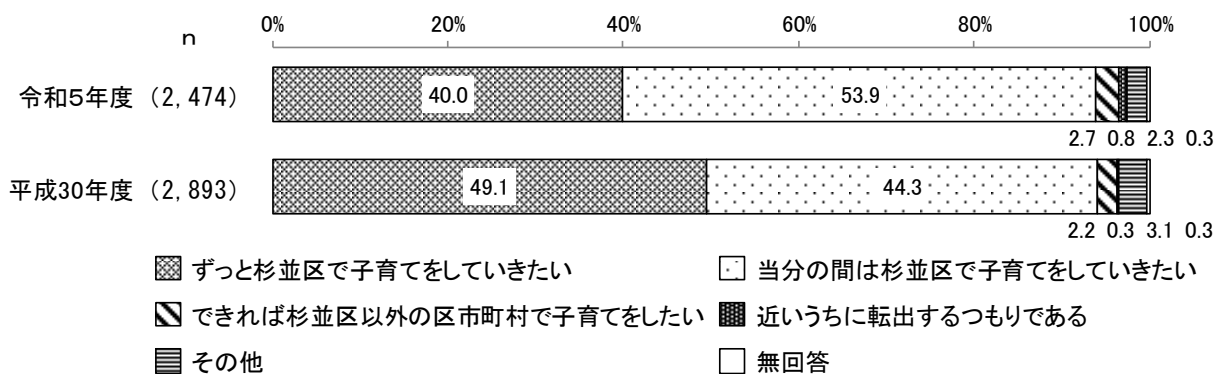
問14 今後も、杉並区で子育てをしていきたいと思いませんか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表6-3



杉並区の子育ての継続意向は、「当分の間は杉並区で子育てをしていきたい」が 53.9%で最も高く、次いで「ずっと杉並区で子育てをしていきたい」が 40.0%となっており、「ずっと杉並区で子育てをしていきたい」と「当分の間は杉並区で子育てをしていきたい」をあわせた『杉並区で子育てをしていきたい (計)』は 93.9%となっている。

図表6-4 杉並区での子育て継続意向 (経年比較)



前回調査(平成30年度)と比較すると、『杉並区で子育てをしていきたい (計)』は 0.5 ポイント微増している。

(3) 杉並区の子育て環境や支援に関する意見

問15 すべての方に伺います。最後に、杉並区の子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

杉並区の子育て環境や支援に関する意見を自由に記述していただいたところ、1,248人から1,469件の回答が寄せられた。以下に主なものを抜粋して掲載する。

1 学童クラブに関するご意見

○運営に関すること (88件)

- ・学童クラブの職員を増やしてほしい。子どもの人数が増えて、大人の目が行き届いていないように感じる。
- ・衛生面や保護者の負担面から、夏休みなどの長期休暇中の給食を実施してほしい。

○不足・拡充に関すること (86件)

- ・学童の受け入れ人数を増やしてほしい。3年生以降の受け入れが難しいようで、不安を感じる。
- ・高学年になると塾などに行くことも考えられるが、希望者には小学生の間は学童での居場所があるといいと思う。

○運営時間に関すること (17件)

- ・学童クラブの預かり時間をもう少し遅くまでにしてほしい。
- ・土曜日の開所時間を拡大してほしい。

○長期休業中やスポット利用に関すること (11件)

- ・夏休みなどの長期休暇の間だけでも預けられる枠があるといい。

○小学校内の設置に関すること (11件)

- ・すべての小学校内に学童を設置してほしい。

2 放課後等居場所事業、放課後子ども教室に関するご意見

○実施に関すること (49件)

- ・放課後等居場所事業を全ての小学校に導入してほしい。
- ・放課後、一度自宅に帰らずそのまま参加できる放課後子ども教室がもっと増えるといい。

3 児童館に関するご意見

○運営に関すること（42件）

- ・児童館は0～18歳までが利用できるとあるが、小学校低学年までの利用者が多く、もう少し大きい子どもでも楽しめて利用できるような施設になればいいと思う。
- ・児童館のような子どもの安全な居場所が増えるとうれしい。

○廃止に関すること（34件）

- ・児童館をなくさないでほしい。
- ・児童館は、年齢の異なる子と関わり、人に優しくしたりされたりを自然と学べる場所がなくなってしまい本当に残念。

4 障害等がある児童への支援に関するご意見（60件）

- ・障害の段階に応じた特にグレーゾーンの子どもへの支援がまだ整っていないように感じる。
- ・療育や学びへの支援をもっとしてほしい。
- ・放課後等デイサービスの充実、支援をしてほしい。

5 一時預かりに関するご意見

○不足等に関すること（35件）

- ・小学生を対象にした一時預かりが増えるといい。

6 相談に関するご意見（26件）

- ・子どもや子育てについて相談する場所がわからず困っている。
- ・相談機関に行くたびに対応する人が変わると何度も同じ説明をしなくてはいけないので、一定期間は担当制にしてほしい。

7 情報提供に関するご意見（35件）

- ・私学に通学しているため、区の教育関連の情報や地域の情報が入ってきづらい。
- ・小学校からの保護者宛てのお知らせにオンライン配信を活用してもらいたい。

8 公園整備等に関するご意見

○遊具やボール遊び等に関すること（107件）

- ・公園でバスケやサッカー等のボール遊びがしやすい環境がほしい。
- ・乳幼児用ばかりでなく、小学生以上も楽しめる遊具があるといい。

○整備に関すること（46件）

- ・子どもが安心して安全に過ごせる公園の整備をしてもらいたい。

○設備・管理等に関すること（16件）

- ・公園のトイレを子どもが使いやすい洋式トイレにしてほしい。

9 その他

○子育て応援券に関するご意見（58件）

- ・子育て応援券は意外と使いにくいので、違う形での支援がいい。
- ・子育て応援券があるとありがたい。中学生まで対象にしてほしい。

○給食費無償化に関するご意見（73件）

- ・給食費の無償化は助かる。継続してほしい。
- ・給食費の無償化は助かるが、先々、今の子供たちの負担が増えることにならないか心配でもある。長期的な見通しを含めて、わかりやすい説明をしてほしい。

○まちづくりに関するご意見（58件）

- ・通学路や遊びに行くときなど、道路が狭く危険な場所が多い。
- ・歩道のない道が多く、子どもたちの安全が守られている心配。

○遊び場所、放課後の居場所（過ごし方）等に関するご意見（54件）

- ・子どもが自由に使える体育館や運動場があるといい。
- ・雨や真夏でも遊べる屋内施設があるといい。
- ・図書館や児童館に自習スペースの設置や拡充してほしい。
- ・子どもの居場所を増やして、もっと地域で子育てができる環境になるといい。

第 4 章 調査票

杉並区子ども・子育て支援事業の利用状況等に関する調査

【就学前児用】

調査へのご協力をお願い

日頃より、杉並区の子育て支援施策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。さて、区では、国の子ども・子育て支援法に基づく「杉並区子ども・子育て支援事業計画」を策定し、幼稚園や保育施設のほか、乳幼児の一時預かりや学童クラブなど、地域のニーズに応じた総合的な子ども・子育て支援事業を実施しているところです。

この度、第三期となる同計画（令和7～11年度（2025～2030年度））の策定にあたり、改めて子育て世帯の皆さまのご意見をお伺いするため、「杉並区子ども・子育て支援事業の利用状況等に関する調査」を実施することといたしました。

調査票は、区内にお住まいの小学校就学前のお子さんを無作為に選び、その保護者の方にご記入いただくよう、お送りしています。なお、ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理し、回答者個人が特定されたり、個々の内容やプライバシーに関する内容を公表したりすること、他の目的に利用することは一切ありません。

お忙しい中ご負担をおかけいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年1月 杉並区

～ご回答にあたってのお願い～

- ◆この調査は、封筒の宛名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
- ◆特にことわり書きがない設問は、封筒の宛名のお子さんについてお答えください。また、親族の続柄の記載がある設問は、封筒の宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
- ◆調査票に同封した「『施設』『事業』のあらまし」に、施設や事業の説明が書かれていますので、調査回答の際にご参考ください。
- ◆ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストへご投函ください。（住所・氏名を記入する必要はありません。）
また、インターネットからも回答可能です。インターネットでの回答を希望する場合は、2ページに記載されている URL または二次元バーコードから回答画面にお進みください。
※回答は、紙の調査票かインターネットのどちらか一方でご回答ください。

回答期限：令和6年2月13日（火）

【問い合わせ先】

<調査の回答方法・ふりがなつきの調査票（ちょうさひょう）はこちらへ>

※この調査は杉並区が株式会社CCNグループに委託して実施しています。

株式会社CCNグループ 電話 03-6262-9714（平日9：30～18：15）

<調査の趣旨・ご意見等について>

杉並区子ども家庭部子ども政策担当課 電話 03-3312-2111（代表）（平日8：30～17：15）

記入例

- 1 選択肢に番号がある設問は、該当の番号に○印を付けてください。○印の数は「1 つに○を」「すべてに○を」と表示していますので、それに合わせてください。また、「その他」を選択された場合は、() 内にその内容をご記入ください。
- 2 □がある欄には、設問の答えとなる数字をご記入ください。なお、時間(時刻)を記入いただく欄は、24時間制(例：午後6時は18時)でご記入ください。

問1 アンケートの回答方法はわかりますか。(あてはまる番号1つに○)

1 わかる	② わからない
-------	---------

問1で、「2 わからない」に○をつけた方にうかがいます。

問1-2 わからない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

① ③	1 初めて回答するから	②	2 内容が難しいから
	③	3 その他(書き方がわからないから)	

問2 平日に就寝する時間をご記入ください。

23	時	30	分
----	---	----	---

インターネットの回答方法

- 1 URL または二次元バーコードから回答画面にお進みください。

<https://lgn.research-ccng.com/index.php/659974?lang=ja>



- 2 ログイン画面で以下の ID とパスワードを入力し、ログインをしてください。
※調査対象以外の方が誤って回答するのをふせぐため、ID等を付与しています。回答者と回答内容を紐づける用途には使いません。

ID :

パスワード :

こちらに ID と
パスワードを
それぞれ入力

杉並区子ども・子育て支援事業の利用状況等に関する調査
【就学前児用】

IDを入力してください

パスワードを入力してください

Login

お問合せ先

■アンケートの回答方法についてのお問い合わせ
株式会社C Nグループ
電話：03-6262-9714 (平日9:30~18:15)
※この調査は杉並区が株式会社C Nグループに委託して実施しています。

■調査の主催のお問い合わせ・ご意見等について
杉並区子ども家庭部子ども政策担当課
電話：03-3312-2111 (代表) (平日8:30~17:15)
調査期間：令和6年2月12日(火)まで

- 3 順番に回答をして下さい。
※選択肢の中から当てはまる項目の番号の選択・回答の入力をし、「次へ」をクリックしてください。
※すべての回答が終わりましたら回答確認の画面が表示されます。回答確認後に必ず「送信する」を押して回答を完了してください。
※回答は、紙の調査票かインターネットのどちらか一方でご回答ください。

はじめに封筒の宛名のお子さんご家族についてうかがいます

問1 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。

西暦	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月生まれ
----	----------------------	---	----------------------	------

問2 宛名のお子さんご家族について、当てはまる方すべてに○をつけてください。

ご家族とは、ふだんひとつの住居で生活している方を指します。

※宛名のお子さんの母親と父親とのご関係は、配偶関係、パートナー、内縁関係の方などを含みます。

※単身赴任・入院・入所の方を含め、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族に含めてください。

1 母親	2 父親
3 兄・姉 → () 人	4 弟・妹 → () 人
5 母方の祖母	6 母方の祖父
7 父方の祖母	8 父方の祖父
9 母親または父親の兄弟・姉妹 → () 人	10 その他 → () 人

※お子さんの兄弟・姉妹の人数には、宛名のお子さんを含みません。

問3 お住まいの町名をおうかがいします。当てはまるもの1つに○をつけ、該当する□内に丁目を数字で記入してください。

1 阿佐谷北 <input type="text"/> 丁目	2 阿佐谷南 <input type="text"/> 丁目	3 天 沼 <input type="text"/> 丁目
4 井 草 <input type="text"/> 丁目	5 和 泉 <input type="text"/> 丁目	6 今 川 <input type="text"/> 丁目
7 梅 里 <input type="text"/> 丁目	8 永 福 <input type="text"/> 丁目	9 大 宮 <input type="text"/> 丁目
10 荻 窪 <input type="text"/> 丁目	11 上 井 草 <input type="text"/> 丁目	12 上 荻 <input type="text"/> 丁目
13 上高井戸 <input type="text"/> 丁目	14 久 我 山 <input type="text"/> 丁目	15 高円寺北 <input type="text"/> 丁目
16 高円寺南 <input type="text"/> 丁目	17 清 水 <input type="text"/> 丁目	18 下 井 草 <input type="text"/> 丁目
19 下高井戸 <input type="text"/> 丁目	20 松 庵 <input type="text"/> 丁目	21 善福寺 <input type="text"/> 丁目
22 高井戸西 <input type="text"/> 丁目	23 高井戸東 <input type="text"/> 丁目	24 成 田 西 <input type="text"/> 丁目
25 成 田 東 <input type="text"/> 丁目	26 西 荻 北 <input type="text"/> 丁目	27 西 荻 南 <input type="text"/> 丁目
28 浜 田 山 <input type="text"/> 丁目	29 方 南 <input type="text"/> 丁目	30 堀ノ内 <input type="text"/> 丁目
31 本天沼 <input type="text"/> 丁目	32 松ノ木 <input type="text"/> 丁目	33 南荻窪 <input type="text"/> 丁目
34 宮 前 <input type="text"/> 丁目	35 桃 井 <input type="text"/> 丁目	36 和 田 <input type="text"/> 丁目

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 母親	2 父親	3 その他 ()
------	------	-----------

問5 宛名のお子さんの保護者の状況についてうかがいます。

「母親」「父親」について、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

母 親	父 親
1 一緒に住んでいる	1 一緒に住んでいる
2 単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる	2 単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる
3 別居している	3 別居している
4 死亡、離婚、未婚などでいない	4 死亡、離婚、未婚などでいない

子育ての環境についてうかがいます

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1 父母ともに | 2 主に母親 | 3 主に父親 |
| 4 主に祖父母 | 5 その他 () | |

問7 宛名のお子さんの子育てをする上で、心配や悩みがありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|----------------|
| 1 ある/あった | 2 ない/なかった ⇒問8へ |
|----------|----------------|

▶問7で、「1 ある/あった」に○をつけた方うかがいます。

問7-1 宛名のお子さんの子育てをする上での悩みなどについて、相談できる人はいましたか。または、相談できる場所がありましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 いた/あった ⇒問7-2へ | 2 いなかった/なかった ⇒問8へ |
|-----------------|-------------------|

問7-1で、「1 いた/あった」に○をつけた方にうかがいます。

問7-2 令和5年4月1日～12月31日の間に、お子さんの子育てに関して相談した先は誰（どこ）ですか。当てはまるものすべてに○をつけて、[]内に相談した内容を下の表から選んで、番号（複数可）を記入してください。

相談した相手（相談先に○）	相談した内容（番号を記載）
1 配偶者	[]
2 祖父母等の親族	[]
3 友人・子育て仲間	[]
4 職場の同僚・上司	[]
5 近所の人	[]
6 保育園の先生	[]
7 幼稚園・子供園の先生	[]
8 児童館の職員	[]
9 学童クラブの職員	[]
10 民生・児童委員	[]
11 保健所・保健センターの職員	[]
12 子どもセンターの職員	[]
13 子ども・子育てプラザの職員	[]
14 子ども家庭支援センターの職員	[]
15 かかりつけの医師	[]
16 地域の乳幼児の交流の場（つどいの広場など）の職員	[]
17 塾や習い事の先生	[]
18 区や東京都などの公的相談機関 （電話相談・メール相談を含む）	[]
19 民間の相談機関 （電話相談・メール相談を含む）	[]
20 その他（ ）	[]

【相談した内容】

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1 子どもの健康や発育成長のこと | 2 子どもの栄養や生活習慣のこと |
| 3 子どものしつけや接し方のこと | 4 遊ばせ方や友達のこと |
| 5 子どもの病気や障害のこと | 6 子どもの進学や将来のこと |
| 7 子育てを助けてくれる人がいないこと | 8 相談できる人がいない、相談先が分からないこと |
| 9 子育てに自信が持てないこと | 10 子どもにイライラしたり子育てを負担に感じる |
| 11 養育費や教育費など経済的なこと | 12 仕事との両立が負担に感じる |
| 13 家事や介護などの両立が負担に感じる | 14 地域や社会から孤立していると感じる |
| 15 回答者自身や家族の健康に関する | 16 配偶者や親族などの人間関係のこと |
| 17 子どもの親同士の間人間関係のこと | 18 その他（ ） |

保護者の就労状況についてうかがいます

宛名のお子さんの保護者の現在の就労（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。ひとり親家庭の場合は、該当する保護者の欄にご記入ください。

ここで言う「フルタイム」とは1週間に5日・1日8時間程度の仕事をさします。
「パート・アルバイト等」とはフルタイム以外の就労をさします。

問8 「母親」「父親」それぞれの就労状況について、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

就労状況	母親	父親
(1)フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
(2)フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	2	2
(3)パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
(4)パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	4	4
(5)就労していないまたは求職中である	5	5

問8の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にかがいます。

問8-1 1週あたりの就労日数・就労時間（残業時間を含む）などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
時間は(例)8～18時のように24時間制でご記入ください。

就労状況	母親	父親
平均的な仕事の 日数、時間	1週当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 日 1日当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時間 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分	1週当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 日 1日当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時間 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分
就労している曜日に ○をつけてください	月 火 水 木 金 土 日 不定期	月 火 水 木 金 土 日 不定期
出勤・帰宅の時刻	出勤時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分 帰宅時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分	出勤時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分 帰宅時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分
在宅勤務の方は 仕事開始・終了時刻	仕事開始 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分 終了 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分	仕事開始 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分 終了 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分

宛名のお子さんの保育園・幼稚園等の利用状況についてうかがいます

問9 宛名のお子さんは現在、保育園や幼稚園など問9-1に示した施設・事業を、定期的に利用されていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

※「定期的」とは、月単位で継続して利用されている場合をさします。

1 利用している ⇒問9-1、2、3へ

2 利用していない ⇒問9-4へ

→問9で、「1 利用している」に○をつけた方うかがいます。

問9-1 宛名のお子さんは、どのような施設・事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業すべてに○をつけてください。19は施設の名称等もお書きください。

※施設・事業の詳しい説明は、同封の「『施設』『事業』のあらまし」をご覧ください。

- 1 認可保育所
- 2 小規模保育事業所
- 3 家庭的保育事業所
- 4 事業所内保育事業所
- 5 居宅訪問型保育事業
- 6 認証保育所
- 7 杉並区保育室
- 8 グループ保育室
- 9 家庭福祉員（保育ママ）、家庭福祉グループ
- 10 企業主導型保育事業
- 11 ベビーシッター
- 12 その他の認可外の保育施設（ベビーホテル等）
- 13 ファミリー・サポート・センター
- 14 幼稚園
- 15 幼稚園の長時間預かり保育（教育時間を含め8時間以上の預かり）
- 16 区立子供園（短時間保育）
- 17 区立子供園（長時間保育）
- 18 認定こども園
- 19 その他（ ）

→問9で、「1 利用している」に○をつけた方うかがいます。

問9-2 問9-1で○をつけた施設・事業について、どのくらい利用していますか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□に数字（24時間制）でご記入ください。複数の施設・事業を利用している場合は、それらを合計した時間をご記入ください。

1週当たり 日 1日当たり 時間（ 時～ 時）

問9で、「1 利用している」に○をつけた方にかかいます。

問9-3 延長保育を利用していますか。当てはまるものに○をつけてください。月極めの場合は□内に1か月当たり何日利用するか記入してください。

1 利用している	(月極め	1か月当たり	<input type="text"/>	日)
2 利用している	(不定期)			
3 利用していない				

問9で、「2 利用していない」に○をつけた方にかかいます。

問9-4 利用していない理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1 母親または父親がみている
2 子どもの祖父母や親族の人がみている
3 近所の人や父母の友人・知人がみている
4 利用したいが、施設や事業に空きがない
5 利用したいが、経済的な理由で施設・事業を利用できない
6 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる施設・事業がない
8 利用したいが、子ども本人の病気や障害のため利用できない
9 利用したいが、利用資格がない(就労していないなど)
10 その他 ()

宛名のお子さんの一時預かり等の利用についてうかがいます

問10 宛名のお子さんについて、保護者の用事(買い物、リフレッシュ等)、通院、不定期の就労、兄弟姉妹の用事等の目的で、不定期に利用している預かり事業はありますか。ある場合は、当てはまるものすべてに○をつけ、令和5年4月1日~12月31日の間に利用したおおよその日数を□内に数字でご記入ください。

不定期に利用している預かり事業	日数
1 保育園の一時保育やひととき保育、子ども・子育てプラザの一時預かり	<input type="text"/> 日
2 幼稚園・子供園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業で長時間預かり保育の定期利用を除くもの)	<input type="text"/> 日
3 区立保育園の緊急一時保育(保護者の病気や出産などで一時的に預かる制度)	<input type="text"/> 日
4 ファミリー・サポート・センター	<input type="text"/> 日
5 ベビーシッター	<input type="text"/> 日
6 その他 ()	<input type="text"/> 日
7 利用していない ⇒問10-3へ	

問10で、1～6までのいずれかに○をつけた方にかがいます。

問10-1 利用する際の理由で当てはまる番号にすべてに○をつけ、令和5年4月1日～12月31日の間のおおよその利用日数をご記入ください。

利用する際の理由	日数
1 用事（買物、習い事等）、リフレッシュ目的	<input type="text"/> 日
2 冠婚葬祭、学校行事、一時的な通院等	<input type="text"/> 日
3 定期的な通院や療育など	<input type="text"/> 日
4 不定期の就労	<input type="text"/> 日
5 保護者が出産または病気で入院した	<input type="text"/> 日
6 親族が入院したため、保護者が看護にあたった	<input type="text"/> 日
7 幼稚園・子供園の長期休暇期間中	<input type="text"/> 日
8 その他（ ）	<input type="text"/> 日

問10-1で1～3までのいずれかに○をつけた方にかがいます。

問10-2 利用した施設・事業の実施場所（町名）すべてに○をつけてください。

1 阿佐谷北	2 阿佐谷南	3 天 沼
4 井 草	5 和 泉	6 今 川
7 梅 里	8 永 福	9 大 宮
10 荻 窪	11 上井草	12 上 荻
13 上高井戸	14 久我山	15 高円寺北
16 高円寺南	17 清 水	18 下井草
19 下高井戸	20 松 庵	21 善福寺
22 高井戸西	23 高井戸東	24 成田西
25 成田東	26 西荻北	27 西荻南
28 浜田山	29 方 南	30 堀ノ内
31 本天沼	32 松ノ木	33 南荻窪
34 宮 前	35 桃 井	36 和 田
37 杉並区以外		

問10で「7 利用していない」に○をつけた方にかがいます。

問10-3 利用していない理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1 利用する必要がない
2 利用したいが、施設や事業に空きがない
3 利用したいが、経済的な理由で施設・事業を利用できない
4 利用したいが、夜間等の時間帯や休日などの条件が合わない
5 利用したいが、近くに利用できる施設・事業がない
6 利用したいが、子ども本人の病気や障害のため利用できない
7 その他 () |
|---|

問11 令和5年4月1日～12月31日の間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）等により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|--------------|
| 1 あった | 2 なかった ⇒問12へ |
|-------|--------------|

▶ 問11で、「1 あった」に○をつけた方にかがいます。

問11-1 その際にとった行動として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数も□内に数字でご記入ください。

行 動	日 数
1 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> 泊
2 ショートステイ（宿泊を伴う預かり事業）を利用した	<input type="text"/> 泊
3 ベビーホテル（託児施設）、ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> 泊
4 やむをえず子どもを同行させた	<input type="text"/> 泊
5 やむをえず子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 泊
6 その他 ()	<input type="text"/> 泊

▶ 問11で、「1 あった」に○をつけた方にかがいます。

問11-2 泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない理由についてうかがいます。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 育児疲れ | 2 冠婚葬祭 |
| 3 保護者の病気・入院 | 4 家族の看護・入院 |
| 5 家族の介護 | 6 その他 () |

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます
(定期的に保育園・幼稚園等を利用する方のみ)

問9で、「利用している」に○をつけた方(定期的に施設・事業を利用していると答えた方)にうかがいます。利用していらない方は、問13へお進みください。

問12 令和5年4月1日～12月31日の間で、宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している施設・事業が利用できなかったことはありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 あった

2 なかった ⇒問13へ

▶問12で、「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。

問12-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している施設・事業が利用できなかった場合に、とった行動として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数も□内に数字でご記入ください(1日未満の対応の場合も1日とカウントしてください)。

対処方法	日数
1 父親が仕事を休んだ	□ □ 日
2 母親が仕事を休んだ	□ □ 日
3 父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た	□ □ 日
4 (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□ □ 日
5 病児・病後児の保育を利用した	□ □ 日
6 ベビーシッターを利用した	□ □ 日
7 ファミリー・サポート・センターを利用した	□ □ 日
8 やむをえず子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日
9 その他 ()	□ □ 日

▶問12-1で、「5」以外のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問12-2 お子さんが病気やけがで普段利用している施設・事業が利用できなかった際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

(病児・病後児保育とは、一時的な病気等で通常の施設等が利用できない場合に、お子さんを預かる事業です。事前に登録が必要で、当日医師が利用の判断をします。1日2,500円かかります。)

1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った ⇒問13へ

2 利用したいとは思わなかった ⇒問12-3へ

問12-2で、「2 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にかかいます。

問12-3 そう思われる理由について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 親が仕事を休んで看護するから
- 2 親族等が代わりに看護するから
- 3 近所がないから
- 4 開室時間・開室曜日があわないから
- 5 利用料がかかる・高いから
- 6 病気の子を他人にみてもらうのは不安だから
- 7 その他 ()

宛名のお子さんのこども誰でも通園制度（仮称）の利用希望についてうかがいます

問13 こども誰でも通園制度(仮称)*を利用したいと思われませんか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

※「こども誰でも通園制度(仮称)」は、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に保育所等を利用できる制度となる予定です。

令和6年度は、月10時間の利用を上限に、0歳6か月から満3歳未満までの未就園児が利用対象です。なお、「未就園児」とは、認可保育所、小規模保育事業所、家庭的保育事業所、事業所内保育事業所、居宅訪問型保育事業、企業主導型保育事業所、幼稚園、認定こども園に通っていないお子さんです。

- 1 利用したいと思う ⇒問 13-1 へ
- 2 利用したいと思わない ⇒問 13-2 へ
- 3 対象にならない（お子さんが3歳以上またはすでに保育所等を利用している）⇒問 14 へ

▶ 問13で、「1 利用したいと思う」に○をつけた方にかかいます。

問13-1 そう思われる理由について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 子どもに家族以外の人と関わる機会を持たせたいから
- 2 子どもに家庭とは異なる経験をさせたいから
- 3 子育てに関する相談を保育士等にしたいから
- 4 年齢の近い子どもを育てる保護者との関わりを持ちたいから
- 5 子どもを定期的に預けることで育児負担を軽減したいから
- 6 その他 ()

問13で、「2 利用したいと思わない」に○をつけた方にかがいます。

問13-2 そう思われる理由について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 家庭での子育てを重視したいから
- 2 利用時間が月10時間以内では利用しづらいから
- 3 慣れない環境で過ごす子どもの負担が心配だから
- 4 利用料がかかるから
- 5 一時保育（預かり）で十分と感じているから
- 6 その他（)

宛名のお子さんの地域での親子の集まりの利用状況についてうかがいます

問14 宛名のお子さんは、現在、親子が集まって過ごす、以下の施設・事業を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

※施設・事業の詳しい説明は、同封の「『施設』『事業』のあらまし」をご覧ください。

- 1 つどいの広場
└───▶ 1週当たり 回程度 もしくは 1か月当たり 回程度
- 2 児童館のゆうキッズ
└───▶ 1週当たり 回程度 もしくは 1か月当たり 回程度
- 3 子ども・子育てプラザ
└───▶ 1週当たり 回程度 もしくは 1か月当たり 回程度
- 4 きずなサロン
└───▶ 1週当たり 回程度 もしくは 1か月当たり 回程度
- 5 その他の親子の集まりの場（具体名：）
└───▶ 1週当たり 回程度 もしくは 1か月当たり 回程度
- 6 利用していない

▶ 問14で、「1～5」に○をつけた方にかがいます。

問14-1 問14で回答した施設・事業を利用した際に、それらを利用する上で大事だと思った点はどのようなことですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 自宅に近い
- 2 子どもを遊ばせるプログラムがある
- 3 保護者も楽しめるプログラムがある
- 4 知り合いがいる
- 5 利用者同士がゆったり話したり過ごすことができる
- 6 子育ての情報がたくさんある
- 7 保育士・保健師・助産師などによる専門的な相談ができる
- 8 気軽に育児の相談ができる
- 9 料金が安い
- 10 子育て応援券が使える
- 11 その他（)

杉並区の子育て支援等についてうかがいます

問15 杉並区は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 子育てしやすいまちだと思う
- 2 どちらかという子育てしやすいまちだと思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかという子育てしやすいまちだと思わない
- 5 子育てしやすいまちだと思わない

問16 今後も、杉並区で子育てをしていきたいと思いませんか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 ずっと杉並区で子育てをしていきたい
- 2 当分の間は杉並区で子育てをしていきたい
- 3 できれば杉並区以外の区市町村で子育てをしたい
- 4 近いうちに転出するつもりである
- 5 その他 ()

問17 すべての方に伺います。最後に、杉並区の子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上で終わりです。調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、令和6年2月13日（火）までにご投函ください。

※令和6年2月15日（木）到着分までが、集計結果に反映されます

子ども・子育て支援事業の利用状況等に関する調査票に記載されている「施設」「事業」のあらまし

「杉並区子ども・子育て支援事業の利用状況等に関する調査」の調査票に書かれている施設・事業の概要は以下のとおりです。回答の参考にしてください。

- ・利用時間や料金等は令和5年10月1日現在のものです。
- ・利用料金については一部の事業を除き、補助や免除の制度（適用には一定の条件あり）があります。
- ・対象年齢は、該年度の4月1日時点の年齢です。

【索引】

読み	施設・事業	No.	読み	施設・事業	No.
い	一時預かり（子ども・子育てプラザ内）	17	し	ショートステイ	20
	一時保育	15	ず	杉並区保育室	7
え	延長保育	14	そ	その他の認可外保育施設（ベビーホテル等）	12
か	学童クラブ	31	つ	つどいの広場	27
	家庭的保育事業所	3	に	認可保育所	1
	家庭福祉員（保育ママ）、家庭福祉員グループ	9		認証保育所	6
き	企業主導型保育事業	10		認定こども園	25
	きずなサロン	30	ひ	ひととき保育	16
	居宅訪問型保育事業	5		病児・病後児保育事業	18
	緊急一時保育	19	ふ	ファミリー・サポート・センター	13
く	区立子供園（短時間保育）	23	へ	ベビーシッター	11
	区立子供園（長時間保育）	24	ほ	保健所・保健センター	35
	グループ保育室	8		放課後等居場所事業	33
こ	子ども家庭支援センター	34	み	民生・児童委員	37
	子ども・子育てプラザ	29	ゆ	ゆうキッズ	28
	子どもセンター	36	よ	幼稚園	21
し	事業所内保育事業所	4		幼稚園・子供園の預かり保育	26
	児童館	32		幼稚園の長時間預かり保育	22
	小規模保育事業所	2			

【保育施設・保育事業等】

保育施設は、保護者が仕事や病気などで子どもの保育ができない、0歳から小学校就学前までのお子さんが対象です。施設によってお預かりできる年齢が異なります。それぞれの施設のあらましは以下のとおりで、保育料・利用料は1か月あたりの料金です。

No.	施設・事業	内容	対象	利用時間帯等	保育料・利用料
1	認可保育所	国の基準を満たした保育施設で、区立保育園と私立保育所があります。	0～5歳、1～5歳、0～2歳を預かる園などがあります。	区立は7時30分～18時30分で、理由に応じて19時30分まで延長できます。私立はそれぞれの施設により異なります。	0円～68,500円の範囲で、子どもの年齢、親の収入などにより異なります。
2	小規模保育事業所	杉並区の基準を満たした保育施設で、6～19人の定員で保育をする施設です。	0歳～2歳	施設により異なります。	0円～68,500円の範囲で、子どもの年齢、親の収入などにより異なります。
3	家庭的保育事業所	杉並区の基準を満たした保育施設で、5人までの定員で保育をする施設です。	0歳～2歳	施設により異なります。	0円～68,500円の範囲で、子どもの年齢、親の収入などにより異なります。
4	事業所内保育事業所	従業員の子どもの保育するとともに、地域の保育が必要な子どもを保育する施設です。	0歳～2歳	7時30分～18時30分	0円～68,500円の範囲で、子どもの年齢、親の収入などにより異なります。
5	居宅訪問型保育事業	国の基準を満たした訪問型保育（ベビーシッター）事業です。	0歳から小学校入学前（ただし、認可保育所へ転園ができるまで）	事業者により異なります。	0円～68,500円の範囲で、子どもの年齢、親の収入などにより異なります。
6	認可外保育事業 認証保育所	都の基準を満たした保育施設で、13時間以上（例：7時30分～20時30分）開所している施設です。	0歳から小学校入学前まで預かる園と、0歳から2歳まで預かる園があります。	施設により異なります。	施設により異なります。
7	杉並区保育室	杉並区が独自に整備した保育施設で、30～70人の定員で保育をする施設です。	施設によりお預かりするお子さんの年齢が異なります。	7時30分～18時30分	7,000円～54,000円の範囲で、子どもの年齢、保育時間、親の収入などにより異なります。

No.	施設・事業	内容	対象	利用時間帯等	保育料・利用料
8	グループ保育室	保育士・教員などの資格を有する区民のグループに委託している、杉並区独自の保育施設で、21人の定員で保育をする施設です。	0歳～3歳未満	7時30分～18時30分	45,000円～54,000円の範囲で、保育時間により異なります。
9	認可外保育事業 家庭福祉員(保育ママ)、 家庭福祉員グループ	一定の資格を持ち、区長の認定を受けた家庭福祉員が、自宅等で家庭的に保育します。一人の家庭福祉員が3～5人預かります。また、複数の家庭福祉員がグループで6人預かることもあります。	0歳～3歳未満	原則として、8時30分～17時	月～金曜日で21,000円です。
10	企業主導型保育事業	従業員の子どもの保育するとともに、地域の子どもの保育することもできる事業です。保育時間や利用料や対象者などはそれぞれの施設で異なります。			
11	ベビーシッター	民間の事業所が、保育者を子どもの自宅に派遣して預かる事業です。対象者や利用料は事業者により異なります。			
12	その他の認可外保育施設 (ベビーホテル等)	民間の事業者が独自に設置する保育施設で、保育時間や利用料、対象者などはそれぞれの施設で異なります。			
13	ファミリー・サポート・センター	区が社会福祉協議会に委託している事業で、研修を受けた区民(協会員)が子どもの一時預かりや送迎などを行います。事前に登録が必要です。	おおむね10歳まで	6時～22時	9時～20時までは、1時間800円。6時～9時と20時～22時は1,000円。
14	延長保育	認可保育園等で行っている、通常の保育時間の終了後に、延長保育を行う事業です。	認可保育園在園児	利用時間は園によって異なります。	利用料は園によって異なります。
15	一時保育	区の子育てサポートセンターや一部の認可保育所(私立園)で、一時的に子どもを預かる事業です。保護者の私用など理由を問わず、子育てサポートセンターでは1時間単位で預かります。	生後6か月から就学前まで	月～土曜日 9時～17時	子育てサポートセンターの利用料は1時間500円。給食200円。それ以外は施設により料金が異なります。
16	ひととき保育	地域のNPOや民間事業者が行っている、一時的に子どもを預かる事業です。保護者の私用など理由を問わず、1時間単位で預かります。	生後6か月(一部3か月)から就学前まで	利用時間は、施設によって異なります。	1時間800円(一部600円)。食費が別途かかる場合があります。
17	一時預かり (子ども・子育てプラザ内)	区立子ども・子育てプラザ内で、一時的に子どもを預かる事業です。保護者の私用など理由を問わず、1時間単位で預かります。	生後6か月から就学前まで	月～金曜日 9時～17時、土曜日 9時～16時(但し施設の休館日を除く)	1時間800円(食事が必要な場合は、利用者が用意します。)
18	病児・病後児保育事業	保護者の就労等で保育施設等に通園している子どもが病気で登園できない場合に一時的に病児保育室で預かります。	生後5か月から就学前まで	施設により異なります。	1日2,500円
19	緊急一時保育	保護者が病気や出産などで子どもの世話ができなくなったとき、区立の保育園で、保護者に代わり、一時的に預かる事業です。	生後4か月から就学前まで	月～土曜日 8時30分～17時 保育期間は、最長1か月	1日1,300円 ただし、延長して預けた場合には、1時間につき400円加算されます。 保育料の中に給食費も含まれます。
20	ショートステイ	保護者が病気、出産などで一時的に子どもを養育できない時に、区内の施設で宿泊して子どもを預かる事業です。	0歳～12歳まで		・2歳未満 1泊2日5,000円 (1日増えるごとに2,500円) ・2歳以上 1泊2日4,300円 (1日増えるごとに2,150円)

【幼稚園・区立子供園・認定こども園】

満3歳から小学校就学前までのお子さんを対象に、幼児教育を行う施設です。（施設によって対象年齢が異なります。）

No.	施設・事業	内容	利用時間帯等	保育料・利用料
21	幼稚園	小学校就学前の教育施設で、区内には私立幼稚園が39園あります。定員や保育料等は園により異なります。	利用時間は園によって異なります。	保育料等は園により異なります。
22	幼稚園の長時間預かり保育	幼稚園が、在園児を対象に、通常の教育時間の前後を含め、8時間以上の預かりを継続的に実施する事業です。	利用時間は園によって異なります。	利用料は園によって異なります。
23	区立子供園（短時間保育）	保護者の就労形態に関わらず幼児を受け入れ、教育と保育を一体的に提供する、杉並区独自の幼保一体化施設で、区内に6園あります。また、在園児を対象に一時保育を行っています。	平日（月～金曜日） 9時～14時	保育料は保護者の所得に応じた応能負担による金額となります。一時保育は1時間当たり500円
24	区立子供園（長時間保育）		平日（月～金曜日） 7時30分～18時30分	
25	認定こども園	東京都から認定こども園として認定を受け、小学校就学前の幼児を対象に教育と保育を一体的に行う施設です。	利用時間は園によって異なります。	利用料等は施設により異なります。
26	幼稚園・子供園の預かり保育	幼稚園・子供園が、在園児を対象に、通常の教育時間の前後や夏休み等の長期休暇中に、お子さんを一時的に預かり保育する事業です。※「幼稚園の長時間預かり保育」は除きます。	利用時間は園によって異なります。	利用料は園によって異なります。

【乳幼児親子の集まりの場】

No.	施設・事業	内容	利用時間帯等	保育料・利用料
27	つどいの広場	NPO法人等が運営する乳幼児親子がつどい、交流する場で、区内に3か所あります。	利用時間は施設によって異なります。	利用料は、1回100円
28	ゆうキッズ	区立の児童館で実施する乳幼児親子の集まりの場です。	実施時間は施設によって異なります。	無料です（材料費等がかかる場合があります）
29	子ども・子育てプラザ	乳幼児親子がいつでも気軽に利用することができる施設で、親子で遊んだり、くつろいだりすることができます。子育てに関する講座やイベントなどの実施、子育て支援サービスの利用相談、一時預かり事業なども行っています。	平日（月～金曜日） 9時～18時 土曜日・日曜日 9時～17時 休業日：毎月第1日曜日、祝日、年末年始（12月29日から1月3日）	無料です。（一時預かりは、有料 ※No.17を参照してください。）
30	きずなサロン	社会福祉協議会に登録して、地域の方々の交流のために自宅や施設などの場を提供する事業です。利用料は1回100～200円程度です。		

【小学生のお子さんが放課後利用できる施設、事業】

(料金の記載のない事業は原則無料ですが、保険料・材料費等がかかる場合があります)

No.	施設・事業	内容	利用時間帯等	保育料・利用料
31	学童クラブ	保護者が就労で昼間留守等になる子どもの放課後における生活の場です。区立学童クラブは区内に51か所あり、子どもが安心して楽しく過ごせるよう、遊びや集団活動を中心にした運営を行っています。	小学1年生～6年生まで	<ul style="list-style-type: none"> 平日(月～金曜日) 放課後(学校休業日は8時)～18時(延長利用は19時まで) 土曜日 8時30分～17時 利用料 月額4,000円 延長利用料 月額1,000円 スポット延長利用料 1回500円 おやつ代 月額1,800円
32	児童館	0歳から18歳未満の子どもが、いつでも気軽に遊ぶことができる児童福祉施設です。区内に26の児童館があり、子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、遊びや自主活動などを支援しています。	0歳～18歳未満	<ul style="list-style-type: none"> 平日(月～金曜日) 10時～18時 土曜日・日曜日 9時～17時 休館日：毎月第2土曜日、年末年始(12月28日～1月4日)、祝日
33	放課後等居場所事業	小学校施設を活用した小学生の放課後等の居場所づくりを行う事業で、現在15校で実施しています。保護者や地域住民等と連携・協力しながら、遊びや学習、スポーツ、文化・創作活動、交流活動などの取組を行います。	小学1年生～6年生まで	<ul style="list-style-type: none"> 平日(月～金曜日) 放課後(学校休業日は10時)～18時 土曜日 放課後(学校休業日は9時)～17時

【その他、子育てに関する相談事業等】

No.	施設・事業	内容	利用時間帯等	保育料・利用料
34	子ども家庭支援センター	子どもと家庭の総合相談窓口として、電話または来所による相談や、育児支援等の子育て支援サービスを行っています。また、児童虐待に関する相談にも対応しています。	8時30分～17時 ゆうライン電話相談 8時30分～20時	日曜日、祝日、年末年始(12月29日から1月3日)
35	保健所・保健センター	妊産婦や乳幼児、子育て中の家庭を対象に、安心して出産・子育てができるよう、保健師等の専門職が訪問や来所、電話等で身体やこころの相談を行っています。すべての妊婦を対象に、家庭の状況に応じたサービスの活用方法等を一緒に考えるゆりかご面接や、母親学級・パパママ学級の開催、すこやか赤ちゃん訪問、そのほか乳幼児健康診査や発育発達の相談、栄養士や歯科衛生士による相談等、妊娠期から切れ目のない支援を行っています。	8時30分～17時	土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日から1月3日)
36	子どもセンター	区内に5か所ある保健センター内や近隣に設置した、子育て支援サービスの利用相談・情報提供や保育施設の利用相談等を行う「身近な地域の子育て支援相談窓口」です。各家庭のニーズに応じて「どのようなサービスがあるか」「どう利用すればよいか」等、きめ細やかにサポートします。	8時30分～17時	土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日から1月3日)
37	民生・児童委員	厚生労働大臣により委嘱された特別職(非常勤)の地方公務員です。「民生委員法」及び「児童福祉法」に定められ、地域にお住まいの方々が民生委員・児童委員として推薦されています。地域の中で住民の立場に立った社会福祉活動を行っています。また、民生委員・児童委員の中から児童福祉に関することを専門に活動する主任児童委員が指名されています。		

※子ども・子育てプラザ(No.29)でも、子育て支援サービスの利用相談を行っています。

杉並区子ども・子育て支援事業の利用状況等に関する調査

【小学生用】

調査へのご協力をお願い

日頃より、杉並区の子育て支援施策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、区では、国の子ども・子育て支援法に基づく「杉並区子ども・子育て支援事業計画」を策定し、幼稚園や保育施設のほか、乳幼児の一時預かりや学童クラブなど、地域のニーズに応じた総合的な子ども・子育て支援事業を実施しているところです。

この度、第三期となる同計画（令和7～11年度（2025～2030年度））の策定にあたり、改めて子育て世帯の皆さまのご意見をお伺いするため、「杉並区子ども・子育て支援事業の利用状況等に関する調査」を実施することといたしました。

調査票は、区内にお住まいの小学生のお子さんを無作為に選び、その保護者の方にご記入いただくよう、お送りしています。なお、ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理し、回答者個人が特定されたり、個々の内容やプライバシーに関する内容を公表したりすること、他の目的に利用することは一切ありません。

お忙しい中ご負担をおかけいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年1月 杉並区

～ご回答にあたってのお願い～

- ◆この調査は、封筒の宛名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
- ◆特にことわり書きがない設問は、封筒の宛名のお子さんについてお答えください。また、親族の続柄の記載がある設問は、封筒の宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
- ◆調査票の巻末の「『施設』『事業』のあらまし」に、施設や事業の説明が書かれていますので、調査回答の際にご参考ください。
- ◆ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストへご投函ください。（住所・氏名を記入する必要はありません。）
また、インターネットからも回答可能です。インターネットでの回答を希望する場合は、2ページに記載されているURLまたは二次元バーコードから回答画面にお進みください。
※回答は、紙の調査票かインターネットのどちらか一方でご回答ください。

回答期限：令和6年2月13日（火）

【問い合わせ先】

＜調査の回答方法・ふりがなつきの調査票（ちょうさひょう）はこちらへ＞

※この調査は杉並区が株式会社CCNグループに委託して実施しています。

株式会社CCNグループ 電話 03-6262-9714（平日9：30～18：15）

＜調査の趣旨・ご意見等について＞

杉並区子ども家庭部子ども政策担当課 電話 03-3312-2111（代表）（平日8：30～17：15）

記入例

- 3 選択肢に番号がある設問は、該当の番号に○印を付けてください。○印の数は「1つに○を」「すべてに○を」と表示していますので、それに合わせてください。また、「その他」を選択された場合は、() 内にその内容をご記入ください。
- 4 □がある欄には、設問の答えとなる数字をご記入ください。なお、時間（時刻）を記入いただく欄は、24時間制（例：午後6時は18時）でご記入ください。

問1 アンケートの回答方法はわかりますか。（あてはまる番号1つに○）

1 わかる

2 わからない

問1で、「2 わからない」に○をつけた方にうかがいます。

問1-2 わからない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1 初めて回答するから

2 内容が難しいから

3 その他（書き方がわからないから）

問2 平日に就寝する時間をご記入ください。

時

分

インターネットの回答方法

- 1 URL または二次元バーコードから回答画面にお進みください。

<https://lgn.research-ccng.com/index.php/685173?lang=ja>



- 2 ログイン画面で以下の ID とパスワードを入力し、ログインをしてください。
※調査対象以外の方が誤って回答するのをふせぐため、ID 等を付与しています。回答者と回答内容を紐づける用途には使いません。

ID :

パスワード :



杉並区子ども・子育て支援事業の利用状況等に関する調査
【小学生用】

IDを入力してください

パスワードを入力してください

Login

お問合せ先

- アンケートの回答方法についてのお問い合わせ
株式会社CCNグループ
電話：03-6262-9714（平日9：30～18：15）
※この調査は杉並区が株式会社CCNグループに委託して実施しています。
- 調査の主旨のお問い合わせ・ご意見等について
杉並区子ども家庭部子ども政策担当課
電話：03-3312-2111（代表）（平日8：30～17：15）

回答期限：令和6年2月13日（火）まで

こちらに
ID とパスワードを
それぞれ入力

- 3 順番に回答をして下さい。
※選択肢の中から当てはまる項目の番号の選択・回答の入力をし、「次へ」をクリックしてください。
※すべての回答が終わりましたら回答確認の画面が表示されます。回答確認後に必ず「送信する」を押して回答を完了してください。
※回答は、紙の調査票かインターネットのどちらか一方でご回答ください。

はじめに封筒の宛名のお子さんをご家族についてうかがいます

問1 宛名のお子さんの生年月、学年をご記入ください。

平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月生まれ	小学	<input type="text"/>	年生
----	----------------------	---	----------------------	------	----	----------------------	----

問2 宛名のお子さんのご家族について、当てはまる方すべてに○をつけてください。

ご家族とは、ふだんひとつの住居で生活している方を指します。

※宛名のお子さんの母親と父親とのご関係は、配偶関係、パートナー、内縁関係の方などを含みます。

※単身赴任・入院・入所の方を含め、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族に含めてください。

1 母親	2 父親
3 兄・姉 → () 人	4 弟・妹 → () 人
5 母方の祖母	6 母方の祖父
7 父方の祖母	8 父方の祖父
9 母親または父親の兄弟・姉妹 → () 人	10 その他 → () 人

※お子さんの兄弟・姉妹の人数には、宛名のお子さんを含まません。

問3 お住まいの町名をおうかがいします。当てはまるもの1つに○をつけ、該当する口内に丁目を数字で記入してください。

1 阿佐谷北 <input type="text"/> 丁目	2 阿佐谷南 <input type="text"/> 丁目	3 天沼 <input type="text"/> 丁目
4 井草 <input type="text"/> 丁目	5 和泉 <input type="text"/> 丁目	6 今川 <input type="text"/> 丁目
7 梅里 <input type="text"/> 丁目	8 永福 <input type="text"/> 丁目	9 大宮 <input type="text"/> 丁目
10 荻窪 <input type="text"/> 丁目	11 上井草 <input type="text"/> 丁目	12 上荻 <input type="text"/> 丁目
13 上高井戸 <input type="text"/> 丁目	14 久我山 <input type="text"/> 丁目	15 高円寺北 <input type="text"/> 丁目
16 高円寺南 <input type="text"/> 丁目	17 清水 <input type="text"/> 丁目	18 下井草 <input type="text"/> 丁目
19 下高井戸 <input type="text"/> 丁目	20 松庵 <input type="text"/> 丁目	21 善福寺 <input type="text"/> 丁目
22 高井戸西 <input type="text"/> 丁目	23 高井戸東 <input type="text"/> 丁目	24 成田西 <input type="text"/> 丁目
25 成田東 <input type="text"/> 丁目	26 西荻北 <input type="text"/> 丁目	27 西荻南 <input type="text"/> 丁目
28 浜田山 <input type="text"/> 丁目	29 方南 <input type="text"/> 丁目	30 堀ノ内 <input type="text"/> 丁目
31 本天沼 <input type="text"/> 丁目	32 松ノ木 <input type="text"/> 丁目	33 南荻窪 <input type="text"/> 丁目
34 宮前 <input type="text"/> 丁目	35 桃井 <input type="text"/> 丁目	36 和田 <input type="text"/> 丁目

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 母親	2 父親	3 その他 ()
------	------	-----------

問5 宛名のお子さんの保護者の状況についてうかがいます。

「母親」「父親」について、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

母 親	父 親
1 一緒に住んでいる	1 一緒に住んでいる
2 単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる	2 単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる
3 別居している	3 別居している
4 死亡、離婚、未婚などでいない	4 死亡、離婚、未婚などでいない

子育ての環境についてうかがいます

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1 父母ともに | 2 主に母親 | 3 主に父親 |
| 4 主に祖父母 | 5 その他 () | |

問7 宛名のお子さんの子育てをする上で、心配や悩みがありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|----------------|
| 1 ある/あった | 2 ない/なかった ⇒問8へ |
|----------|----------------|

問7で、「1 ある/あった」に○をつけた方にうかがいます。

問7-1 宛名のお子さんの子育てをする上での悩みなどについて、相談できる人はいましたか。または、相談できる場所がありましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 いた/あった ⇒問7-2へ | 2 いなかった/なかった ⇒問8へ |
|-----------------|-------------------|

問7-1で、「1 いた/あった」に○をつけた方にかがいます。

問7-2 令和5年4月1日～12月31日の間に、お子さんの子育てに関して相談した先は誰（どこ）ですか。当てはまるものすべてに○をつけて、[]内に相談した内容を次のページの表から選んで、番号（複数可）を記入してください。

相談した相手（相談先に○）	相談した内容（番号を記載）
1 配偶者	[]
2 祖父母等の親族	[]
3 友人・子育て仲間	[]
4 職場の同僚・上司	[]
5 近所の人	[]
6 学校の先生	[]
7 スクールカウンセラー	[]
8 スクールソーシャルワーカー	[]
9 保育園の先生	[]
10 幼稚園・子供園の先生	[]
11 児童館の職員	[]
12 学童クラブの職員	[]
13 民生・児童委員	[]
14 保健所・保健センターの職員	[]
15 子どもセンターの職員	[]
16 子ども・子育てプラザの職員	[]
17 子ども家庭支援センターの職員	[]
18 かかりつけの医師	[]
19 地域の乳幼児の交流の場 (つどいの広場など)の職員	[]
20 塾や習い事の先生	[]
21 区や東京都などの公的相談機関 (電話相談・メール相談を含む)	[]
22 民間の相談機関 (電話相談・メール相談を含む)	[]
23 その他 ()	[]

【相談した内容】

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1 子どもの健康や成長のこと | 2 子どもの食事や生活習慣のこと |
| 3 子どものしつけや接し方のこと | 4 子どものいじめや友達関係のこと |
| 5 子どもの病気や障害のこと | 6 子どもの勉強や進学のこと |
| 7 子どもの性格や癖に関すること | 8 子どもの性に関すること |
| 9 子どもの暴力や非行のこと | 10 子どもが学校に行くのを嫌がること |
| 11 子育てに自信が持てないこと | 12 養育費や教育費など経済的なこと |
| 13 仕事との両立が負担に感じる | 14 家事や介護などとの両立が負担に感じる |
| 15 地域や社会から孤立していると感じること | 16 回答者自身や家族の健康に関すること |
| 17 相談できる人がいない、相談先がわからないこと | 18 子どもにイライラしたり子育てを負担に感じる |
| 19 その他 () | |

保護者の就労状況についてうかがいます

宛名のお子さんの保護者の現在の就労（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。ひとり親家庭の場合は、該当する保護者の欄にご記入ください。

ここで言う「フルタイム」とは1週間に5日・1日8時間程度の仕事をさします。
「パート・アルバイト等」とはフルタイム以外の就労をさします。

問8 「母親」「父親」それぞれの就労状況について、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

就労状況	母親	父親
(1)フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
(2)フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	2	2
(3)パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ⇒問8-1へ	3	3
(4)パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	4	4
(5)就労していないまたは求職中である	5	5

問8の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にかがいます。

問8-1 1週あたりの就労日数・就労時間（残業時間を含む）などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 時間は(例)8～18時のように24時間制でご記入ください。

就労状況	母 親	父 親
平均的な仕事の 日数、時間	1週あたり <input type="text"/> 日 1日あたり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	1週あたり <input type="text"/> 日 1日あたり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分
就労している曜日に ○をつけてください	月 火 水 木 金 土 日 不定期	月 火 水 木 金 土 日 不定期
出勤・帰宅の時刻	出勤時刻 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 帰宅時刻 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	出勤時刻 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 帰宅時刻 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分
在宅勤務の方は 仕事開始・終了時刻	仕事開始 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 終了 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	仕事開始 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 終了 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分

お子さんの放課後の過ごし方についておうかがいします

問9 宛名のお子さんは普段、放課後（月～金曜日の小学校終了後）をどのように過ごしていますか。当てはまる過ごし方にすべて○をつけるとともに、週当たりのおおよその日数を□内にご記入ください。

また、「学童クラブ」の場合には、利用している時間（24時間制）もご記入ください。

※1日のうちで複数の過ごし方をする場合（児童館で過ごしてから、習い事に行くなど）は、もっとも時間の長い過ごし方を1日としてご回答ください。

※施設・事業の詳しい説明は、巻末の「『施設』『事業』のあらまし」をご覧ください。

放課後の過ごし方	月～金曜日のうち
1 自宅で過ごす（家族とのお出掛けを含む）	週 <input type="text"/> 日くらい
2 自宅で一人で過ごす	週 <input type="text"/> 日くらい
3 祖父母宅や友人・知人宅で過ごす	週 <input type="text"/> 日くらい
4 習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
5 児童館(学童クラブを除く)	週 <input type="text"/> 日くらい
6 放課後等居場所事業	週 <input type="text"/> 日くらい
7 学童クラブ	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> 時まで
8 小学校校庭開放、放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
9 ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
10 放課後等デイサービス	週 <input type="text"/> 日くらい
11 その他（公園、図書館、地域区民センターなど）	週 <input type="text"/> 日くらい

▶ 問9で、「7 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

問9-1 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に学童クラブを利用していますか。利用している場合は、1週当たり何日及び1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□に数字（24時間制）でご記入ください。

1 利用している	1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> 時間（ <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時）
2 利用していない	

問9で、「7 学童クラブ」に○をつけなかった方にうかがいます。

該当しない方は、問11へお進みください。

問10 学童クラブを利用していない（利用しない）理由について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1 学童クラブの要件に該当しないから（要件については「『施設』『事業』のあらまし」参照） |
| 2 学童クラブの要件に該当するが、民間の学童クラブなどを利用しているから |
| 3 学童クラブの要件に該当するが、放課後等居場所事業や児童館直接来館制度などを利用しているから |
| 4 学童クラブの要件に該当するが、習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）をしているから |
| 5 学童クラブの要件に該当するが、空きがないから |
| 6 学童クラブの要件に該当するが、経済的な理由で利用できないから |
| 7 学童クラブの要件に該当するが、時間帯などの条件が合わないから |
| 8 学童クラブの要件に該当するが、事業の質や場所など、納得できる学童クラブがないから |
| 9 学童クラブの要件に該当するが、子ども本人の病気や障害のため利用できないから |
| 10 その他（) |

宛名のお子さんの一時預かり等の利用についておうかがいします

問11 宛名のお子さんについて、保護者の用事（買い物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労、兄弟姉妹の用事等の目的で、家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|--------------|
| 1 あった | 2 なかった ⇒問12へ |
|-------|--------------|

問11で、「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。

問11-1 その際にとった行動で、当てはまるものすべてに○をつけ、令和5年4月1日～12月31日の間のおおよその利用日数も□内に数字でご記入ください。

行 動	日 数
1 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> 日
2 ファミリー・サポート・センターを利用した	<input type="text"/> 日
3 ベビーホテル(託児施設)、ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> 日
4 やむをえず子どもを同行させた	<input type="text"/> 日
5 やむをえず子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 日
6 その他（)	<input type="text"/> 日

問12 令和5年4月1日～12月31日の間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）等により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。

1 あった

2 なかった ⇒問13へ

問12で、「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。

問12-1 その際にとった行動として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数も□内に数字でご記入ください。

行 動	日 数
1 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> 泊
2 ショートステイ（宿泊を伴う預かり事業）を利用した	<input type="text"/> 泊
3 ベビーホテル（託児施設）、ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> 泊
4 やむをえず子どもを同行させた	<input type="text"/> 泊
5 やむをえず子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 泊
6 その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> 泊

杉並区の子育て支援等についてうかがいます

問13 杉並区は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 子育てしやすいまちだと思う
- 2 どちらかという子育てしやすいまちだと思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかという子育てしやすいまちだと思わない
- 5 子育てしやすいまちだと思わない

問14 今後も、杉並区で子育てをしていきたいと思いませんか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 ずっと杉並区で子育てをしていきたい
- 2 当分の間は杉並区で子育てをしていきたい
- 3 できれば杉並区以外の区市町村で子育てをしたい
- 4 近いうちに転出するつもりである
- 5 その他（）

問15 すべての方に伺います。最後に、杉並区の子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上で終わりです。調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、令和6年2月13日（火）までにご投函ください。

※令和6年2月15日（木）到着分までが、集計結果に反映されます

子ども・子育て支援事業の利用状況等に関する調査票に記載されている「施設」「事業」のあらまし

「杉並区子ども・子育て支援事業の利用状況等に関する調査」の調査票に書かれている施設・事業等の概要は以下のとおりです。回答の参考にしてください。
 ・利用時間や料金等は令和5年10月1日現在のものです。
 ・利用料金について記載のないものは原則無料ですが、保険料や材料費等がかかる場合があります。

【索引】

読み	施設・事業	No.	読み	施設・事業	No.
か	学童クラブ	3	す	スクールソーシャルワーカー	14
こ	校庭開放（遊びと憩いの場開放）	4	ふ	スクールカウンセラー	13
	子ども家庭支援センター	11		ファミリー・サポート・センター	7
	子ども・子育てプラザ	10		放課後子ども教室	5
	子どもセンター	12		放課後等居場所事業	6
し	児童館	1	み	放課後等デイサービス	9
	児童青少年センター（ゆう杉並）	2		民生・児童委員	15
	ショートステイ	8			

No.	施設・事業	内容	利用時間帯等	備考
1	児童館	0歳から18歳未満の子どもが、いつでも気軽に遊ぶことができる児童福祉施設です。区内に26の児童館があります。子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、遊びや自主活動などを支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> 平日（月～金曜日）10時～18時 土曜日・日曜日 9時～17時 	休館日：毎月第2土曜日、年末年始（12月28日～1月4日）、祝日
2	児童青少年センター（ゆう杉並）	中学生・高校生のための大型の児童館で、広い体育室や完全防音のスタジオなどを備えています。中学生・高校生が施設運営に参画する「中・高校生運営委員会」の設置や自主企画事業の支援なども行っています。	<ul style="list-style-type: none"> 火～土曜日 9時～21時 日曜日・祝日 9時～17時 	休館日：毎月第2・4月曜日、年末年始（12月28日～1月4日）
3	学童クラブ	保護者が就労で昼間留守等になる子どもの、放課後における生活の場です。区立学童クラブは区内に51か所あり、子どもが安心して楽しく過ごせるよう、遊びや集団活動を中心とした運営を行っています。 *対象：小学1～6年生	<ul style="list-style-type: none"> 平日（月～金曜日）放課後（学校休業日は8時）～18時（延長利用は19時まで） 土曜日 8時30分から17時 	利用料：月額4,000円 延長利用料：月額1,000円（利用要件あり） スポット延長利用料：1回500円（利用要件なし） おやつ代：月額1,800円
4	校庭開放（遊びと憩いの場開放）	小学校の校庭を、水曜日の午後、土曜日・日曜日、祝日、学校休業日に、子どもの遊び場として開放しています。	小学校により実施日等が異なります。	
5	放課後子ども教室	放課後の小学校で、子どもたちが地域の中で広くさまざまなことに挑戦・体験できるよう、保護者や地域の方々を中心となって、学習や遊び、スポーツの機会等を提供しています。（実施していない小学校もあります。）		令和5年度実施小学校数13校
6	放課後等居場所事業	小学校施設を活用した小学生の放課後の居場所づくりを行う事業で、保護者や地域住民等と連携・協力しながら、遊びや学習、スポーツ、文化・創作活動、交流活動などの取組を行います。現在、15校で実施しており、今後、計画的に拡大していく予定です。	<ul style="list-style-type: none"> 平日（月～金曜日）放課後（学校休業日は10時）～18時 土曜日 放課後（学校休業日は9時）～17時 	実施しない日：日曜日、祝日、年末年始、台風や学校閉鎖等による臨時休業日など、学校施設を使用できない日
7	ファミリー・サポート・センター	区が社会福祉協議会に委託している事業で、研修を受けた区民（協力会員）が子どもの一時預かりや送迎などを行います。おおむね10歳までの子どもが利用できます。		利用料：9時～20時まで、1時間800円 6時～9時と20時～22時は1時間1,000円

No.	施設・事業	内容	利用時間帯等	備考
8	ショートステイ	保護者が、病気、出産などで一時的に子どもを養育できない時に、区内の施設で宿泊して預かる事業です。*対象：0歳から12歳までの子ども		利用料：2歳以上4,300円（1泊2日料金、1日増えるごとに2,150円）
9	放課後等デイサービス	学校の放課後や夏休み等の長期休暇中において、障害のある子どもに対し、生活能力向上のための訓練等を継続的に行うとともに、居場所を提供する事業です。 *対象：学校教育法に規定する学校（幼稚園、大学を除く）に就学している障害のある子ども		利用料：世帯の所得に応じた負担があります。
10	子ども・子育てプラザ	乳幼児親子がいつでも気軽に利用することができる施設で、親子で遊んだり、くつろいだりすることができます。子育てに関する講座やイベントなどの実施、子育て支援サービスの利用相談、一時預かり事業なども行っています。	<ul style="list-style-type: none"> • 平日（月～金曜日） 9時～18時 • 土曜日・日曜日 9時～17時 	休館日：毎月第1日曜日、年末年始（12月29日～1月3日）、祝日
11	子ども家庭支援センター	子どもと家庭の総合相談窓口として、電話または来所による相談や、育児支援等の子育て支援サービスを行っています。また、児童虐待に関する相談にも対応しています。	<ul style="list-style-type: none"> • 8時30分～17時 • ゆうライン電話相談 8時30分～20時 	休業日：日曜日、祝日、年末年始（12月29日から1月3日）
12	子どもセンター	区内に5か所ある保健センター内や近隣に設置した、子育て支援サービスの利用相談・情報提供や保育施設の利用相談を行う「身近な地域の子育て支援相談窓口」です。各家庭のニーズに応じて「どのようなサービスがあるか」「どう利用すればよいか」等、きめ細やかにサポートします。	8時30分～17時	休業日：土曜日・日曜日、祝日、年末年始（12月29日から1月3日）
13	スクールカウンセラー	いじめや不登校、問題行動等の未然防止や改善及び解消のため、スクールカウンセラーを全小・中学校に配置し、相談機能の充実を図っています。スクールカウンセラーは、児童・生徒、保護者との相談活動、校内支援に関わる学校内の連携や学校外専門機関との連携を行うほか、児童・生徒の健やかな育ちに役立つ研修を行います。		
14	スクールソーシャルワーカー	支援を要する児童・生徒が安心して生活できるように学校、家庭、地域・学校関係機関をつなぐ福祉の専門家です。子どもの思いを尊重して信頼関係を築き、学校を支援します。		
15	民生・児童委員	厚生労働大臣により委嘱された特別職（非常勤）の地方公務員です。「民生委員法」及び「児童福祉法」に定められ、地域にお住まいの方々が民生委員・児童委員として推薦されています。地域の中で住民の立場に立った社会福祉活動を行っています。また、民生委員・児童委員の中から児童福祉に関する活動を専門に活動する主任児童委員が指名されています。		

登録印刷物番号

05-0125

杉並区子ども・子育て支援事業の利用状況等に関する調査 報告書

令和6(2024)年3月発行

発行 杉並区 子ども家庭部 子ども政策担当課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1

電話：03-3312-2111（代）

●杉並区のホームページでご覧になれます。

<https://www.city.suginami.tokyo.jp>

この印刷物は、無線とじ製本したものです。